

# 大雪山国立公園連絡協議会（総合型協議会）準備会（第1回）

日時：平成30年11月27日（火）13:00～  
場所：上川町保健福祉センター2階ホール

## 議事次第

### 1. 開会

### 2. 議事

- （1）大雪山国立公園ビジョンの策定に向けた関心事項の洗出しの結果について
- （2）大雪山国立公園ビジョンについて
- （3）大雪山国立公園における協働型管理運営体制の構築について
- （4）大雪山国立公園フォーラムの開催について

### 3. 閉会

## 資料一覧

資料1 大雪山国立公園ビジョンの策定に向けた関心事項の洗出しの結果

資料2 大雪山国立公園ビジョン（骨子案）

資料3 大雪山国立公園における協働型管理運営体制の構築に向けて

資料4 大雪山国立公園フォーラムの開催について

参考資料1 新たな大雪山国立公園連絡協議会（総合型協議会）準備会の開催等  
今年度の予定

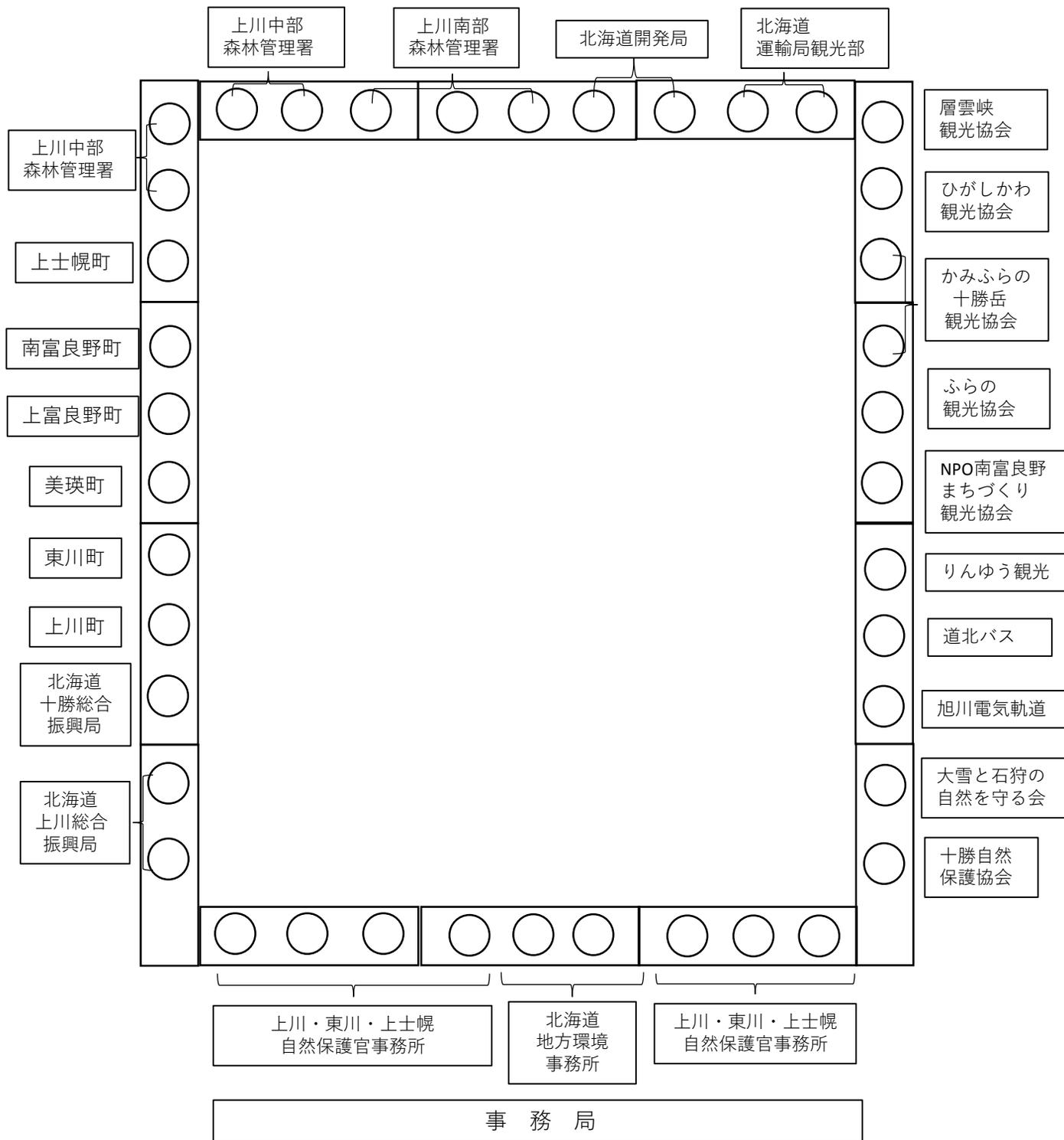
参考資料2 大雪山国立公園ビジョン作成に関する参考資料集

# 【座席表】

大雪山国立公園連絡協議会（総合型協議会）準備会（第1回）

日時：平成30年11月27日（火）13:00～

場所：上川町保健福祉センター2階ホール



大雪山国立公園連絡協議会（総合型協議会）準備会（第1回） 出席者名簿

	機関・団体名	所属	役職等	氏名	
関係行政機関	北海道上川総合振興局	環境生活課	主査（山岳環境）	福井 拓郎	
		〃	主事	神谷 一太	
	北海道十勝総合振興局	自然生活課	主任	牛嶋 あすみ	
	富良野市			欠席	
	上川町	産業経済課	課長補佐	西木 光英	
	東川町	産業振興課	商工観光振興室長	田渕 浩	
	美瑛町	経済文化振興課	観光振興係長	谷口 雄二	
	上富良野町	企画商工観光課	主幹	上嶋 義勝	
	南富良野町	企画課	商工観光係主任	山下 典晃	
	士幌町	産業振興課		欠席	
	上士幌町	商工観光課	主幹	鶉橋 浩行	
	鹿追町	商工観光課		欠席	
	新得町	産業課		欠席	
	上川中部森林管理署			署長	中澤 文彦
				総括森林整備官	橋本 雅俊
				主任森林整備官	宇佐見 和宏
				地域総括森林官	二階堂 辰也
	上川南部森林管理署			総括事務管理官	佐藤 英典
				森林官	中村 崇
				事務管理官	村上 雅典
	十勝西部森林管理署東大雪支署			欠席	
	北海道開発局	開発監理部 開発連携推進課		開発専門官	浦澤 英範
		旭川開発建設部		技術管理課長補佐	前田 章博
	北海道運輸局観光部	旭川運輸支局		局長	佐々木 求
				首席運輸企画専門官	山角 雄一
	観光協会	(一社) 層雲峡観光協会		事務局長	中島 慎一
(一社) ひがしかわ観光協会			代表理事	浜辺 啓	
(一社) 美瑛町観光協会				欠席	
(一社) かみふらの十勝岳観光協会				会長	青野 範子
				事務局長	長田 公一
(一社) ふらの観光協会			事務局長	石川 芳	
NPO 法人南富良野まちづくり観光協会			事務局理事	小林 茂雄	
交通事業者	(株) りんゆう観光	層雲峡事業所	所長	山崎 弘二	
	ワカサリゾート (株)			欠席	
	道北バス (株)	運輸部	部長	福内 直樹	
	旭川電気軌道 (株)	運輸事業部	次長	矢野 寿典	
	十勝バス (株)			欠席	
	北海道拓殖バス (株)			欠席	

自然保護団体	大雪と石狩の自然を守る会		代表	寺島 一男
	十勝自然保護協会		事務局長	川内 和博
研究者	北海道大学大学院環境科学研究院		准教授 愛甲哲也	欠席
	北海道大学大学院農学研究院		教授 渡辺悌二	欠席
	北海道大学観光学高等研究センター		特任教授 木村宏	欠席
事務局	北海道地方環境事務所		統括自然保護企画官	大林 圭司
	北海道地方環境事務所	国立公園課	課長補佐	千田 智基
	同 上川自然保護官事務所		首席自然保護官	榊 厚生
	同 東川自然保護官事務所		自然保護官	齋藤 明光
	同 上士幌自然保護官事務所		自然保護官	原澤 翔太

## 大雪山国立公園のビジョンの策定に向けた関心事項の洗出し結果

## 国立公園に関する関心事項と将来像（ビジョン）に関する意見照会 概要

## 1. 照会日

○平成 30 年 9 月 13 日

## 2. 照会機関、団体等

○関係行政機関、観光協会、交通事業者、自然保護団体、研究者 合計 34 機関・団体等

## 3. 回答

○回答をいただいた機関、団体等：32

○回答〆切：10 月 9 日

○回答件数

質問 1. 国立公園に関して現状で困っていること（全 101 件）

質問 2. 大雪山国立公園が、このような国立公園であってほしいと思うこと（全 69 件）

質問 3. 国立公園のために自分たちができること、貢献できること（全 62 件）

質問 4. ビジョンの骨子案について盛り込んでほしいこと（全 54 件）

## 1. 国立公園に関して現状で困っていること（全 101 件）

### 1. 登山道

- 荒廃と対応：登山道の荒廃が進みその状況も詳細には把握できない（アクセス困難な場所もある）一方、予算不足により対応が困難又は応急的な措置しかできない。
- 標識・施設の老朽化：老朽化しているが再整備が困難。多言語表示ではないため外国人利用者が困り安全の支障になりかねない。大雪山グレードの表示もない。
- 利用者指導・利用者マナー：外国人利用者への利用ルールやマナーの周知不足。ごみ捨てや他の利用者に迷惑をかける行為が依然としてある。
- 登山口へのアプローチ：災害によりたびたび閉鎖してしまう。
- トイレ問題：し尿の散乱。既存トイレのオーバーユースと維持管理の困難。携帯トイレ普及の対象範囲が不明確。新規の携帯トイレブース整備が進まない。
- 閉鎖：災害などで閉鎖している登山道がある。そのような登山道の安全管理。その他災害や故障等で閉鎖したり、管理者不在の施設があったりして、困っている。
- 歩道等維持管理の基盤形成（法令や制度に基づく手続き）：登山道の補修や維持管理に関する手続きの実施。一方、複数の法令や制度があることによる手続きの複雑さ。
- 大雪山グレード：他地域における登山道のグレードとの関係が不明確。設定されたグレードと現実に整備されている施設や利用状況との適切性の評価が不十分。グレードの適用時期についての議論が不十分。
- 利用者負担、民間資金活用、利用者参加の仕組み検討：利用者による負担、維持管理への充当がなされていない。管理運営等の見直し等への市民参加が不十分。
- 遭難：遭難の発生。

### 2. 利用拠点の活性化

- 廃屋対応：撤去されずに景観を損ねているが、撤去に多額の費用を要する。
- 施設：外国人対応ができる人材が継続して雇用できないと困る。国立公園について紹介する施設が無い。ソフトの開発が不十分。
- 利用可能な資源発掘整備：利用拠点を散策できる歩道が少ない。
- 情報ネットワーク：携帯電話（防災や安心・安全に役立つ）が通じない箇所がある。
- 交通：国立公園内で利用できるバスの車両の維持。災害時の連携や対応。

### 3. 一元的な情報発信

- 利用者向け情報：利用者に対する広域での発信や広報がない。
- 管理者向け情報：関係機関・団体が閲覧可能な地図情報システム等がない。登山者から情報（登山道の状況・利用実態）を収集する仕組みがない。

#### 4. 管理運営体制

- 協働型管理運営体制：歩道等維持管理作業実施手順マニュアルの位置付けが必ずしも明確ではない。同マニュアルに基づく補修に関する関係者の合意形成が容易ではない。また、登山道情報交換会の位置付けが必ずしも明確ではない。
- 研究調査：調査研究が円滑に行われ、そのデータが蓄積され、活用される仕組みになっていない。

#### 5. 野生生物

- 外来生物：各種外来生物の侵入。
- 人間とのあつれき：車両と野生生物の衝突問題。夜間の照明に対する野生生物への影響の懸念。

#### 6. 外国人利用者の増加

- 標識や案内板の多言語化、インターネット等による外国人利用者に対応した情報発信。マナーやルールの周知。

#### 7. 人口減少と高齢化

- 維持管理を行う担い手の高齢化、減少。

#### 8. 保護と利用のバランス

- 自然景観・自然環境の保護と利用のバランスをどのあたりでとるべきかに苦慮している。

#### 9. その他国立公園全般

- 地域制の国立公園制度、それを前提とした管理運営体制。

## 2. 大雪山国立公園が、このような国立公園であってほしいと思うこと（全 69 件）

1. 大雪山の優れた価値が共有され世界に発信される国立公園。
2. ブランド化され、イメージが共有された国立公園。  
*※大雪山の魅力がイメージできる、利用者層の明確化、施設の統一感*
3. 国立公園の歩み（過去の議論等）を十分に踏まえて、現在の情勢だけに流されない議論ができる国立公園
- 4-1. 利用者にも負担を求め、それにより施設等の維持管理ができている国立公園。管理運営に利用者が参画できる国立公園。
- 4-2. 大雪山グレードの徹底により、多様な利用者が利益を享受できる国立公園。  
*※高齢者、障がい者、多様な登山レベルの者。*
- 4-3. 登山道の補修が進み荒廃がなくなり、多言語による案内板や標識が全域に整備された、管理が行き届いた国立公園。
- 4-4. 登山道に関する法令や制度に基づく手続きへの理解が十分関係者に浸透した国立公園。
- 4-5. 携帯トイレの適正利用、外来種防止対策等歩道の適正利用が推進される国立公園。
5. 一元的な情報発信の体制が整った国立公園。  
*※利用者に対する、国立公園利用情報発信。利用者からの情報収集。  
※自然資源や利用状況のモニタリング体制の構築とデータの蓄積、共有。*
6. ガイドツアーへの参加が気軽にできる等、エコツーリズムが充実した国立公園。
7. 外国人対応が充実した国立公園  
*※豊富なガイドツアー、マナーや登山道情報、外国人受入れの指針と評価。*
8. 災害にも対応できる安全・安心が確保された国立公園。
9. 保護と利用のバランスが取れた国立公園。保護の充実が図られた国立公園。
10. 国立公園内の利用施設と、公園外の利用施設が連携して有効活用される国立公園。
11. 管理運営体制が充実した国立公園（調査研究の充実、制度・体制の充実）。

### 3. 国立公園のために自分たちができること、貢献できること（全 62 件）

#### 1. 国立公園の管理運営に直結する取組の実施

- 登山道の整備、維持管理、植生の回復等の実施や、それらへの参加協力
- 登山道の巡視、普及啓発活動。監視やパトロール
- マイカー規制の実施
- 法令や制度、それらの手続きに関する周知、意見 等

#### 2. 国立公園の保護や利用増進に協力する取組を実施

- 交通の中でのガイドサービス提供、シャトルバス提供、乗車協力
- 日本遺産「カムイと共に生きる上川アイヌ」に関する事業実施を通じた協力。

#### 3. 本業の取組に国立公園の保護や利用増進の観点を付加すること

- アドベンチャートラベル推進、北海道全体のブランド力向上
- 防災減災対策事業、国道管理
- 環境に配慮した使用機材の選定（バス）、作業における環境配慮（ロープウェイ）

#### 4. イベントの開催

- 大雪山大学、フォーラム、シンポジウム、ワークショップ
- ウォーキング、スノーシューツアー

#### 5. 情報発信

- SNS、WEBサイト（ブログ）、パンフレットを活用した発信。道の駅、駅前の観光案内所を通じた発信。
- 地元地域への周知やPR
- 魅力、高山植物の開花日予想、天候、気温、道の情報、植物の様子、注意事項等

#### 6. 国立公園管理運営に対して助言、指導、意見すること

- ビジターセンターの管理運営や展示、大規模開発案件への意見。研究者の橋渡し、魅力開発や人を呼び込むためのアイデア出し。
- 市民や民間の取組を期待するのであれば、具体的な支援を用意すべき。

#### 7. 調査研究を実施すること

- 国立公園と研究機関との連携の再構築。
- 基礎的な自然環境のデータ（降水量、気温、地温等）の収集（観測）。
- 外国人の意向調査。
- 大雪山のブランド醸成に関する研究や啓発。

## 4. ビジョンの骨子案について盛り込んでほしいこと（全 54 件）

### 1. 課題について

- 登山道（管理者の不在）、気候変動、一元的な情報発信、野生生物等の事項が挙げられた。

### 2. 大雪山国立公園が持つ優れた価値

- 大雪山国立公園の価値を改めて整理する必要があるとの意見があった。

### 3. 目指す姿

- 各立場からそれぞれの目指す姿について意見が出されたが、未来に向けてメッセージ性のある文言を入れるべき、具体的でイメージしやすい内容にすべきとの意見があった。

### 4. ビジョンを実現するための取組方向性、内容

- ビジョンを実現するための手段となる、個別の取組について、多くの意見をいただいた。
- 登山道、一元的な情報発信、エコツーリズムによる活用、利用拠点の活性化、安心・安全、外国人利用者増加への対応、地域社会の解決にも寄与する国立公園、管理運営体制に関する意見が挙げられた。

1. 国立公園に関して現状で困っていることを教えてください。

	御回答	機関・団体名	キーワード
1	登山道の劣化や劣化に伴う周辺生態系への悪影響等についての様々な苦情、要望が寄せられること (公園区域、保護林の重複も多いが、いずれも保護と利用の両立が図られる必要があり、実態との大きなギャップが生じている)	上川中部森林管理署	登山道 (荒廃対応)
2	登山道の洗掘などオーバーユース	十勝自然保護協会	登山道 (荒廃対応)
3	登山道が応急処置的な補修でなく、恒久的な資材・方法で行われると良い。	東川町	登山道 (荒廃対応)
4	登山道が荒れていても(安政火口までの光ファイバーの線が露出しているが)整備されていない。	かみふらの十勝岳観光協会	登山道 (荒廃対応)
5	ゲリラ豪雨・台風後の迅速な被害状況把握が困難。	北海道上川総合振興局 環境生活課	登山道 (荒廃対応)
6	公園内の安全管理、整備が進められている一方で、新たなアクティビティ(トレイルランニングなど)のイベント発掘も進められていて、登山道の崩壊や盗掘が進んでしまっている現状。	一般社団法人ひがしかわ観光協会	登山道 (荒廃対応)
7	登山道の補修や植生の回復について、新しい方法を積極的に試したり実験できると良い。	東川町	登山道 (荒廃対応)
8	登山道や避難小屋について、公園事業執行者が予算不足等により整備できていない状況がある。	上富良野町	登山道 (荒廃対応)
9	登山道の整備(旭岳山麓からロープウェイ山頂駅) 外国人の利用が多くなっているため、対応が必要。	ワカサリゾート(株) 大雪山旭岳ロープウェイ	登山道 (荒廃対応) 外国人利用者の増加
10	公園内道有施設の多くが老朽化しているが、道単独での再整備は困難。また、自然環境整備交付金を活用した改修や環境省による再整備も進んでいない。	北海道上川総合振興局 環境生活課	登山道 (標識・施設老朽化対応)
11	慢性的な予算不足による道有施設の適切な維持管理が困難。	北海道上川総合振興局 環境生活課	登山道 (標識・施設老朽化対応)
12	黒岳石室の老朽化 小破修繕については上川町様のご指導を頂きながら実施してきましたが、現在、本館屋根の梁の経年による劣化と、別館建屋の傾きが大きな問題となっており、大規模修繕も視野に入れる必要があります。大雪山における登山小屋のあり方について大連協でご議論いただければと思います。	(株)りんゆう観光	登山道 (標識・施設老朽化対応)
13	国立公園内の案内看板の整備 望岳台に設置されている看板(北海道設置)について、経年による老朽化と掲載情報が古くなっております。外国語に対応した登山道を含めた公園内全体のサイン計画が必要と考えます。	一般社団法人 美瑛町観光協会	登山道 (標識・施設老朽化対応) 外国人利用者の増加
14	大雪山系においては、特に登山道の標識類の老朽化が進行 標識類が整備された本州からの登山者や増加傾向にある外国人登山者の安全の支障となりにかねない状況にきているのではないかと、と憂慮するところ	上川中部森林管理署	登山道 (標識・施設老朽化対応) 外国人利用者の増加
15	標識が全て日本語と英語で表記され、標高、座標や大雪山グレードも付けられた統一したもの。	東川町	登山道 (標識・施設老朽化対応) 外国人利用者の増加
16	外国人向けの登山看板や外国語の登山情報(HP含め)が不足している。	上富良野町	登山道 (標識・施設老朽化対応) 一元的な情報発信 外国人利用者の増加
17	海外の登山者が増えているのに、英語の案内かんばんも無いので登山ルートがわからない。	かみふらの十勝岳観光協会	登山道 (標識・施設老朽化対応) 外国人利用者の増加
18	外国人登山者に対する登山ルール・マナーの周知 指定キャンプ地以外でのテント泊の苦情が寄せられたことがあります。増加する外国人登山者に対し、ルール・マナー等の更なる周知が必要と考えます。	一般社団法人 美瑛町観光協会	登山道 (利用指導、利用者マナー) 外国人利用者の増加
19	外国人に事前にマナーや道の様子、季節的な状態、注意事項が伝わっていると良い。	東川町	登山道 (利用指導、利用者マナー) 外国人利用者の増加
20	ガイドには正しいマナーや、山岳地域が抱える問題も伝えて欲しい。	東川町	登山道 (利用指導、利用者マナー)
21	旭岳山頂からのパラグライダー 登山者が接触し怪我をした事例があり、利用規制等が必要。	ワカサリゾート(株) 大雪山旭岳ロープウェイ	登山道 (利用指導、利用者マナー)
22	ゴミの放置	十勝自然保護協会	登山道 (利用指導、利用者マナー)
23	国立公園内の不法投棄問題 国立公園に限らないが国道、道道、町道、林道上に車両積載ゴミや家庭ゴミの不法投棄が後をたたない。公園内の環境衛生や野生動物・野鳥の生態上問題と思われる。	上士幌町	登山道 (利用指導、利用者マナー)
24	ドローン等の無人航空機を利用した飛行撮影について、本連絡協議会による多様な場面での活用も期待・拡大すると思われる一方、一般・業務問わず、ドローン等を利用した飛行・撮影の届出が多くなっています。国有林野(森林管理署)としては特に規制する根拠法令等が無いことから、届出がある場合は、一般注意・遵守事項を付して受理しているところです。環境省(公園法)でも特に規制は無いと聞いています。このことに伴い、登山道を逸脱しての撮影、登山道外への落下による回収のための登山道外の歩行、或いは登山者等の上空からの落下や離発着時における付近第三者に対する危険等が想定されるところです。当署管内国立公園等で無人航空機を飛行させる入林届に対しては、登山道外に立ち入ったの操作はしないこと、登山道外へ落下の回収等の対応は入林者において責任もって行うこと、但し公園法、文化財保護法により規制あることが殆どのため、あらかじめ環境省、文化庁(北海道)等の関係機関に手続きについて確認すること等を遵守事項として付しています。直接に本件に該当するものではないかと思いますが、植生の保護、そのための歩道管理に関わる部分あり、またヒグマ等の動物を刺激することも考えられることから、改めて、注意喚起やルール・マナーの検討も必要ではないでしょうか。	上川南部森林管理署	登山道 (利用指導、利用者マナー)
25	多発傾向にある自然災害により、アプローチとなってきた国有林林道の多くが破壊。事業にかっこつけ補修ができない路線については国有林としては放置せざるを得ず、地元自治体や官行学界の要望のギャップが拡大しつつある	上川中部森林管理署	登山道 (登山口へのアプローチ)

26	近年の台風等による大雨により、河川の氾濫が増大し道路決壊による被害も多くなっているが、国立公園内でも同様の被害がもたらされ、観光施設等の営業に影響が出ている。	上川町	登山道 (登山口へのアプローチ)
27	台風・ゲリラ豪雨による登山口へのアクセス道路被害の頻発発生、影響の長期化。(特に国有林道)	北海道上川総合振興局 環境生活課	登山道 (登山口へのアプローチ)
28	愛山溪・沼ノ原登山口までの道路が閉鎖されている。	(一社)層雲峡観光協会	登山道 (登山口へのアプローチ)
29	愛山溪温泉のアクセス問題 大水被害による長期間の道路閉鎖とエスケープルートがない現状(高原温泉も同様)	(株)りんゆう観光	登山道 (登山口へのアプローチ)
30	登山道・林道問題 東大雪地域の登山できる山は林道が崩壊し、迂回林道経由であったり林道そのものが閉鎖され登山口までたどり着けない山が数多く存在します。 このような現状から森林管理署と環境省が連携をとりながら、国立公園の利用という観点から、より多くの国民に親しまれる国立公園となるように崩壊した林道整備と登山道の維持管理に向けた地域ごとの枠組みの構築につなげていくことが必要と思われる。	上士幌町	登山道 (登山口へのアプローチ)
31	排便の放置	十勝自然保護協会	登山道 (トイレ問題)
32	黒岳石室トイレのオーバーユース シーズン通してオーバーユース状態が続いています。秋季には環境省様が丁度携帯トイレ普及キャンペーンで設置していた携帯トイレ用便座をお借りし、キャンペーン後もトイレブースに置いて利用者には使用してもらいました。トイレの大掛かりな仕組み変更が見込まれないのであれば、携帯トイレブースの設置など、「携帯トイレを使用してもらおう山」という認識を利用者に意識づけする活動が引き続き必要だと思えます。	(株)りんゆう観光	登山道 (トイレ問題)
33	トイレの設置、携帯トイレの使用の推奨に関して、どういった場所や利用者を対象にするか明確になっていない。黒岳で携帯トイレの普及のキャンペーンをするのは全く的外れ。その前に、黒岳のトイレの改修に、関係機関はもっとコミットすべき。北海道のみに押しつけて、責任逃れするのだろうか。黒岳トイレの整備方針は、協議会で話し合ったはず。	北海道大学大学院農学研究院 准教授・愛甲哲也	登山道 (トイレ問題)
34	美瑛富士のトイレについて、弱小な市民団体に過ぎない山のトイレを考える会の負担が大きすぎる。連絡会の構成団体も持続性には疑問符がつく。その上で、協定を結ぶなどの責任の回避とも思われる取り組みのみがすすみ、いつになったら固定式のブースが設置されるかも不明瞭。毎年の台風のたびにテントを張り替えるのは、すでに限界では？	北海道大学大学院農学研究院 准教授・愛甲哲也	登山道 (トイレ問題)
35	特に山岳地のトイレ維持管理に関係者も含め多大な労力が割かれている。	北海道上川総合振興局 環境生活課	登山道 (トイレ問題)
36	昨年より 協議会からのご提案で 観光案内所で「使い捨て簡易トイレ」を陳列しました。しかし、使用しても回収出来る場所が未だ富良野側には無く。十勝岳、大雪山系入り口(出口)の一番南端の 原始が原入り口の整備をお願いしたいと思います。	(一社)ふらの観光協会	登山道 (トイレ問題)
37	登山コースの維持、整備等に携わる地元地域人材において、高齢化によりその人数の減少または新陳代謝が図られずにいるため整備委託をかけるようになってきている。 対策として市町村ごとに地域の中から人材育成を図るというこれまでのような論調はもはや効果的とは考えにくい(限界・時代に合っていない)。 また市町村の職員も定数削減による人員不足と、根本的には事務員であり数年で他部局へ異動してしまうためスペシャリストには成り得ない(そもそも現場で直接作業にあたることは本来業務ではない)。 今後さらに地元にお願ひできなくなってしまった場合に備えてそういった業務を受託していただけるような体制の構築や団体・組織の紹介などを担っていただけるとありがたい。	富良野市	登山道 (維持管理担い手) 人口減少と高齢化
38	登山道整備をしてくださる「しほろ自然環境に親しむ会」会員の高齢化が進んでおり、町内の国立公園に携わる人間が少なくなることに對する懸念。	士幌町	登山道 (維持管理担い手) 人口減少と高齢化
39	道が事業執行者となっている登山道の区間が長すぎて、事業執行者としての単独での適切な管理は不可能。	北海道上川総合振興局 環境生活課	登山道 (維持管理担い手)
40	アクセス困難な現場については、協働型管理が困難。	北海道上川総合振興局 環境生活課	登山道 (維持管理担い手)
41	雲井が原の散策道の閉鎖。	(一社)層雲峡観光協会	登山道 (閉鎖)
42	黒岳山麓～5合目登山道の閉鎖 数年前の台風による落石の影響により通行止め状態が続いています。一般利用者からも問い合わせが多いため、再開について大連協としてご議論いただければと思います。	(株)りんゆう観光	登山道 (閉鎖)
43	観光振興と安全管理の両立(天人峡遊歩道の悪天候時対応、高原温泉登山道の周遊コース開放判断等)	北海道上川総合振興局 環境生活課	登山道 (閉鎖)
44	東大雪地域にある主な登山道は国有林内にありながら、管理者不在の箇所がほとんどである。国有林としては、振興局・自治体を含め、登山道を観光資源として捉えているのであれば、土地使用に関わる手続きを是非進めて頂きたいと考えている。	十勝西部森林管理署 東大雪支署	登山道 (歩道等維持管理の基盤形成)
45	近年、近自然工法の登山道補修が増えているが、そのほとんどが保安林内作業行為の必要な行為である。森林法に基づく手続きであり、それを怠れば森林法違反に該当するケースもあると思われる。国・北海道庁を含め、制度の周知が足りないことは理解しているが、登山関係者も積極的に制度を理解して頂きたい。	十勝西部森林管理署 東大雪支署	登山道 (歩道等維持管理の基盤形成)
46	自然公園法の他にも保安林、保護林、天然記念物等複数の法規制が重複してかかっており、小規模の現状変更行為でも手続きが複雑で時間がかかる。	北海道上川総合振興局 環境生活課	登山道 (歩道等維持管理の基盤形成)
47	大雪山グレードがある一方で、全国的に普及しつつある登山のグレードとの対応がとれていない。大雪山国立公園のみで対応することではないが、北海道レベルでの登山グレードの検討と、その中での大雪山グレードの位置づけが必要。	北海道大学大学院農学研究院 准教授・愛甲哲也	登山道 (大雪山グレード)
48	避難小屋・野営指定地・トイレの設置場所・数の見直しが必要だと思えます。登山道そのものについてはグレードをつくりましたが、そのグレードに合わせた避難小屋・野営指定地・トイレの設置場所の評価作業が残っています。特に野営指定地は、このままいまの体制を残しておいてはいけなく、緊急性の高い問題であると思えます。「管理のある」キャンプ場に格上げしなければ、オーバーフローの問題を解決できません。	北海道大学大学院環境科学研究 院 教授・渡辺悌二	登山道 (大雪山グレード)
49	近年の積雪期利用者増(外人中心)と、残雪期と初雪期の道迷い遭難が多いことから、利用者に「大雪山グレード」の適用時期(何月何日から〃まで)を配布マップ上でも明瞭に示すべきでは?と思っています。 姿見-裾合分岐や天女ヶ原はグレード2、旭岳登山道や裾合平がグレード3ですが、遭難が多いことを考慮して、グレードを上げることも考慮したほうが良いのでは?	東川町	登山道 (大雪山グレード)
50	知識・技術、経験を次代に伝えるため、意味のある業務、活動に資金が使われて欲しい。 (巡視業務はボランティア等)	東川町	登山道等 (利用者負担、民間資金活用、利用者参加の仕組み検討)
51	維持管理に必要な費用を利用者が少しくず負担する。(トイレ、避難小屋を整備した上で入山料を取る、携帯トイレの購入費の一部を管理費に充てる等できればいいと思う)	東川町	登山道等 (利用者負担、民間資金活用、利用者参加の仕組み検討)

52	「歩道等維持管理作業実施手順マニュアル」に基づく登山道の補修にかかる関係者の合意形成が容易でない。	北海道上川総合振興局 環境生活課	登山道 (歩道等維持管理への 多様な主体の参画、作 業品質の確保)
53	遭難が無くなると良い	東川町	登山道 (遭難)
54	大雪山国立公園内の天人峡温泉地区には、倒産により現在営業されていない廃墟化した大型の宿泊施設の建物が存在しており、景観を損なっていることから苦情対応をしなければならず、屋根や壁が劣化し人などに被害がおよびそうな場合は、その管理費用を町が負担することもあり、強制代執行で解体するにも億単位の費用がかかることから、とても困った状況にあります。	東川町	利用拠点の活性化 (廃屋対応)
55	旧大雪グランドホテルの建物を解体してほしい。 温泉街のイメージダウンにつながる。	十勝バス株式会社	利用拠点の活性化 (廃屋対応)
56	国立公園としてのガイドの必要性 現状は、大雪山国立公園としてよりも、然別湖周辺の自然として役場、観光案内所、民間ガイド機関で紹介、説明している。 上士幌町の「ひがし大雪自然館」のような体制の必要性	鹿追町	利用拠点の活性化 (施設)
57	十勝岳温泉登山口からも多くの登山者が山に入っているが、ビジターセンターの様な山を案内する施設がない。	かみふらの十勝岳観光協会	利用拠点の活性化 (施設)
58	ロッジヌブカに隣接する高山植物園の管理者が不在となり、整備が行き届いていない。	士幌町	利用拠点の活性化 (施設)
59	大雪山国立公園内の新ビジターセンター付近にある北海道所有のトイレが現在封鎖されていますが、いつまで今の状況にしておくのか不明で困っています。	東川町	利用拠点の活性化 (施設)
60	冬も多くの登山者やスキーを楽しむ人がいるが、通年やっているトイレが少ない。	かみふらの十勝岳観光協会	利用拠点の活性化 (施設)
61	ヒグマ情報センターの存在意識とその有効活用	一般社団法人ひがしかわ観光協会	利用拠点の活性化 (施設)
62	白金野鳥の森の再整備 2年前の台風による倒木等により立ち入りが禁止されており、早期の復旧・再整備を望みます。	一般社団法人 美瑛町観光協会	利用拠点の活性化 (施設)
63	美瑛町にあります野鳥の森の遊歩道の整備について一昨年の台風による倒木当により使用できない状況である。 早急に整備をお願いしたい。	美瑛町	利用拠点の活性化 (施設)
64	国立公園におけるビジターセンターの役割や位置づけがいまひとつ明確でなく、また、展示内容も特色がなくありきたりなものになっている。専門的な解説ができるスタッフが不足しており、ソフトの開発も不足していること。	大雪と石狩の自然を守る会	利用拠点の活性化 (施設)
65	登山する外国人(欧米人)への対応(層雲峡ビジターセンターで外国語対応の職員を置いていただいているので引き続き予算措置をお願いして頂きたい)	(一社)層雲峡観光協会	利用拠点の活性化 (施設) 外国人利用者の増加
66	気軽に行ける散策道が少ない。	(一社)層雲峡観光協会	利用拠点の活性化 (利用可能な資源の発 掘整備)
67	国道273号三国峠は観光道路として重要な路線であるとともに、近年のサイクリングブームにより、自転車交通も増加しています。しかし、携帯電話不感地帯となっており、交通安全・観光サービスの確保に支障があります。安心安全で魅力的な国立公園の形成に向け、携帯電話不感地帯解消など情報ネットワークの強化について検討していただきたい。	北海道開発局 開発連携推進課	利用拠点の活性化 (情報ネットワーク)
68	アクセスの困難な現場、電波の届かないエリアが多くリアルタイムの現状把握が困難。	北海道上川総合振興局 環境生活課	利用拠点の活性化 (情報ネットワーク)
69	町としては大雪山国立公園内の自然や景観を守る義務とともに、防災の観点から登山者等の安全に関する業務もしております。通信インフラ整備に関し、景観を損なうことがあり得る場合に、その対処に苦慮しております。	東川町	利用拠点の活性化 (情報ネットワーク)
70	通信設備などインフラ整備がなかなか進んでいかない現状(公園敷地内の道道など)	一般社団法人ひがしかわ観光協会	利用拠点の活性化 (情報ネットワーク)
71	紅葉シーズンでのシャトルバスを運行しているが、山間部での道路が良くないために、車両が現行販売している車両(ノンステップバス)を使用できないので苦慮している。	道北バス株式会社	利用拠点の活性化 (交通)
72	現状、自社では乗務員が不足しており、今後についても乗務員が増える要素がないためバス路線の維持が難しくなってくると思われる。	道北バス株式会社	利用拠点の活性化 (交通)
73	旭岳・天人峡地区が行き止まりになっている為、橋の崩落などの災害時に迂回ができない。できれば層雲峡や美瑛方面へ抜ける道があると、災害時の対応・連携が取れる。	旭川電気軌道株式会社	利用拠点の活性化 (交通)
74	ジオパークのようにレベルの高い楽しみ方が出来るとよい。	東川町	利用拠点の活性化 (エコツーリズム等による活用)
75	私どもの地域は 大雪山と言うより十勝岳の麓 といった地域ですが、最近特に多くなっているのが 欧・米・豪 の外国人観光客による夏山登山です。 JR富良野駅横のインフォメーションセンターに来訪し、「あの山に登りたい」とゆび指し、駅前から歩いて行く姿を多く見かけます。確かに 登山道までは遠い道のりでは無く、歩いても行けるかもしれませんが、途中の宿泊場所やキャンプ地、登山道入り口までのルートなどを案内しています。 十勝岳縦走コースの富良野市側の入り口への ニングルの森までであれば タクシーでも行ける旨説明しますが、基本歩いて行かれる方が多いです。	(一社)ふらの観光協会	外国人利用者の増加
76	大雪山国立公園を取り囲む地域においては通年を通して様々なアクティビティの開発やプロモーション事業が進められているが、広域での情報交換・情報共有、ができる仕組みづくり。	一般社団法人ひがしかわ観光協会	一元的な情報発信
77	大雪山国立公園内には所管する場所の担当が環境省、森林管理署、北海道、町と関係する機関が複数にまたがり、何か場所を特定したりする場合、それぞれの地図を見なければならぬことがあったり、その地図が最新のもののなのか、担当者が代わるたびに頭を悩ますことが多いのが現状です。管理がしっかりできていればすむ話ですが、現状では少し悩ましいです。そこで、難しい話ではありますが、関係する機関向けの共通の地図システム情報等があれば良いと考えます。	東川町	一元的な情報発信
78	再整備のあり方検討に必要な利用実態(例えば山小屋の利用実態)が不明。	北海道上川総合振興局 環境生活課	一元的な情報発信 登山道等(歩道等維持 管理の基盤形成)
79	「総合型協議会」およびその「部会」を確実に機能させるには、(釈迦に説法ですが)「仕事・役割が増える」と感じさせないよう、「参加している」という充実感が得られるように持って行くことが一番重要だと思います。やはり成果の見える化(「この人・この団体がこれをしてくれた」という情報をきちんと公開すること)を進めるための努力がないと、結局「お付き合い」で終わってしまいます。これまでではとても弱かった「広報」が不可欠で、民間組織が機能し始めるまでの期間にも、環境省の職員の中に「広報担当職員」をお一人配置するなど、これまでよりも積極的な取組が必要で、それは、「総合型協議会」と民間組織をうまくスタートさせることにも大きな意味を持つだろうと思います。	北海道大学大学院環境科学研究 院 教授・渡辺悌二	一元的な情報発信 管理運営体制 (協働型管理運営体制 構築)
80	国立公園の制度改革、管理体制の見直し、公園計画の策定などに関して、行政中心・中央集権的な色彩が強く、民意を反映する機会やしくみが不足していること。	大雪と石狩の自然を守る会	管理運営体制 (協働型管理運営体制 構築)

81	登山道関係者の情報交換会と、登山道整備のマニュアルの位置づけについて議論が必要。登山者からの情報を収集する仕組みについても、早期の構築が必要。それらに対して、民間のアイデアを活用して、大連協で取り組んでほしい。民間では広報にも限界がある。	北海道大学大学院農学研究院 准教授・愛甲哲也	管理運営体制 (協働型管理運営体制構築)
82	春秋の登山道管理の話し合いには、道標整備のこともあるので、道警にも声掛けしたほうが良いと思います。	東川町	管理運営体制 (協働型管理運営体制構築)
83	「総合型協議会」の「部会」の一つに「調査研究部会」を設けるか、民間団体の中に「調査研究部門」を設けると良いと思います。大雪山国立公園は、少し前までは、とても現地調査のしにくい国立公園でした。いまは情報交換会でその年の予定を皆さんにお知らせすることで、かなりの現地調査をお認めいただけるようになり、本当に感謝しています。それでも、「国立公園のための調査研究」を長期にわたって継続的に行うには、調査許可申請を「外部」からするような体制ではなく、「総合型協議会」なり民間団体なりの中に調査研究部門を位置づけていただけると、調査研究の継続性を持たせやすくなると思いますし、その成果の活用もしやすくなるだろうと思います。	北海道大学大学院環境科学研究 院 教授・渡辺悌二	管理運営体制 (調査・研究)
84	広く様々なことが研究されデータが取られ、それを利用できると良い。	東川町	管理運営体制 (調査・研究)
85	何と言っても気象などの基礎データが少ない(あるいはない)状態で登山道の維持管理をするのはとても厳しいと感じています。大学として協力することには何ら問題はないのですが、遠方にいることからの制約が大きく、やはり地元居住者の協力は重要です。もちろん環境省内部で一人「研究担当者」をアサインしていただくのがベストですが、職員が足りないことは理解していますので、例えば地元の山岳ガイドらに協力を求めることが現実的なものかもしれません。その際には「協定」を結ばないと、その人たちにも仕事がありますので長期的には継続できないでしょうね。	北海道大学大学院環境科学研究 院 教授・渡辺悌二	管理運営体制 (調査・研究)
86	外来種の侵入(ルピナス、ハルザキヤマガラシ、フランスギク、オオハンゴンソウ、セイヨウオオマルハナバチなど)	十勝自然保護協会	野生生物 (外来種問題)
87	平地の植物の高山帯への侵入	十勝自然保護協会	野生生物 (外来種問題)
88	国道のタイヤチェーン脱着駐車帯での夏季の夜間照明	十勝自然保護協会	野生生物 (人間とのあつれき)
89	国立公園内の野生動物との衝突事故問題 大雪山国立公園内では、野生動物であるエゾシカ、野鳥との衝突事故が頻繁に発生している。 国道等への侵入防止柵の設置や路面標示の設置あるいは衝突事故啓発活動などを行い衝突事故防止に努める必要がある。	上士幌町	野生生物 (人間とのあつれき)
90	「自然環境の維持」と「資源の有効活用」のバランスが難しい。 市町村の場合、観光担当部局によって維持管理を担当しているまちが多いと思われるが、その根拠・意義として山や登山コースを観光資源として捉え、多くの方の観光目的での来訪を期待したいという施策が背景にある。 縦割りと言われてしまうかもしれないが、単純に環境維持を中心に据えた管理・運営であれば、公園管理の部局や環境担当部局に業務を置くべきと考える。 これらのことから、みだりにとは当然考えてはいないが、現状よりもっとたくさんの方に来訪いただきたいのが正直な部分である。 このような意見を持って大連協に参加すると、有効活用や来訪者獲得の協議の場が少ないことにやや違和感を感じ、物足りない。 環境維持活動は大変意義のある重要課題であり、大いに賛同できるがその議論に偏っているように感じるのと、そのような議論の中では専門用語や場所の理解含め知識不足が否めないいわゆる素人である市町村の担当者は温度差を感じ意見を求められても…といった感覚が。 日本遺産登録の事務局だけではなく、さらなる魅力開発や各入山口へのビジターセンターの設置や人を呼ぶための方策などの議論も盛り込まれると議論への参加意欲も高まるのだが…(否定されそうな気がする)。	富良野市	保護と利用とのバランス 利活用の充実
91	国立公園内における新たなアクティビティや観光メニューの開発と、保護を目的とした規制との兼ね合い。(環境事務所との情報交換が進み、以前のように「きつと難しいだろう」という憶測から取り組みが進展しないという事は随分減りました)	北海道運輸局観光部	保護と利用とのバランス
92	自然環境の保護(環境整備)と利用 例:鹿追町の千畳ずれ付近の樹木について、景観の点から樹木の伐採を実施したい。伐採したいは問題ないが、作業内容(騒音等)によってはナキウサギ等への影響について自然保護団体から意見等がでるのではないかとということで、未実施。自然保護団体等への対応について	鹿追町	保護と利用とのバランス
93	地熱発電計画(トムラウシ山中腹、白水沢)	十勝自然保護協会	保護と利用とのバランス
94	国立公園制度が発足して87年が経ち、自然環境が質量ともに問われる時代に入っているが、国立公園の目的・価値・役割の見直しが進んでいないこと。	大雪と石狩の自然を守る会	国立公園制度全般
95	地域性公園制度は、歴史的に見て評価されるべきことも多いが、占有地を持たないために開発行為に規制をかける管理方式では、公園の資源を損なう開発行為が総量規制されることなく続き、歴史的に見ると全体として人為的影響が深刻化していること。	大雪と石狩の自然を守る会	国立公園制度全般
96	国立公園における外来種問題、登山道の荒廃・トイレ問題など現代的な問題に対して、その対応はやや硬直気味で、地域毎の国立公園の実情に見合ったフレキシブルな対応策が、財源を含めてとれるようになっていないこと。	大雪と石狩の自然を守る会	国立公園制度全般
97	国立公園内の人口が全国の総人口より倍の速さで半減する(国土交通省昭和50年予測)など、国土利用に関する縮小の時代が目前に迫っているが、国立公園のあり方がビジョンとしても検討されていないこと。	大雪と石狩の自然を守る会	国立公園制度全般
98	国立公園は特色ある日本列島の自然を最もよく保持している場所であり、国立公園を含めて国土面積の約一割近くを占めているにもかかわらず、予算措置が足りずその管理体制もきわめて貧弱で脆弱であること。自治体の活用、アクティブレジャーの採用、パークボランティアの活用など一定の改善は見られるがいずれにしても小手先の対策で構造的な対策になっていない。	大雪と石狩の自然を守る会	国立公園制度全般
99	森林資源の減少	十勝自然保護協会	国立公園課題全般
100	生物多様性の喪失、減少	十勝自然保護協会	国立公園課題全般
101	過大な観光利用	十勝自然保護協会	国立公園課題全般

<意見まとめ> ※意見合計101件、のべ合計114件

<b>登山道</b>	<b>のべ合計</b>	<b>54 件</b>
荒廃対応		9 件
標識・施設老朽化対応		8 件
利用者指導・利用者マナー		7 件
登山口へのアプローチ		6 件
トイレ問題		6 件
維持管理担い手		4 件
閉鎖		3 件
歩道等維持管理基盤の形成		4 件
大雪山グレード		3 件
利用者負担、民間資金活用、利用者参加の仕組み検討		3 件
遭難		1 件
<b>利用拠点の活性化</b>	<b>のべ合計</b>	<b>21 件</b>
廃屋対応		2
施設		10
利用可能な資源発掘整備		1
情報ネットワーク		4
交通		3
エコツーリズム等による活用		1
<b>一元的な情報発信</b>	<b>のべ合計</b>	<b>5 件</b>
<b>管理運営体制</b>	<b>のべ合計</b>	<b>7 件</b>
協働型管理運営体制構築		4 件
調査・研究		3
<b>野生生物</b>	<b>のべ合計</b>	<b>4 件</b>
外来種問題		2 件
人間とのあつれき		2
<b>外国人利用者の増加</b>	<b>のべ合計</b>	<b>10 件</b>
<b>人口減少と高齢化</b>	<b>のべ合計</b>	<b>2 件</b>
<b>保護と利用のバランス</b>	<b>のべ合計</b>	<b>4 件</b>
<b>その他国立公園全般</b>	<b>のべ合計</b>	<b>8 件</b>

2. 大雪山国立公園が、このような国立公園であってほしいと思うことを教えてください。

	御回答	機関・団体名	キーワード
1	世界的に魅力ある山岳地域として発信。 外国人への対応がより必要。	ワカサリゾート(株) 大雪山旭岳ロープウェイ	大雪山国立公園の優れた価値の共有と世界への発信
2	世界に誇れる山々が有り、雄大な自然環境が今後ともに維持されることを望みます。	道北バス株式会社	大雪山国立公園の優れた価値の共有と世界への発信
3	大雪山国立公園を世界遺産に登録する。 大雪山国立公園はその内容からして、人類共通の遺産として後世に残す世界遺産にふさわしい資質を備えている。世界遺産の登録はメリットだけではなくデメリットもあるので、登録に至る過程で慎重な準備が必要だが、世界遺産のもたらす効果は大きい。 これまで述べてきた国立公園制度の改革は、制度改革ゆえ一朝一夕には進まないが、それに至る過程で現行制度の不備を補完し、不足している国立公園の議論を進展させる大きな役割を担えようと考えられる。世界遺産という土俵は、個人、団体、自治体、行政機関を含めて多様な見解を持つ多くの人や組織が参加しやすい共通の場で、登録の成否を別としても多大な効果をもたらすことが期待できる。	大雪と石狩の自然を守る会	大雪山国立公園の優れた価値の共有と世界への発信
4	町民、地域住民や観光客も含めて、大雪山国立公園を保護する意識(心)、成り立ちを知ろうとする意識(心)、アイヌ文化も含め歴史にふれる意識(心)、これらを総合的に充実させていくことは必要である。 (※質問1に対してご回答いただいた内容ですが、質問2へ移動しました。)	一般社団法人ひがしかわ観光協会	大雪山国立公園の優れた価値の共有と世界への発信
5	伊勢志摩国立公園は公園内の伊勢神宮への参拝者が、知らずうちに享受している… ① 頂く(頂戴する、感謝する、尊敬する) ② 捧げる(頂いたものを大切に、もっと良いものにしていく) ③ 寂けさ(心が落ち着く空間づくり、静けさを大切に思う心) 日本人の持つ「心」の原点であったり、見失った自分を回帰させてくれる、そんな気持ちになることができる場所と思える。  大雪山国立公園は「神々の遊ぶ庭」と言われており、上記公園同様に享受される聖地として、世界中から人々が訪れ、率先して適正利用のための自主ルールを作るような国立公園になっていくことを望みます。	一般社団法人ひがしかわ観光協会	大雪山国立公園の優れた価値の共有と世界への発信
6	大雪山国立公園内は、日本有数の山岳公園であるという特徴を持っている。 大雪山国立公園は野生動物や高山植物の宝庫となっており他の地域には無いような雄大な自然景観を有しているが、広大な面積・高い標高・森林の密度など身近になりにくい面があることから国立公園の意義や歴史を含めた国立公園利用という観点から公園利用につながるような施策を実施し、北海道の他の国立公園と連携し大雪山国立公園の魅力を見直し独自のブランド化を進める必要がある。 ⇒ 国立公園計画の柔軟な運用を図り利用へとつなげる。	上士幌町	ブランド化
7	全ての万人を受け入れるための「受入整備の必要は全くありません(と思います)上級、登山になれた精通した方のみでの限定した山という啓蒙をして頂きたい。 「山」はレジャーランドでは有りません。希少な高山植物や稀有な動物など、大雪山では無くては体験出来無いものがあると思います。 登山者は命がけでその自然を見る為に登るので、入山料を取るのはいくらも、入り口で、装備チェックをし、もしもの時の備えを「いい加減な登山者」はつかえなくても良い。そんなハードルの高い「山」になって欲しいです。 体力や、経験だけで無い 北海道の最高峰にトライした と言うのが 登山者にとって 非常にステイタスになる「山」の要素が 十分に 大雪山 にはあります。	(一社)ふらの観光協会	ブランド化
8	実利用者の公園利用レベルの向上が図られる国立公園となること	上川中部森林管理署	ブランド化
9	国立公園らしい特徴あるバス待合所(現在はバス停のみ)又は屋根付のバス停があると良い。 冬期間は過酷な環境の中でバスを待っている現状がある。	十勝バス株式会社	ブランド化 (施設の雰囲気統一)
10	前回の管理計画の改定時に、ビジョンを盛り込むために、膨大な資料を集めて整理したはず。当方は、同時期に礼文サロベツ国立公園の管理計画にビジョンを盛り込むことを座長として担当したので、記憶にとどめており、その計画書には集めたデータの資料集もありました。ビジョンは、2管理の基本方針(1)大雪山国立公園の将来目標に6項目にまとめられている。 大雪山では、管理計画改定時の資料は記録に残っていないのでしょうか？国内でも早期に指定された国立公園であるため、指定当時の価値付けなど、過去をよく振り返る必要があると思います。現状の関係者の意見やデータのみでは、現状を踏まえた価値付けだけに左右されてしまう恐れがあり、なぜここが国立公園になったのか、なぜ重要なのかの議論がおろそかになってしまう。	北海道大学大学院農学研究院 准教授・愛甲哲也	国立公園の歩みを振り返る
11	利用と保全の同居 山守隊の活動「たまには山に恩返し」では、普段利用するだけの一般登山者が多く集まり、保全活動を行っています。多くの利用者が機会があれば保全活動をしたいと思っていると感じさせられました。利用者が保全に気軽に参加できる仕組みがもっと多くあれば、利用しながら保全する「利用と保全の同居」が達成できるのではないのでしょうか。	(株)りんゆう観光	登山道 (利用者負担、民間資金活用、利用者参加の仕組み検討)
12	民間企業が公園の利用と管理に適切に参画でき、民間のノウハウが十分に活かされる公園	北海道上川総合振興局 環境生活課	登山道 (利用者負担、民間資金活用、利用者参加の仕組み検討)
13	自然再生・登山道補修等、公園管理に登山者が参画できる公園	北海道上川総合振興局 環境生活課	登山道 (利用者負担、民間資金活用、利用者参加の仕組み検討)
14	大雪山ファンを継続的に創出し、そのファンが管理に貢献し、地域振興にも結びつく公園	北海道上川総合振興局 環境生活課	登山道 (利用者負担、民間資金活用、利用者参加の仕組み検討)
15	適度な(制限された)利用により皆が楽しめるフィールドでありながら、北海道の宝として100年先にも守られていること。また、利用者の費用負担の一部が、保護や洒落たロッジ、清潔なトイレなどの整備に回され、より魅力的な国立公園となっていること。	北海道運輸局観光部	登山道 (利用者負担、民間資金活用、利用者参加の仕組み検討)
16	維持管理や安全対策を公的機関(国・同・市町村)のみに依存せず、受益者(産業界・実利用者)と応分の負担を分かち合える管理体制をとれるようになること	上川中部森林管理署	登山道 (利用者負担、民間資金活用、利用者参加の仕組み検討)
17	管理費用の利用者負担が適切に行われ、施設の維持管理費用が捻出できる公園	北海道上川総合振興局 環境生活課	登山道 (利用者負担、民間資金活用、利用者参加の仕組み検討)
18	維持管理に必要な費用を利用者が少しずつ負担する。(トイレ、避難小屋を整備した上で入山料を取る、携帯トイレの購入費の一部を管理費に充てる等でできればいいと思う)	東川町	登山道 (利用者負担、民間資金活用、利用者参加の仕組み検討)
19	知識・技術、経験を次代に伝えるため、意味のある業務、活動に資金が使われて欲しい。 (巡視業務はボランティア等)	東川町	登山道 (利用者負担、民間資金活用、利用者参加の仕組み検討)

20	極論的理想ではあるが、しっかりと入山管理を行い(場合によっては料金を徴収するなど含めて財源を確保しながら)、利用にあたってのレクチャーを面と向かって実施可能なインフラと管理体制の構築。 位置する市町村ごとの方針・手法で整備・管理・運営するのではなく国または専門機関が一括管理(市町村は負担金の予算化等に対応)。(愛着論にも限界がある) 魅力の開発や来訪者・利用者へのアプローチなどは市町村も共に協議し行う仕組み。	富良野市	登山道 (利用者負担、民間資金活用、利用者参加の仕組み検討)
21	入山料は、用途が明確になされれば、一人3,000円でもいいと思います。 入山料の徴収の方法ですが、富士山と同様 事前にインターネットでのカード決済とし、日/限定とし、自然を侵さない最低限度の入山者に当日に余裕があれば、当日支払いも可能。 場合によっては、折角ロープウエー降り場までに行ったのに登山道に入れなかった。本日も順番待ちだった、など 山に入れる有難味を提供して頂いた方がかえって いいかと思えます。(極論ですが..)	(一社)ふらの観光協会	登山道 (利用者負担、民間資金活用、利用者参加の仕組み検討)
22	利用と保全の同居 同様に、保全のための協力金徴収も一つの案であると思います。本州の方や外国の方など普段の保全活動に関われない方は協力金という形で関わるといご案内をすれば、多くの賛同者はいらっしゃるかと思います。	(株)りんゆう観光	登山道 (利用者負担、民間資金活用、利用者参加の仕組み検討)
23	高齢者の健康づくりにも寄与できる高齢者でも安全にハイキングができるコースが沢山あると良い。	十勝バス株式会社	登山道 (大雪山グレードの徹底による多様な利用者の利益享受)
24	登山者のレベルに応じたそれぞれの楽しみを満喫できる公園	北海道上川総合振興局 環境生活課	登山道 (大雪山グレードの徹底による多様な利用者の利益享受)
25	健常登山者の為の山ではなく、高齢者・障害者なども楽しめる身近な国立公園(山)にしてほしい。	旭川電気軌道株式会社	登山道 (大雪山グレードの徹底による多様な利用者の利益享受)
26	登山道がどこなのかわかりやすくする。(例えばロープなど) 海外の登山道はコンクリートや舗装されて整備されているところもあるので、自然のままにこだわらずに、多くの人利用することも必要かもしれないと思います。(車いすや子ども)あくまでもハイキング程度で行ける範囲です。十勝岳登山口だと安政火口ぐらまで。	かみふらの十勝岳観光協会	登山道 (大雪山グレードの徹底による多様な利用者の利益享受)
27	登山道が応急処置的な補修でなく、恒久的な資材・方法で行われると良い。	東川町	登山道 (歩道補修促進)
28	登山道がきれいに整備されており、歩きやすく、登山者に景観を楽しんでもらえるような姿。	士幌町	登山道 (歩道補修促進)
29	登山道の補修や植生の回復について、新しい方法を積極的に試したり実験できると良い。	東川町	登山道 (歩道補修促進)
30	標識が全て日本語と英語で標記され、標高、座標や大雪山グレードも付けられた統一したもの。	東川町	登山道 (歩道関連施設整備)
31	関係者が関係する法律等や土地使用に関わる手続きを理解し、より良い利用ができる形が望ましい。	十勝西部森林管理署 東大雪支署	登山道 (歩道等維持管理基盤形成)
32	入域者に対し、携帯トイレの携行・回収、また、洗浄場を設置して登山靴の洗浄を義務付ける。	十勝自然保護協会	登山道 (歩道の適正利用)
33	ガイドには正しいマナーや、山岳地域が抱える問題も伝えて欲しい。	東川町	一元的な情報発信
34	保護と利用の視点にたったワンストップ窓口の必要性は否めない。各種研究成果や調査データなど多重的な活動状況の収集、発信も充分とは言えない状況であり、観光利用に関する総合的な窓口の存在も見当たらない。これらの問題点を解決するマネジメント体制が総合型協議会の役割として確かな位置づけを得る必要があるのではないか。	北海道大学 観光学高等研究センター 特任教授・木村	一元的な情報発信
35	自然資源、利用状況等のモニタリング体制が構築され、データの蓄積が適切に行われている公園	北海道上川総合振興局 環境生活課	一元的な情報発信
36	様々な基礎情報が一元的に統合され、欲しい情報に誰もがアクセスできる公園	北海道上川総合振興局 環境生活課	一元的な情報発信
37	登山者からの情報もネット経由で収集・統合・フィードバックできる公園	北海道上川総合振興局 環境生活課	一元的な情報発信
38	登山道情報や公園内の楽しみ方についての情報発信の充実	鹿追町	一元的な情報発信
39	関係機関が情報共有し、災害や課題などへの協同作業・管理・運営の実施	鹿追町	一元的な情報発信
40	魅力発信	新得町	一元的な情報発信
41	ジオパークのようにレベルの高い楽しみ方が出来るとよい。	東川町	エコツーリズム等による活用
42	有償(山岳ガイドら)・無償(PVやアクティブレンジャーら)のガイドが案内するツアーが豊富な国立公園。当日でも申し込みできる＝毎日何らかのツアーを実施しているべきで、申込をしたい人をVCIに誘導することにも繋がります。 夏(層雲峡では氷瀑祭り期間も)に定期的(毎週金曜の夜など)に実施する「利用者向けスライドショー(講演会)」のある国立公園。 外国人にもっと開かれた国立公園。 (上記3つによって)利用者に「行きたいと思わせる国立公園」であって欲しいと思います。	北海道大学大学院環境科学研究 院 教授・渡辺悌二	エコツーリズム等による活用 外国人対応の充実
43	外国人に事前にマナーや道の様子、季節的な状態、注意事項が伝わっていると良い。	東川町	外国人対応の充実
44	外国人PR	新得町	外国人対応の充実
45	新たな利用者層として、来訪する訪日外国人に向け、日本そして北海道を代表するナショナルパークとしての受け入れ指針(KGI)や、KPIの設定、評価の仕組みづくりは急務ではないか。	北海道大学 観光学高等研究センター 特任教授・木村	外国人対応の充実

46	豊かな自然が保たれ、雄大な景観を有する、安全安心に観光出来る国立公園	北海道開発局 開発連携推進課	安全・安心の確保
47	災害に強い国立公園	北海道開発局 開発連携推進課	安全・安心の確保
48	遭難者をなるべく出さない為、通信網の整備を行い安全な国立公園を目指してほしい。	旭川電気軌道株式会社	安全・安心の確保
49	多くの人々が海外からの人も安心して利用できる様になってほしい。	かみふらの十勝岳観光協会	安全・安心の確保
50	看板、登山道、山小屋、十勝岳が噴火した時に避難できる避難小屋の整備など、安心して登山のできる受入れ環境が整った国立公園	上富良野町	安全・安心の確保
51	遭難が無くなると良い	東川町	安全・安心の確保
52	この地が「カムイミタラ」と畏敬の念をもって称される大雪山国立公園は、歴史的に見て、本州など他県の国立公園と違い地権者と争うことなく範囲を大きく指定できたことと商業的な規制が容易だったことに特徴がある。したがって今後も観光集客を運営の主目的に傾かないことが不可欠である。	十勝自然保護協会	保護と利用のバランス
53	その一方で、「広大で原生的な山岳景観」を前面に打ち出すのであれば、自然環境保護・保全がビジョンの中に明確に盛り込まれている必要があります。その盛り込み方としては、スイス国立公園のように「大雪山国立公園は、研究を推進し、その最新の成果を利用、保護・保全等に活用する国立公園である」という明記の仕方が良いと思います。	北海道大学大学院環境科学研究 院 教授・渡辺悌二	保護と利用のバランス 管理運営体制 (調査・研究の充実)
54	自然資源の適切な保全がなされ、生物多様性が確保された公園	北海道上川総合振興局 環境生活課	保護と利用のバランス
55	自然環境を守りながら、利用者が安全に楽しく利用できるよう環境整備を実施。	鹿追町	保護と利用のバランス
56	冬期間のスノーモビルの立入規制を徹底する。	十勝自然保護協会	保護の充実
57	国立公園内での商業的森林伐採を停止する。	十勝自然保護協会	保護の充実
58	シマフクロウ、ミュビゲラ、キンメフクロウなどの希少種の生息環境の保全を行う。	十勝自然保護協会	保護の充実
59	砂防ダムの魚道設置および管理・発電用ダム下流域の流量回復を行う。	十勝自然保護協会	保護の充実
60	大雪山十勝岳連峰の大自然とその恵みの温泉(白金温泉・十勝岳温泉)、これらと周辺観光施設(青い池等)を結ぶ遊歩道、サイクリング・ネイチャーガイド等、保全しながら有効活用できる公園整備・管理を望みます。	一般社団法人 美瑛町観光協会	国立公園内外の連携
61	現在は立地環境もあり国立公園との繋がりは薄いと考えている。	南富良野町	国立公園内外の連携
62	生態学的・社会的調査研究がしっかりなされ、研究成果や有識者の知見が適正な保全と利用の施策に十分に反映される公園	北海道上川総合振興局 環境生活課	管理運営体制 (調査・研究の充実)
63	広く様々なことが研究されデータが取られ、それを利用できると良い。	東川町	管理運営体制 (調査・研究の充実)
64	土地所有と公園管理を一体化させた公園にする。 現在の地域性公園制度を不変のものとして、すぐれた自然を保護・保全するという国立公園発足の原点に立ち返って、公園管理と土地所有を可能な限り(できるところから)一体化させることが必要である。 大雪山国立公園(面積226,764ha)は、国有地(214,812ha94.7%)・公有地(9,853ha0.43%)の比率が高いことから、一体化できる可能性が高くその先駆例にできること。制度変更を伴うことから、経過的には地域性公園制度を保ったまま土地の買い上げなどを行い、実質的に営造物公園として運用する方法なども考えられる。	大雪と石狩の自然を守る会	管理運営体制 (制度・体制充実)
65	国定公園と国立公園の区分を廃止して、地種区分も見直しをすること。 現行の国立公園と国定公園は、指定の方法や管理方法等に違いがあり取り扱いを異にしているが、その対象となる自然の内容に価値の優劣はないので一体的な管理が必要である。 上記の内容を含めて考えると、自然公園法の公園の区分(都道府県立自然公園を除く)を見直して地域性公園と営造物公園に再区分し、国有地・公有地の占める割合の高い地域を営造物公園に順次移行させ、また、私有地が多く公園の取り扱いも現行の地域性公園等になじむところは地域性公園として維持する。 また、現行の地種区分は地域性公園制度の利用制限に基づいているため、見直しが必要である。内容においても、例えば大雪山国立公園の現行の地種区分を見ると、区分指定の歴史的経緯もあって国立公園面積の約八割を占める生物多様性の高い森林地帯に弱点を残す不合理を抱えている。	大雪と石狩の自然を守る会	管理運営体制 (制度・体制充実)
66	国立公園の目的を明確にし、景観保護から生態系保護中心に改める。 風景保護と保健・休養利用を中心とした「国立公園法」時代の二律背反的な公園のあり方を見直す。確かにこれまでも国立公園制度の改善過程で、関係法規に生態系保護や生物多様性保護等の視点が盛り込まれてきているが、その内容は一体性に欠け適用においても有機的な結びつきを欠いている。 風景保護が悪いのではなく、風景保護の視点をもって生態系保護の視点を代替することはできないからである。大雪山国立公園は比較的原始的な自然が広い面積で残されており、その性格からしてIUCNが示す保護地域カテゴリーのI(原始地域)及びII(生態系保護・レクリエーション)に合致する公園であり、その位置づけにふさわしい国立公園にすることが可能である。	大雪と石狩の自然を守る会	管理運営体制 (制度・体制充実)
67	公園管理に必要な財政措置と人的措置を十分にするとともに、制度活用の充実を図る。 沖縄県の面積にほぼ匹敵する大雪山国立公園の管理に対して、現行の財政措置や人的配置はきわめて貧弱である。近年、アクティブレジャーなど非常勤職員の配置、パークボランティアなど民間ボランティアの活用、あるいは地域性公園に由来する関係自治体等の業務分担など改善が行われているが、絶対数が不足している。 登山道の維持管理、公園管理に必要な施設設備、ビジターセンターの管理運営、公園利用者の指導、自然環境の基礎調査、環境保全、情報の伝達などに必要と思われる財政措置も不十分である。 大雪山国立公園は、国立公園の中の「国立公園」と目される内容を持つことから、先駆的にあるべき姿の事例として試行の対象にすることがあってよい。	大雪と石狩の自然を守る会	管理運営体制 (制度・体制充実)
68	生物多様性の保全、生態系の保全が第一義的に掲げられるべきであり、生物多様性国家戦略を早く実行することである。	十勝自然保護協会	管理運営体制 (制度・体制充実)
69	大雪山国立公園内は、日本有数の山岳公園であるという特徴を持っている。 大雪山国立公園の大部分は林野庁所管の国有林であることを踏まえ、この日本一広い国立公園を将来にわたって存続させるために、私有地の国有化など国立公園敷地の国有化を図り、国立公園を開発や投機の対象とならないようにする必要がある。 ⇒ 欧米型国立公園をめざす。	上士幌町	管理運営体制 (制度・体制充実)

<意見まとめ> ※意見合計69件、のべ合計71件

大雪山国立公園の優れた価値の共有と世界への発信	のべ合計	5 件
ブランド化	のべ合計	4 件
国立公園の歩みを振り返る	のべ合計	1 件
登山道	のべ合計	22 件
利用者負担、民間資金活用、利用者参加の仕組み検		12 件
大雪山グレードの徹底による多様な利用者の利益享		4 件
歩道補修促進		3 件
歩道関連施設整備		1 件
歩道等維持管理基盤の形成		1 件
歩道の適正利用		1 件
一元的な情報発信		8 件
エコツーリズム等による活用		2 件
外国人対応の充実		4 件
安心・安全の確保		6 件
保護と利用のバランス		4 件
保護の充実		4 件
国立公園内外の連携		2 件
管理運営体制	のべ合計	8 件
調査・研究の充実		3 件
制度・体制充実		6 件

3. 国立公園のために自分たちができること、貢献できることを教えてください。

	御回答	機関・団体名	項目別キーワード	分野別キーワード
1	登山道整備(植生の回復と回復後に再び交代することのない方法、石畳化、道の構造を変える)	東川町	国立公園の管理運営に直結する取組の実施	登山道 (歩道補修促進)
2	登山道の整備	士幌町	国立公園の管理運営に直結する取組の実施	登山道 (歩道補修促進)
3	看板・登山道・公園内の環境整備	鹿追町	国立公園の管理運営に直結する取組の実施	登山道 (歩道補修促進)
4	上富良野(白銀荘、凌雲閣)から入る登山道の整備や登山道の整備協力	上富良野町	国立公園の管理運営に直結する取組の実施	登山道 (歩道補修促進)
5	外来種防除、登山道整備、ごみ・し尿問題等の取り組みに参加できる。	大雪と石狩の自然を守る会	国立公園の管理運営に直結する取組の実施	登山道 (歩道補修促進)
6	公園事業執行者としての道有施設の適切な維持管理	北海道上川総合振興局 環境生活課	国立公園の管理運営に直結する取組の実施	登山道 (歩道補修促進)
7	植生回復の現場での検証や実験	東川町	国立公園の管理運営に直結する取組の実施	登山道 (歩道補修促進)
8	旭岳姿見地区の案内標識の表示の仕方、注意の引き方等を常に考え実行できる。	東川町	国立公園の管理運営に直結する取組の実施	登山道 (歩道関連施設整備)
9	大学生を中心にボランティアやインターンで旭岳自然保護監視員業務を経験してもらい、自然や山岳地域の問題、取組みを伝える(卒業論文のテーマに扱う学生もいる)	東川町	国立公園の管理運営に直結する取組の実施	登山道 (維持管理担い手) 一元的情報発信
10	安全巡視、登山者啓蒙活動(GSSや職員)	上川中部森林管理署	国立公園の管理運営に直結する取組の実施	登山道 (利用者指導・利用者マナー)
11	ボランティアで巡視、ゴミ拾いを行う。	東川町	国立公園の管理運営に直結する取組の実施	登山道 (利用者指導・利用者マナー)
12	登山道パトロール	十勝自然保護協会	国立公園の管理運営に直結する取組の実施	登山道 (利用者指導・利用者マナー)
13	振興局地域政策推進事業等を通じた大雪山国立公園の適正利用推進	北海道上川総合振興局 環境生活課	国立公園の管理運営に直結する取組の実施	登山道 (利用者指導・利用者マナー)
14	公園へのアプローチとなる林道の維持管理の一部を担うこと	上川中部森林管理署	国立公園の管理運営に直結する取組の実施	登山道 (登山口へのアプローチ)
15	環境保全のための資金調達。	東川町	国立公園の管理運営に直結する取組の実施	登山道等 (利用者負担、民間資金活用、利用者参加の仕組み検討)
16	関係者に土地使用に関わる手続きや関係法律を周知していくこと。	十勝西部森林管理署 東大雪支署	国立公園の管理運営に直結する取組の実施	登山道 (歩道維持管理基盤の形成)
17	新たに立ち上げる協議会の中では、国有林は行政としての立場で関係法律や土地使用に関わる手続きについて意見していくこととなると思われる。この協議会にそのような立場の者が本当に必要なか疑問が残る。	十勝西部森林管理署 東大雪支署	国立公園の管理運営に直結する取組の実施	登山道 (歩道維持管理基盤の形成)
18	紅葉期マイカー規制 平成13年に大雪山国立公園高原温泉・銀泉台地区自動車利用適正化協議会を設立し、車両混雑の緩和と交通事故の抑止、排ガス等からの自然環境保全、利用者の快適性を図ることとし、翌14年の紅葉期から家用車の乗り入れ規制を実施し、シャトルバスを運行させている。 開始から16年が経過し、交通混雑の緩和や事故、自然環境の保全には成果が表れているが、利用者の快適性では、各路線道路の整備、トイレ問題、登山道の維持管理といった課題が残されている。難しい課題であり一気に解決を図れるものではないが、少しでも安心して快適に利用してもらえるよう努力していきたい。	上川町	国立公園の管理運営に直結する取組の実施	利用拠点の活性化 (交通)
19	東大雪地域の自然を守る活動 本州等から移入された動植物を早期に見出し、国立公園内の既存の動植物を守るため地域住民やボランティアなどと協力する組織をつくる。	上士幌町	国立公園の管理運営に直結する取組の実施	野生生物 (外来種問題)
20	開発行為などへの監視活動	十勝自然保護協会	国立公園の管理運営に直結する取組の実施	保護の充実
21	保全活動が円滑になるよう、ロープウェイ乗車協力や保全活動自体への協力など、できる事を先駆的に検討します。	(株)りんゆう観光 層雲峡事業所	国立公園の保護や利用増進に協力する取組を実施	登山道 (歩道補修促進)
22	当社は、バスによる大量輸送が可能で、一般車の交通規制やシャトルバスなど、自然を守ることもお手伝いできます。	旭川電気軌道株式会社	国立公園の保護や利用増進に協力する取組を実施	利用拠点の活性化 (交通)
23	日本遺産認定事業 カムイと共に生きる上川アイヌ ～大雪山のふところに伝承される神々の世界～ 【構成自治体:2市10町】 上川町、旭川市、富良野市、上士幌町、上富良野町、鹿追町、士幌町、新得町、愛別町、当麻町、東川町、比布町 【認定ストーリーの概要】 美しく厳しい大雪山のふところに、カムイ(神)を見出し、共に生きた上川アイヌが様々な事柄に伝説を残し、祈りを捧げ続け、神々と共に生き続けている。 【具体的な取組】 大雪山の希少な自然価値やそれらとの関わりが深いアイヌ民族の文化に触れられる事業を展開し、この地域の魅力度アップを図り活性化につなげていく。 ・情報発信事業 ポータルサイトの作成し、この地域の自然・歴史・文化・風習などの魅力ある日本遺産ストーリー等の情報を発信していく。 ・人材育成事業 日本遺産ストーリーを圏域関係者が誰でも来訪者にガイドできるようマニュアルを作成し、研修会等も開催していく。 ・普及啓発事業 地域に誇りを持つ機運醸成や戦略ビジョンを地域の方々に理解してもらうためのシンポジウム開催や学習教材の作成、地域の特色ある食 材を活用した日本遺産ブランドの商品化、日本遺産ストーリーを手軽に体験できる観光ルートの造成を行っていく。 ・調査研究事業 他地域からの誘客を図る効果的なプロモーションを行うため、アンケート等によるマーケティング調査を実施していく。 ・公開活用のための整備に係る事業 日本遺産の核となる施設へのコーナー設置による発信拠点整備や点在する構成文化財の説明看板を整備し正しい情報の提供を行う。	上川町	国立公園の保護や利用増進に協力する取組を実施	一元的な情報発信

24	バス会社として国立公園に行くための移手段だけではなく、現地のボランティアガイドなどの協力があれば公園に行くまでの移動中もガイド案内などのサービスを提供することで観光客に楽しんでもらうことができる。	十勝バス株式会社	国立公園の保護や利用増進に協力する取組を実施	利用拠点の活性化(エコツーリズム等による活用)
25	北海道開発局では大雪山国立公園内の事業として、防災減災対策である十勝岳直轄火山砂防事業や石狩川上流直轄砂防事業、大雪ダム管理を行っており、さらに大雪山国立公園の雄大な眺望を生かした、安全安心で快適な国道管理を推進しています。	北海道開発局 開発連携推進課	本業の取組に国立公園の保護や利用増進の観点を付加	安心・安全の確保
26	環境に配慮した作業(ロープウェイとして)	ワカサリゾート(株) 大雪山旭岳ロープウェイ	本業の取組に国立公園の保護や利用増進の観点を付加	利用拠点の活性化(交通)
27	定期バスに環境に優しい、ハイブリットバスを運行させている。	道北バス株式会社	本業の取組に国立公園の保護や利用増進の観点を付加	利用拠点の活性化(交通)
28	国立公園なので環境保護を目的としての車両の選定をしてゆく。	道北バス株式会社	本業の取組に国立公園の保護や利用増進の観点を付加	利用拠点の活性化(交通)
29	最終的には水素ないし、電気で走行できるバスの開発協力。	道北バス株式会社	本業の取組に国立公園の保護や利用増進の観点を付加	利用拠点の活性化(交通)
30	迅速な災害対応のための手続きの簡素化や、維持作業上の砂防施設の堆積土砂の撤去、景観および交通安全確保のための樹木伐採時の協議不要等の措置ができないか検討いただきたい。	北海道開発局 開発連携推進課	本業の取組に国立公園の保護や利用増進の観点を付加	安心・安全の確保
31	アドベンチャー・トラベルの振興を通じて、幅広い関係者のコミュニティを作ること。	北海道運輸局観光部	本業の取組に国立公園の保護や利用増進の観点を付加	安心・安全の確保
32	プロモーションを通じて、北海道のブランド力を高めること。	北海道運輸局観光部	本業の取組に国立公園の保護や利用増進の観点を付加	ブランド化
33	様々なイベントを通じて語り続けること(啓蒙活動)	一般社団法人ひがしかわ観光協会	イベントの開催	国立公園内外の連携 大雪山国立公園の優れた価値の共有と世界への発信
34	大雪山の調査活動、フォーラム、シンポジウムなどを通して、大雪山の保護活動に貢献できる。	大雪と石狩の自然を守る会	イベントの開催	国立公園内外の連携 大雪山国立公園の優れた価値の共有と世界への発信
35	長年継続している大雪山講座「ひぐま大学」や自然学園「グリーンフォーラム」の活動を通して、大雪山の自然の理解や普及に貢献できる。	大雪と石狩の自然を守る会	イベントの開催	国立公園内外の連携 大雪山国立公園の優れた価値の共有と世界への発信
36	長年継続している「大雪山を世界遺産にフォーラム」を継続開催することができる。	大雪と石狩の自然を守る会	イベントの開催	国立公園内外の連携 大雪山国立公園の優れた価値の共有と世界への発信
37	大雪山の「自然」「文化」「歴史」的価値を知り、活かしていくためのワークショップを開催し、官民・広域連携で大雪山の動向を常に共有できる場を準備していくこと。	一般社団法人ひがしかわ観光協会	イベントの開催	国立公園内外の連携 大雪山国立公園の優れた価値の共有と世界への発信
38	国立公園を使ったイベントを開く。	かみふらの十勝岳観光協会	イベントの開催	国立公園内外の連携
39	大雪山大学 「山に学び、山で学ぶ」大雪の麓で誰でも参加できるプロジェクト。として、交流型市民大学「大雪山大学」がスタートした。水、食、温泉、森林、ガーデン、雪は大雪山が育んだ資源であり、宝である。それら上川町の魅力を発掘・創造し、町内外へ発信していくことをテーマとして各種取り組みが進められている。 【平成29年度の取組み】 ・大雪山大学 開校！「山頂入岳式」(8/11山の日に開催) ・インスタグラムでいいね！が集まる！共感フォト講座 ・大雪山大学 日本酒ゼミ(緑丘蔵とのタイアップ:3回のWSを開催) ・こども旅館(町内外の小学生を対象に温泉ホテルのスタッフとして、保護者へ日頃の感謝を込めた接客“お仕事”体験)	上川町	イベントの開催	国立公園内外の連携
40	単独・連携イベントの開催	鹿追町	イベントの開催	国立公園内外の連携
41	毎年6月に十勝岳山開き登山会をかみふらの十勝岳観光協会と同日に開催しており、今後、白金を拠点とした国立公園内でのウォーキング・スノーシューツアー等も検討しており、大自然を生かした取り組みを考えております。	一般社団法人 美瑛町観光協会	イベントの開催	国立公園内外の連携 利用拠点の活性化(エコツーリズム等による活用)
42	情報発信(観光パンフレットやSNSの活用)	鹿追町	情報発信	一元的な情報発信
43	大雪山における自然及び保護活動の広報に協力できる。	大雪と石狩の自然を守る会	情報発信	一元的な情報発信
44	関係機関からの各種情報を広く地元地域への周知PR	富良野市	情報発信	一元的な情報発信
45	当協会は望岳台シェルターの管理を町から委託されており、マナー啓発を含めた情報発信を行っております。その他、道の駅「白金ビルケ」でも観光案内を受託しており、駅前の観光案内所、WEBサイト等を通じた情報発信も可能です。	一般社団法人 美瑛町観光協会	情報発信	一元的な情報発信
46	国立公園の案内をする。	かみふらの十勝岳観光協会	情報発信	一元的な情報発信
47	国立公園を知ってもらう活動をする	かみふらの十勝岳観光協会	情報発信	一元的な情報発信
48	高山植物の開花所要日数調査(主に開花日を予想して案内する)	東川町	情報発信	一元的な情報発信
49	旭岳エリアの天候・気温・道の状態・植物の様子、注意事項等毎日ブログで発信	東川町	情報発信	一元的な情報発信
50	登山道入り口の存在の周知	士幌町	情報発信	一元的な情報発信
51	国立公園内の見どころ再発見 東大雪地域は、表大雪地域にはない特徴をもっていることから、東大雪地域の魅力を再発見し情報発信する。	上士幌町	情報発信	一元的な情報発信
52	魅力開発や人を呼び込むためのアイデア出し	富良野市	国立公園管理運営に対する助言、指導、意見	大雪山国立公園の優れた価値の共有と世界への発信 ブランド化

53	ビジターセンターの展示・運営等に関するアドバイザー	十勝自然保護協会	国立公園管理運営に対する助言、指導、意見	利用拠点活性化(施設)
54	当協会の大雪山国立公園を対象とした過去の取り組みは下記のように多岐にわたります。必要があれば別途提出します。 ・士幌高原道路問題 ・三股ふれあい自然塾問題 ・地熱発電問題 ・公園内道路事業対策 ・伐採問題 等	十勝自然保護協会	国立公園管理運営に対する助言、指導、意見	保護の充実
55	このような問題や課題の解決の場に積極的に参加し、議論や行動をすることができる。	大雪と石狩の自然を守る会	国立公園管理運営に対する助言、指導、意見	管理運営体制(協働型管理運営体制の構築)
56	担い手の現状に対する取り組みの充実が必要だが、民間・市民の取り組みを具体的な支援もせず期待するのは無理がある。山岳会や各自治体の取り組みはおそらくあと10年もたないだろう。取り組みの方向性に、実現の担保がないものは含むべきではないし、目標として掲げるならその実現方を明確にすべきである。	北海道大学大学院農学研究院 准教授・愛甲哲也	国立公園管理運営に対する助言、指導、意見	管理運営体制(協働型管理運営体制の構築)
57	環境省と北海道内の研究者、有識者の橋渡し	北海道上川総合振興局 環境生活課	国立公園管理運営に対する助言、指導、意見	管理運営体制(調査・研究の充実)
58	「大雪山」マインドの醸成。大雪山系の裾野に連なる観光地、観光施設、市町村に共通する大雪山への思いを具現化、表現化し「大雪ブランド」を確立し、裾野の産業振興に結びつけたい。大雪ブランドは観光利用のためだけではなく、いかにそのブランドを守り次世代に託していくかということ、保護、再生、制限など環境保全をベースとして生き続ける大雪の共通認識と評価こそブランドであり、そのイメージも地域内外で認知されなくてはならない。大雪山国立公園連絡協議会こそ大雪ブランドの構築、発信、マネジメント組織であるべき。ブランド醸成の研究や啓発に関する協力は地域マネジメントの視点から可能なお手伝いかと…	北海道大学 観光学高等研究センター 特任教授・木村	調査研究の実施(ブランド醸成)	ブランド化
59	大学等の研究機関との連携についても検討すべき。現在、研究者ネットワークは限られた活動しかできていないものの、一時期は大雪山は高山帯の昆虫、地理、植物、動物、利用の研究が盛んに行われ、その蓄積も多い。地球温暖化の影響が深刻化する中で、高山帯での研究の重要性は増すはずで、研究拠点や研究機関との関係の再構築が必要である。それには、微力ながら、協力できる。	北海道大学大学院農学研究院 准教授・愛甲哲也	調査研究の実施(研究機関との連携)	管理運営体制(調査・研究の充実)
60	環境省主導の元に、大学が「研究のため」ではなく「国立公園管理のために」協働で長期気象観測を行う。登山道侵食(特に大規模なもの)の管理のためには、環境省や総合型協議会が自由に使える気象データの取得が重要です。降水量・気温・地温くらいであれば観測機器は高価ではなく、国立公園内に2、3カ所だけでも良いので(環境省・大学が簡単な協定を結んで)「国立公園管理のための長期データ収集」を行うと良いと思います。	北海道大学大学院環境科学研究科 教授・渡辺悌二	調査研究の実施	管理運営体制(調査・研究の充実)
61	外国人が大雪山国立公園をどう感じているのか、調査をしたいですね(来年にでもしましょうか)。	北海道大学大学院環境科学研究科 教授・渡辺悌二	調査研究の実施	管理運営体制(調査・研究の充実)
62	設問2におなじく、繋がりが薄く中々貢献できる状態にない。	南富良野町	その他	

<項目別意見まとめ> ※意見合計62件

国立公園の管理運営に直結する取組の実施	20 件
国立公園の保護や利用増進に協力する取組を実施	4 件
本業の取組に国立公園の保護や利用増進の観点を付	8 件
イベントの開催	9 件
情報発信	10 件
国立公園管理運営に対する助言、指導、意見	6 件
調査研究の実施	4 件
その他	1 件

<分野別意見まとめ> ※意見合計62件、のべ合計64件

大雪山国立公園の優れた価値の共有と世界への発信	のべ合計	1 件
ブランド化	のべ合計	3 件
登山道	のべ合計	18 件
歩道補修促進		8 件
歩道関連施設整備		1 件
維持管理担い手		1 件
利用者指導・利用者マナー		4 件
登山口へのアプローチ		1 件
利用者負担、民間資金活用、利用者参加の仕組み検討		1 件
歩道維持管理基盤の形成		2 件
利用拠点の活性化	のべ合計	9 件
交通		6 件
エコツアー等による活用		2 件
施設		1 件
一元的な情報発信	のべ合計	11 件
安心・安全の確保	のべ合計	3 件
国立公園内外の連携	のべ合計	9 件
保護の充実	のべ合計	2 件
野生生物	のべ合計	1 件
外来種問題		1 件
管理運営体制	のべ合計	6 件
協働型管理運営体制の構築		2 件
調査・研究の充実		4 件

4. ビジョンの骨子案（参考3）について盛り込んでほしいこと等を教えてください。

	御回答	機関・団体名	骨子案の項目	キーワードなど
1	1. 大雪山国立公園の現状と課題に追加 「管理者不在の登山道」 今後、より良い国立公園や登山道利用を目指すのであれば登山道の管理者を明確にしていく必要がある。登山道整備等を行う際には「土地使用手続き」「事業執行」が必要になることを協議会内で周知していく必要がある。	十勝西部森林管理署 東大雪支署	課題	登山道 (管理者の不在)
2	1 大雪山国立公園の現状と課題について 「1 現状で困っていること」に記載した課題に加え、以下の追加を求めている。 ・商業的森林伐採の停止 ・砂防ダムの魚道設置および管理・発電用ダム下流域の流量回復	十勝自然保護協会	課題	国立公園内外 の連携
3	ビジョンのたたき台には、課題に温暖化の影響に関する記述が不足している。	北海道大学大学院農学研究 院 准教授・愛甲哲也	課題	気候変動
4	1. 現状と課題 ・自然資源、利用状況等対策検討に必要な情報不足 ・気候変動の影響、シカの食害等による高山植生の変遷(お花畑の消失・ササの拡大等)、永久凍土層の消失等自然資源の急激な変化 ・野生動物管理対策の不足 ・公衆便所、山小屋等自然公園施設の適切な維持管理のための人員・予算不足	北海道上川総合振興局 環境生活課	課題	一元的な情報発信 気候変動 野生生物 登山道
5	東大雪エリアの特徴の明記 東大雪エリアは登山だけでなく、国有林を中心とする山深い一体であるので東大雪地域の特徴を明記する。	上士幌町	大雪山国立公園が 持つ優れた価値	
6	目指す姿には、なぜ国立公園になったのかという資質の評価、雄大で奥深い景観、季節に応じた適正な利用を目指すという観点が必要。	北海道大学大学院農学研究 院 准教授・愛甲哲也	大雪山国立公園が 持つ優れた価値	
7	持続可能な環境保全と環境と調和した景観形成	北海道開発局 開発連携推進課	目指す姿	
8	国立公園の中の国立公園→世界のナショナルパークを目指して！  大雪山国立公園の様々な計画には「世界の…」とか「世界遺産」という言葉が出てきます。世界中の登山者、旅行者のあこがれとなる大雪山、環大雪山で連携し、大雪山ブランドを確立するということは、現行の各取組や保護・保全のための担い手不足の現状がある中で「みんなで」協力し合って目指すべきゴールであると思います。 「ブランディング」と「課題の解決」は同時に動き、かかわるすべての「みんな」がその重要な一員であることを自覚し、協力し合って突き進んでいくことが大切であると考えます	一般社団法人ひがしかわ観 光協会	目指す姿	
9	現状の課題に対する対応と同時に、未来へ向けたメッセージ性のある文言を入れた方が良いかと感じました。	(株)りんゆう観光 層雲峡事業	目指す姿	
10	国立公園のビジョンは、観光開発をいかにするか、どのようにして人を多く集めるか、そのためにお互いに協力しようということではない。 生物多様性の保全、生態系の保全が第一義的に掲げられるべきであり、生物多様性国家戦略を早く実行することである。 協議会全体としてまず抑えるべきは、大雪山国立公園において、生物多様性の現状がどうであるかの検証をし、その上で、荒廃が進みつつあることの共通認識を共有することである。	十勝自然保護協会	目指す姿	
11	2 大雪山国立公園の目指す姿について 「山岳景観」「魅力がある」「遊びつくす」「若い力を中心にした」は必要な表現とは考えにくい。以下の文言への書き換えを求めている。 ・世界の登山者・旅行者の憧れの的となる広大で原生的な山岳地帯 ・管理の行き届いた延長300kmの登山道 ・温泉・峡谷・湖・雪～大雪山のふもとの自然体験ツーリズム ・環大雪山の連携、大雪山の魅力づくり、魅力発信  また上記の観点から以下の文言の追加を求めている。 ・生物多様性の確保(外来種の駆除を含め)	十勝自然保護協会	目指す姿	
12	利用者がすぐに「イメージ」できるものであって欲しいです。いろいろな文言を並べる必要はありますが、それだけではなく、「20年後の大雪山国立公園の姿」=ビジョン、というだけでなく、「現状を維持したいのか」それとも「20年前の状態に戻したいのか」「40年前の状態に戻したいのか」、「もう少し利便性・安全性を高めたい」のかをきちんと明記すべきだと思います。それが一番最初に書かれるべきだと思います。	北海道大学大学院環境科学 研究院 教授・渡辺悌二	目指す姿	
13	「気象観測」や「登山道モニタリング」については、「新・尾瀬ビジョン」にあるように「科学的知見に基づく保全」を明記して欲しいと思いますし、もう一步踏み込んで、「2」で書いたように、「大雪山国立公園は、研究を推進し、その最新の成果を利用、保護・保全等に活用する国立公園である」ことを入れて欲しいと思います。	北海道大学大学院環境科学 研究院 教授・渡辺悌二	目指す姿	
14	2. 目指す姿 ・世界の登山者・旅行者の憧れの的となる広大で原生的な山岳景観、貴重な動植物の宝庫	北海道上川総合振興局 環境生活課	目指す姿	
15	大雪山の麓とあるが、大雪山という山はありますか？言葉の表現の工夫があると良いと思います。	かみふらの十勝岳観光協会	目指す姿	
16	大雪山＝旭岳のイメージが強すぎる	かみふらの十勝岳観光協会	目指す姿	
17	(1) 国立公園のあり方(目的・趣旨・方向性) (2) 課題となることから (3) あり方の協議体制 (4) 長期ビジョンと短期ビジョン (5) 情報の公開 (6) その他ビジョンの骨格となることから	大雪と石狩の自然を守る会	課題 目指す姿	
18	景観や体験の魅力だけでなく、個人レベルの自己の可能性も考え、登山技術の向上も視野に入れた発信方法。	東川町	ビジョンを実現するための取組方向性、内容	一元的な情報発信
19	一元的な情報発信については、各関係者から情報をアップできる、スピード重視のもの、整理されたものがあると良い。	東川町	ビジョンを実現するための取組方向性、内容	一元的な情報発信
20	マイカー・レンタカーなどの誘導 登山口入口にマップコードなどの目印をつけマイカーやレンタカーなどが分かりやすく誘導する。	上士幌町	ビジョンを実現するための取組方向性、内容	一元的な情報発信
21	登山道の荒廃箇所についての基本的な方針を決定して欲しい。(補修か撤去か等)	東川町	ビジョンを実現するための取組方向性、内容	登山道 (歩道等補修促進)

22	突発的な補修等のための資金を、予め予算化してほしい。	東川町	ビジョンを実現するための取組方向性、内容	登山道 (歩道等補修促進)
23	課題に「外国人対応が不十分」と記載がありますが、国内外を含めた登山道等の公園内全体のサイン計画が必要と考えます。	一般社団法人 美瑛町観光協会	ビジョンを実現するための取組方向性、内容	登山道 (歩道関連施設整備)
24	看板や案内板の設置	かみふらの十勝岳観光協会	ビジョンを実現するための取組方向性、内容	登山道 (歩道関連施設整備)
25	全ての入山口に啓蒙の看板設置を多言語でしてほしい。 インバウンドについては、現段階では、ロープウェイ、リフトなどの触り部分だけで良いと思います。山深部はあえてインバウンドへのPRは未だ避けた方が良いと思います。ある特定のアジア圏の国のみ入山禁止とは言えないと思いますので、あえて、アジア圏に対してのPRは現状では避けた方が良いと思います。ある国では一度ブームになると 取り返しのつかない現状になる事必須です。気を付けてPRした方が良いと思います。  日本人に対しての啓蒙がきちんとされれば 自ずと外国人も追従するかと思います。誰も来て欲しい観光地にしない方が良いと思います。  こういった徹底的な対策が、結論として インバウンド観光客へのPRとなり、普通の山では無い「神々の棲む山」と称される様になるのかと思います。	(一社)ふらの観光協会	ビジョンを実現するための取組方向性、内容	登山道 (歩道関連施設整備) 外国人利用者増加への対応
26	国有林内の林道の早期復旧 林道は国有林の維持管理上欠かせないものとなっているが、登山を含む国立公園の利用という観点で考えた場合には林野庁のみならず環境省が林野庁に対して林道の早期復旧に対して発言できるような仕組みをつくる。	上士幌町	ビジョンを実現するための取組方向性、内容	登山道 (登山口アプローチ)
27	自然を守る、自然と共存する、などという言葉はよく聞きます。ですが、実際に具体的に何をしていますか？ と言われると 自然が相手だけに難しいと思います。極論は、人なんぞ入れない様にするのが一番いい方法です。しかし、それでは、何の為の協議会なのか判りません。経済活動をする通貨を利用するのは、人間のみです。ですので、人間のみが自然に持ち込み落としてしまうものを、徹底的に無くすための手法を、具体的検討し実行して欲しいです。 まず、何といっても「汚物の持ち帰り」と思います。利尻富士の様トイレ推奨地を登山道脇に数カ所設置し、全ての汚物、ゴミ、タバコなどは、その一切を持ち帰る、完全な「持ち帰りキャンペーン」をして頂きたい。更に、自身の汚物の持ち帰りだけではなく、一人片手ひと握り以上のゴミを拾い持ち帰る運動を、世界に先駆けて大雪山で行ってほしい。	(一社)ふらの観光協会	ビジョンを実現するための取組方向性、内容	登山道 (トイレ問題)
28	「新・尾瀬ビジョン」のように「みんなで守る」という姿勢を示すことは避けられないと思います。具体的には、工藤先生の高山植物モニタリングや、私の登山道モニタリング、あるいは積雪深モニタリングなど、利用者や地元企業も参加できる仕組みを示すと良いと思います。工藤先生のところは利用者を巻き込む実績があります。登山道モニタリングについては、山楽舎BEAR・東川町と私の所が実施した登山道モニタリングツアーのようなものを拡充すると良いと思います。積雪深のモニタリングはりんゆう・ワカサリリゾートに協力をお願いし、内部での使用だけではなく、地元企業の貢献として利用者に見える化することで、「参加している」という意識を強くしてもらえると良いと思います。登山道利用者人数のモニタリングも利用者を巻き込んで利用者にて測定してもらう日を毎年設けると良いと思います。いずれもその結果を参加者や国立公園利用者が目にする事ができるような仕組みにすることで、「誰かが誰かにお願いをする」という関係ではなく、「みんなにプラスになる」win-winの関係に持って行くことが重要だと思っています。	北海道大学大学院環境科学研究センター 教授・渡辺悌二	ビジョンを実現するための取組方向性、内容	登山道 (利用者負担、民間資金活用、利用者参加の仕組み検討)
29	利用と管理は表裏一体の事柄であり、協働管理のあり方は利用者も理解し、場合によってはこの活動に参画してこそ成し遂げられるという視点にたてば、利用者(ハイカー、ボランティア)とともに取り組む姿勢が感じられるものであってほしい。(利用者負担の文言以外に協働を意識した表現はないか)また、利用者のモラル向上の意識啓発も取り組むべき事項ではないか。	北海道大学 観光学高等研究センター 特任教授・木村	ビジョンを実現するための取組方向性、内容	登山道 (利用者負担、民間資金活用、利用者参加の仕組み検討) (利用者指導、利用者マナー)
30	環境保護のための入山料(富士山など)の徴収を考えては?	道北バス株式会社	ビジョンを実現するための取組方向性、内容	登山道 (利用者負担、民間資金活用、利用者参加の仕組み検討)
31	行政の予算や寄付以外にも資金調達できるよう、ある程度の商売が出来るとう良い。	東川町	ビジョンを実現するための取組方向性、内容	登山道 (利用者負担、民間資金活用、利用者参加の仕組み検討)
32	3. 取組の方向性 ・ICT,ドローン等テクノロジーを積極的に活用し、効率的・効果的取組につなげる。そのためには、SNS等を活用し管理に関わる人材の裾野を広げる。	北海道上川総合振興局 環境生活課	ビジョンを実現するための取組方向性、内容	登山道 (利用者負担、民間資金活用、利用者参加の仕組み検討) 管理運営体制 (調査・研究)
33	大雪・十勝岳 の麓にある自治体で観光案内をする者としては、自分が体験し、行ったことが無いところを案内するのは、お客様に対して きちんとした情報をお伝えできないと考えます。 そこで、少なくとも ロープウェイやリフトを乗り継いで黒岳登山など比較的山の初心者でも行けそうなところを大雪山麓にある観光案内所職員に対して ガイド付の登山研修会を是非国の予算でしてほしい。 お客様に大雪山の事を聞かれても、自分が苦労して登った経験があれば生身の声で伝えられると思います。 (※質問3の答えとして回答いただきましたが、質問4に移動しました。)	(一社)ふらの観光協会	ビジョンを実現するための取組方向性、内容	登山道 (利用者負担、民間資金活用、利用者参加の仕組み検討)
34	山岳関係の業務は技術や経験を積んで長く働ける条件が必要。	東川町	ビジョンを実現するための取組方向性、内容	登山道 (利用者負担、民間資金活用、利用者参加の仕組み検討)
35	ビジョンの中には、持続的な観光、エコツーリズム、ワイズユースなどの概念も含むべきでは。 環大雪山の連携について、具体的なイメージが必要。 大雪山の魅力づくりは、若い力のみを中心としなくともよいのでは? 周辺自治体を含む、地域社会・産業の持続性にも言及すべき。	北海道大学大学院農学研究センター 准教授・愛甲哲也	ビジョンを実現するための取組方向性、内容	エコツーリズム等による活用 地域社会の解決にも寄与する 国立公園
36	ミルフォード・トラックのような、限定された有料のトレッキングコースの形成	北海道運輸局観光部	ビジョンを実現するための取組方向性、内容	エコツーリズム等による活用
37	外国語ができてエンターテイメント性溢れるガイドの育成	北海道運輸局観光部	ビジョンを実現するための取組方向性、内容	エコツーリズム等による活用
38	大雪山国立公園に乗り入れるための公共交通体系の確立	道北バス株式会社	ビジョンを実現するための取組方向性、内容	利用拠点の活性化 (交通)

39	大雪山国立公園は、表大雪エリア・十勝岳連峰エリア・東大雪エリアに分けられております。 東大雪エリアにおいては、現状と課題にある登山道の荒廃、野外のし尿の散乱以前にアクセス等の問題で登山が一般的になっていないという現状があります。東大雪地域の地理的な要因と思われませんが、取りあえず登山道はあるが登るための交通アクセスに問題があります。そのため、開発局や森林管理署、北海道などとの連携やレンタカー会社等との連携など数多くの課題があります。	上士幌町	ビジョンを実現するための取組方向性、内容	利用拠点の活性化(交通)
40	開発局や北海道など道路管理者との連携 開発局や北海道と連携をとり登山客にアクセスしやすくするように登山口看板を設置する。	上士幌町	ビジョンを実現するための取組方向性、内容	利用拠点の活性化(交通)
41	地域住民による観光客を受け入れる「おもてなしコミュニティ」づくり	十勝バス株式会社	ビジョンを実現するための取組方向性、内容	利用拠点の活性化
42	ハザードマップを活用した公園管理	北海道開発局 開発連携推進課	ビジョンを実現するための取組方向性、内容	安心・安全
43	安全安心に観光できる情報ネットワークの確保	北海道開発局 開発連携推進課	ビジョンを実現するための取組方向性、内容	安心・安全
44	火山防災を踏まえた治山事業の共存 国立公園であるこの地域の国有林等においては、火山防災の観点から、数多くの治山ダム等が配置されています。現時点で、上川南部森林管理署(国有林)における治山事業の計画はありませんが、今後の火山活動の状況によっては、事前防災・減災対策として事業計画等の企画立案も想定されますので、その際にご配慮いただきたいと考えております。	上川南部森林管理署	ビジョンを実現するための取組方向性、内容	安心・安全
45	広域通信網の整備。 最低限、道路及び登山道から3Km程度周辺範囲。	旭川電気軌道株式会社	ビジョンを実現するための取組方向性、内容	安心・安全
46	海外のお客様を満足させるための海外の登山道等も参考にしてはどうか。	かみふらの十勝岳観光協会	ビジョンを実現するための取組方向性、内容	外国人利用者増加への対応
47	大雪山国立公園の利活用が「地域の活性化に資するものである」こと	(株)りんゆう観光 層雲峡事業	ビジョンを実現するための取組方向性、内容	地域社会の解決にも寄与する国立公園
48	各地域の関係者の業務内容を現状にあった内容への見直し	東川町	ビジョンを実現するための取組方向性、内容	管理運営体制(協働型管理運営体制の構築)
49	すばやい決定や対応ができる仕組み。	東川町	ビジョンを実現するための取組方向性、内容	管理運営体制(協働型管理運営体制の構築)
50	新たな取組み実施にあたっては、実施成果を評価し、出てきた課題をふまえた修正を繰り返し効果的な取組みにつなげていく	北海道上川総合振興局 環境生活課	ビジョンを実現するための取組方向性、内容	管理運営体制(協働型管理運営体制の構築)
51	3 取り組みの方向性 科学的知見に基づく保全の取り組みが必要である。多様な知恵・知見を得るためにも協議会に研究者・自然保護団体を増やすよう再考をお願いしたい。 ・研究者について とくに基礎的な分野の研究者として、動植物をはじめとする生物の専門家、地質・地形の専門家が協議会構成員として不可欠である。 ・自然保護団体について とくに次の団体は、大雪山国立公園について長年調査活動を行い、豊かな知見を有する団体である。 ・北海道自然保護協会(会長 在田一則) ・新得おもしろ調査隊(代表 永井新) ・十勝川源流域部を考える会(代表 廣山輝男)	十勝自然保護協会	ビジョンを実現するための取組方向性、内容	管理運営体制(協働型管理運営体制の構築)
52	学習や研究にもっと使われ、その成果を管理者側も利用できると良い。	東川町	ビジョンを実現するための取組方向性、内容	管理運営体制(調査・研究)
53	3. 取組の方向性 ・気候変動や動植物相の変化等、直接的人為的影響でない要因による生物多様性の変化についても研究者と連携の上、現状の把握及び対策推進	北海道上川総合振興局 環境生活課	ビジョンを実現するための取組方向性、内容	管理運営体制(調査・研究)
54	そのほか、たたき台に関するコメントは、2および3への回答にも記載しました。	北海道大学大学院農学研究 院 准教授・愛甲哲也	ビジョンを実現するための取組方向性、内容	

<意見まとめ> ※意見件数54件、のべ合計74件

課題	のべ合計	21 件
登山道		2 件
気候変動		2 件
一元的な情報発信		1 件
野生生物		1 件
国立公園内外の連携		1 件
その他		1 件
大雪山国立公園が持つ優れた価値	のべ合計	2 件
目指す姿	のべ合計	11 件
ビジョンを実現するための取組方向性、内容	のべ合計	40 件
一元的な情報発信	のべ合計	3 件
登山道	のべ合計	15 件
歩道等補修促進		2 件
歩道等関連施設整備		3 件
登山口アプローチ		1 件
トイレ問題		1 件
利用者負担、民間資金活用、利用者参加仕組み検討		7 件
利用者指導、利用者マナー		1 件
エコツーリズム等による活用	のべ合計	3 件
利用拠点の活性化	のべ合計	4 件
安心・安全	のべ合計	4 件
外国人利用者増加への対応	のべ合計	2 件
地域社会の解決にも寄与する国立公園	のべ合計	2 件
管理運営体制	のべ合計	7 件
協働型管理運営体制の構築		4 件
調査研究		2 件
その他		1 件

## 大雪山国立公園ビジョン【骨子案】

＜策定主体：大雪山国立公園連絡協議会（総合型協議会）＞

### 1. 大雪山国立公園の優れた価値と歩み

- (1) 大雪山国立公園の優れた価値
- (2) 大雪山国立公園の歩み

※指定以前からの先駆的な取組、戦後の歴史、平成 19 年管理計画における将来像設定まで

### 2. 大雪山国立公園の現状と課題

- (1) 大雪山国立公園に影響を与える自然的・社会的環境
  - 1) 気候変動
  - 2) 人口減少と高齢化、ライフスタイルの変化、価値観の多様化
  - 3) 外国人利用者の増加

- (2) 大雪山国立公園の課題

- 1) 登山道を中心とした山岳地域の荒廃

※登山道の荒廃、関連施設の老朽化、野外のし尿の散乱。

※山岳地域＝大雪山グレード適用登山道及び周辺地域。

- 2) 利用拠点の低迷

### 3. 大雪山国立公園の目指す姿

- 「地域で支える大雪山 世界を魅了する Daisetsuzan」
- 「カムイミンタラ みんなの力で未来につなぐ」
- 「まもり、活かし、つなげよう 世界に誇る大雪山」

- (1) 大雪山国立公園の優れた価値の世界との共有

- (2) 大雪山グレードに応じた保全と利用の実現と荒廃の解消

- (3) 質の高いエコツーリズムを核としたにぎわいの創出

※大雪山の資源の強み（温泉・峡谷・湖・雪）を活かす

※自然環境の価値を損なわない範囲での持続的で質の高い（満足度の高い）利用（ワイズユース）

⇒ 地域社会の課題解決に寄与する国立公園

### 4. ビジョンの実現に向けて

- (1) 取組の方向性と具体的取組の実施に向けて（別添の説明）
- (2) ビジョン達成目標年

## 別添 ビジョンを実現するための取組例

※ビジョン策定後に作成される管理運営計画における管理運営方針、風致景観及び自然環境の保全に関する事項、適正な公園利用の推進に関する事項に反映

### 1. 目指す姿を実現するための取組

#### (1) 大雪山国立公園の優れた価値の世界との共有

- 一元的な情報発信（登山者向け、観光利用者向け。公園内外の連携やプロモーションの促進を含む）

#### (2) 大雪山グレードに応じた保全と利用の実現と荒廃の解消

- 適切な歩道維持管理のための基盤形成（歩道全区間の事業執行等）
- 大雪山グレードに応じた歩道の補修等維持管理の促進
- 歩道関連施設の整備、更新
- 歩道の適正利用（大雪山国立公園携帯トイレ普及宣言を含む。）
- 利用者負担、民間資金活用、利用者参加の仕組み検討

#### (3) 質の高いエコツーリズムを核としたにぎわいの創出

- エコツーリズムによる資源の活用
- 利用可能な資源の発掘、整備（ワイズユースの範囲内）
- 利用拠点の満足度向上
- 安心・安全の確保

#### ※(2) 山岳地域 (3) 各利用拠点の共通事項

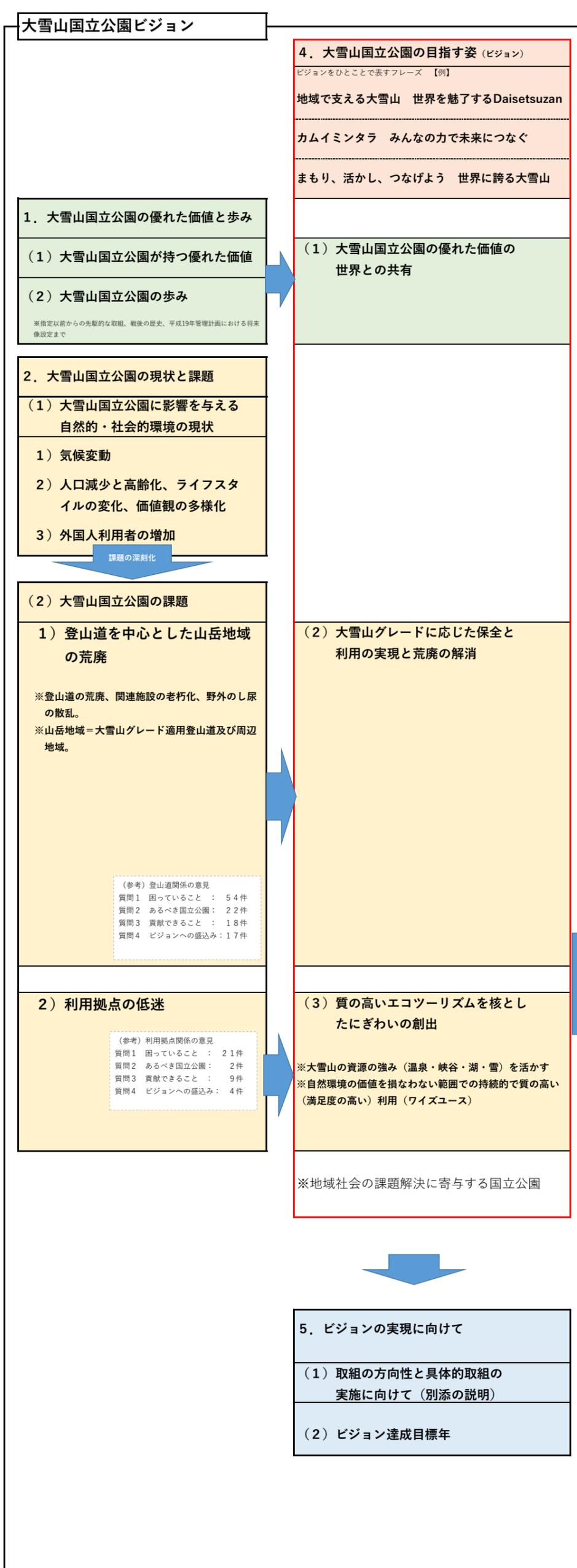
- 外国人対応の充実
- モデル的な事例づくりと国立公園外（関係 10 市町の国立公園区域外）への普及
- 構成員の本業で国立公園に貢献する視点を付加

### 2. 取組を支える管理運営体制

#### (1) 協働型管理運営体制の構築と維持

#### (2) 調査・研究の推進とデータの活用

【参考資料】大雪山国立公園のビジョン骨子の構成



**別添 ビジョンを実現するための取組例**

※管理運営計画における管理運営方針、風致景観及び自然環境の保全に関する事項、適正な公園利用の推進に関する事項に反映

<目指す姿を実現する取組>	
取組の方向性	具体的取組
一元的な情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>登山者向け情報発信</li> <li>観光利用に関する総合的な情報発信、窓口の検討と構築</li> </ul> <p>※いずれも、リアルタイムで各管理者が最新の情報を更新</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公園内外の連携、プロモーションの促進</li> <li>関係機関・団体によるイベントの実施</li> </ul>
適切な歩道維持管理のための基盤形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>歩道全区間の事業執行(管理者の設定)。そのための役割分担の検討、適正な手続の実施。</li> <li>大雪山グレードと実態との差異の洗い出し</li> <li>登山道維持管理データベースの構築(利用者からの情報収集含む)</li> </ul>
大雪山グレードに応じた歩道の補修等維持管理の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>補修等の大幅な促進(利用者負担、民間資金の活用)</li> <li>歩道等維持管理作業実施手順マニュアルの運用(登山道整備技術指針に基づく質の高い補修)</li> <li>補修技術向上のための人材育成(研修実施等)</li> <li>一般向けの補修イベントの開催を通じたファンの獲得(多様な主体の参画)</li> </ul>
歩道関連施設の整備、更新	<ul style="list-style-type: none"> <li>老朽化した案内板、誘導標識、避難小屋、トイレ等の更新(大雪山グレード表示、多言語化)や、大雪山グレードに基づく適切な配置(利用者負担、民間資金の活用)</li> <li>登山口へのアプローチの確保</li> </ul>
歩道の適正利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>大雪山国立公園携帯トイレ普及宣言の推進</li> <li>利用ルール、マナーの啓発(適切な情報提供等)</li> </ul>
利用者負担、民間資金活用、利用者参加の仕組み検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>大雪山に適した利用者負担と、歩道や関連施設の維持管理への充実に係る具体的あり方検討</li> <li>民間資金(事業者等からの寄付)の受入れ体制の明確化</li> <li>一般向け補修イベントへの実施、利用者による登山道や自然環境情報収集の仕組み等、管理運営への利用者参加</li> </ul>
エコツーリズムによる資源の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>ガイドの育成(外国語堪能、エンターテインメント性、エコツーリズム・アドベンチャーツーリズムへの対応、顧客への利用ルールやマナーの啓発)</li> </ul>
利用可能な資源の発掘、整備(ワイズユースの範囲内)	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存の施設(園地、散策路等)やフィールドの有効活用とそのためのプログラム開発</li> <li>高付加価値型のエコツーリズムの展開</li> <li>廃屋の撤去と再整備に関する検討</li> </ul>
利用拠点の満足度向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>マイカー規制の取組継続、利用集中期の混雑緩和取組の新たな検討実施。</li> </ul>
安心・安全の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報ネットワークの確保</li> <li>ハザードマップの活用</li> </ul>
<b>※山岳地域、各利用拠点の共通事項</b>	
外国人対応の充実	外国人の受け入れ指針の設定や評価満足度
モデル的な事例づくりと国立公園外(関係10市町の国立公園区域外)への普及	<ul style="list-style-type: none"> <li>例えば、利用者参加の管理運営の仕組みを、地域の交流人口、定住人口の拡大に応用</li> <li>確立した大雪山ブランドを各市町で観光振興に活用</li> </ul>
構成員の本業で国立公園に貢献する視点を付加	<ul style="list-style-type: none"> <li>本業の取組に国立公園ビジョン実現の視点を付加</li> <li>本業の取組の中で国立公園の管理運営に協力</li> </ul>
取組を支える体制	
<管理運営体制>	
取組の方向性	具体的取組
協働型管理運営体制の構築と維持	<ul style="list-style-type: none"> <li>大雪山国立公園連絡協議会を総合型協議会に拡充(環大雪山の連携)。</li> <li>登山道維持管理部会を設置し、専門的な検討を実施。</li> <li>ビジョンに基づく取組事項に関する具体的な行動と評価の実施(有効な管理ができていないかの評価)</li> </ul>
調査・研究の推進とデータの活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>大雪山国立公園連絡協議会HP内に、調査、研究、各種報告、会議資料を集約したデータベースの構築(協議会構成員(管理者等)向け情報発信)</li> <li>先端技術(ICT, ドローン)等の有効活用事例検討</li> <li>技術利用上の問題点(特にドローン)や対応の検討</li> <li>気候変動、外来種、野生生物に関して必要なモニタリングや対応の検討、役割分担、実施</li> </ul>

## 大雪山国立公園における協働型管理運営体制の構築に向けて

### 1. 大雪山国立公園の課題と目指す姿 (※)

#### ① 登山道の荒廃、野外のし尿の散乱

- 世界の登山者・旅行者の憧れの的となる広大で原生的な山岳景観
- 管理の行き届いた魅力がある延長300kmの登山道

#### ② 一元的な合意形成と情報発信体制の不足

#### ③ 麓の川・湖沼・温泉・峡谷などの利活用、外国人対応

- 温泉・峡谷・湖・雪～大雪山のふもとを遊びつくすツーリズム・自然体験の宝庫
- 環大雪山の連携、若い力を中心にした大雪山の魅力づくり、魅力発信、大雪山ブランドの確立

(※) 大雪山国立公園ビジョンの素案作成時に変更予定。

### 2. 国立公園の協働型管理運営体制の構築

- 協働型管理運営を進めるため各国立公園で「総合型協議会」（環境省以外の国の機関、自治体、民間団体、公園事業者等多様な主体が参加する協議会）の設置が求められる。
- 総合型協議会では、「公園全体のビジョン」、「管理運営方針」、「行動計画」を定めることとされている。

※『国立公園における協働型管理運営の推進の手引き』（平成27年3月、環境省自然環境局国立公園課）に基づく。

### 3. 目指す姿を実現するための体制 (案)

- 現在の大雪山国立公園連絡協議会を拡充し、総合型連絡協議会として位置付け（課題解決のための計画、方針作り）。
- 総合型協議会の下に地域別に、登山道維持管理部会を設置（登山道の維持管理のための合意形成、総合調整）。
- 大雪山全体を活動範囲とし、かつ民間資金の受け皿となるような公園管理のための民間団体の育成を目指す。

<参考資料> 大雪山国立公園の管理運営体制の現状

# 大雪山国立公園の管理運営体制の現状

## 表大雪地域

## 東大雪地域

管理運営全般

大雪山国立公園連絡協議会

構成: 地方公共団体、環境省地方環境事務所 事務局: 環境省自然保護官事務所

※国立公園計画策定委員会  
※登山道管理水準検討会  
(非常設、必要な時に設置)

登山道

表大雪地域登山道関係者情報交換会

東大雪地域登山道関係者情報交換会

構成: 幅広い関係者、地方公共団体、森林管理署、自然保護官事務所 事務局: 自然保護官事務所

上川地区登山道等  
維持管理連絡協議会

構成: 上川町、北海道、森林管理署、  
自然保護官事務所、観光協会、山岳  
会、民間事業者 事務局: 上川町

新得地区登山道等  
維持管理連絡協議会

構成: 新得町、北海道、森林管理署、  
自然保護官事務所(賛助会員として山  
岳会等) 事務局: 新得町

然別自然休養林  
保護管理協議会

構成: 鹿追町、士幌町、上士  
幌町、北海道、森林管理署、  
自然保護官事務所、警察署、  
観光協会、民間事業者  
事務局: 鹿追町

東川町大雪山  
国立公園保護協会

構成: 東川町、北海道、森林管  
理署、自然保護官事務所、観光  
協会、山岳会、中学校、民間事  
業者 事務局: 東川町

美瑛富士トイ  
レ管理連絡会

構成: 山のトイレを考える会、道内山  
岳団体(9団体)  
事務局: 山のトイレを考える会

山岳トイレ環境対策部会 ※予定  
(南沼汚名返上プロジェクト)

エコツー  
リズム

上川町エコツーリズム  
推進協議会準備会

東川町エコツーリズム  
推進協議会

構成: 東川町、観光協会、商工会  
事務局: 東川町

ふれあい  
施設

層雲峡自然ふれあい  
利用協議会(層雲峡V C)

ひがし大雪自然館  
運営協議会

個別課題

国立公園と国有林の連携推進会議

表大雪地域スノーモビル規制調整会議

東大雪地域スノーモビル規制調整会議

大雪高原温泉銀泉台  
自動車利用適正化協議会

大雪高原温泉地区  
ヒグマ対策連絡会議

十勝岳山麓ジオパーク推進協議会

とかち鹿追ジオパーク推進協議会

# 大雪山国立公園における新たな協働管理運営体制(案)

## <ポイント>

- ①現在の大雪山国立公園連絡協議会のメンバーを拡充し、総合型協議会として位置づけ(大雪山国立公園のビジョンや課題解決のための方針や計画について関係者で協議)。
- ②総合型協議会の下に地域別に登山道維持管理部会を設置する(登山道等の維持管理のための調整や合意形成)。
- ③大雪山全体を活動範囲とし、かつ民間資金の受け皿となるような公園管理のための民間団体の育成を目指す。

### 大雪山国立公園連絡協議会(総合型協議会)

\*大雪山の場合ステークホルダーが多いので、例えば「宿泊施設の意向については観光協会が代表する」などの関係者間の関係を明らかにする。  
\*士幌、上士幌、鹿追、新得の観光協会は役場に同じ

<p>&lt;役割&gt; 国立公園のビジョン作成 国立公園の利活用や保全上の課題の解決についての方針・計画作り</p> <p>&lt;メンバー&gt; 環境省、北海道、1市9町(上川町、東川町、美瑛町、上富良野町、富良野市、南富良野町、新得町、鹿追町、士幌町、上士幌町) 関係行政機関(上川中部森林管理署、上川南部森林管理署、十勝西部森林管理署東大雪支署、北海道開発局、北海道運輸局) 観光関係者(ふらの、層雲峡、ひがしかわ、美瑛、かみふらの十勝岳、南富良野まちづくり各観光協会) ロープウェイ事業者 ・バス事業者 ・国立公園管理の中核を担う民間団体 自然保護団体 ・研究者 ・ビジターセンター関係者 ・登山道維持管理部会参加者(代表)</p> <p>&lt;協議課題&gt; ①国立公園のビジョン、利活用、課題解決のための方針・計画づくり 「大雪山国立公園携帯トイレ普及宣言」パートナーシップ事業開始(2018年目標) 「大雪山国立公園ビジョン」の作成(2020年公表目標)  <ul style="list-style-type: none"> <li>・山岳地域の上質な空間の保全(大雪山縦走路の活用) ・利用可能な資源の開拓、高付加価値のツーリズムの展開 ・利用拠点の活性化</li> <li>・公園内外の連携、プロモーション促進(ターゲットとそれに応じた利用メニュー開発) ・外国人登山者の適切な利用促進に向けた活動</li> <li>・利用者負担(協力金)のあり方検討</li> </ul>                 「大雪山国立公園管理運営計画」策定(2020年作成目標)                  「大雪山国立公園登山道管理水準」改訂(2021年作成目標)      「大雪山国立公園における登山道整備技術指針」改訂(2021年作成目標)</p> <p>②登山道維持管理部会の設置 ③情報の一元化と情報発信(民間団体が育成されるまでの当分の間)</p> <p>&lt;予算&gt; 1市9町からの負担金(従前の大雪山国立公園連絡協議会の負担金の金額を変更せずに継続)</p> <p>&lt;事務局&gt; 環境省(業務の一部を民間団体に請負)</p>	<p style="text-align: center;">&lt;幹事会&gt; 担当者による 連絡調整</p>	<h4 style="text-align: center;">必要に応じた作業部会</h4> <p>&lt;役割&gt; 方針・計画づくりに関する実質的な議論</p> <p>&lt;メンバー&gt; 総合型協議会メンバーから手上げ方式により選出 *議論の内容によってはメンバー外の出席を求め、意見を聴くことができる。</p> <p>&lt;事務局&gt; 環境省</p>
---	--	--

<p>↑ 取組結果報告</p> <p>↓ 部会設置・検討指示</p>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <h4 style="text-align: center;">表大雪登山道維持管理部会(※)</h4> <p>&lt;役割&gt; 登山道等の維持管理活動に関する総合調整と合意形成</p> <p>&lt;メンバー&gt; 国立公園制度: 環境省 ・土地所有者: 森林管理署、北海道 歩道事業執行者: 関係市町: 北海道、1市5町(上川町、東川町、美瑛町、上富良野町、富良野市、南富良野町)、りんゆう観光 国立公園管理の中核を担う民間団体 山岳会関係者 ・ガイド事業者 ・ビジターセンター関係者 保全活動団体(パークボランティア等) ・整備の専門家 研究者、自然保護団体 等</p> <p>&lt;活動内容&gt; ①維持管理活動のPDCAサイクル実施と検証 歩道等維持管理実施手順マニュアルに基づく関係者間の調整、作業結果の検討 活動の広報、人材育成(セミナー、ボランティア受入)、技術の蓄積と伝承 ②登山道等維持管理の適正化に向けた議論 歩道事業未執行区間の解消 施設の老朽化対策</p> <p>&lt;事務局&gt; 環境省(業務の一部を民間団体に請負)</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <h4 style="text-align: center;">東大雪登山道維持管理部会(※)</h4> <p>&lt;役割&gt; 同左</p> <p>&lt;メンバー&gt; 左の中で東大雪に関わる者と関係4町(新得町、鹿追町、士幌町、上士幌町)</p> <p>&lt;活動内容&gt; 同左</p> <p>&lt;事務局&gt; 同左</p> </div>

#### 公園管理のための民間団体(想定)

<役割(想定)>  
・大雪山全体を民間側で代表  
・民間資金の受け皿  
・情報の一元化と発信

<活動内容(想定)>  
①自主事業  
・情報の一元化と情報発信及びホームページ管理  
・ボランティアのコーディネート  
・シンポジウム開催  
・登山道の維持管理(管理者と協定を結ぶ)

②民間資金の調達  
③請負業務  
・各種事務局業務(総合型協議会・登山道部会)  
・行政機関の管理・調査業務(登山道巡視、補修、施設の修理)

\*将来的に公園管理団体を目指す  
\*総合型協議会で大雪山全体を民間側で代表するという共通認識を醸成していく  
\*事務局を担える人材を育成するところから始める

(※)総合型協議会とは独立並行して準備を進め、両方が成立した時点で協議会とその部会との関係になることも想定。  
個別の事業者は各立場を代表する団体に出席をゆだね、オブザーバーとなるように推奨。

大雪山国立公園連絡協議会 メンバー案

	組織名・役職名
関係行政機関	環境省北海道地方環境事務所長
	北海道上川総合振興局長
	北海道十勝総合振興局長
	富良野市長
	上川町長
	東川町長
	美瑛町長
	上富良野町長
	南富良野町長
	士幌町長
	上士幌町長
	鹿追町長
	新得町長
	上川中部森林管理署長
	上川南部森林管理署長
	十勝西部森林管理署東大雪支署長
	北海道開発局開発監理部開発連携推進課長
北海道運輸局観光部長	
観光協会	層雲峡観光協会
	(一社)ひがしかわ観光協会
	(一社)美瑛町観光協会
	(一社)かみふらの十勝岳観光協会
	(一社)ふらの観光協会
NPO法人南富良野まちづくり観光協会	
交通事業者	(株)りんゆう観光
	ワカサリゾート(株)
	道北バス(株)
	旭川電気軌道(株)
	十勝バス(株)
北海道拓殖バス(株)	
公園管理団体等	国立公園管理の中核を担う民間団体
自然保護団体	大雪と石狩の自然を守る会
	十勝自然保護協会
研究者	各個別研究者
ビジターセンター運営協議会	層雲峡地区自然ふれあい利用協議会
	ひがし大雪自然館運営協議会
	(東川のビジターセンターの協議会)

表大雪登山道維持管理部会 メンバー案

分野	組織名	備考				
管理・運営	国立公園制度所管	環境省北海道地方環境事務所 上川中部森林管理署	事務局			
	土地所有者	上川南部森林管理署 北海道上川総合振興局 南部森林室				
		関係自治体	北海道上川総合振興局 環境生活課 富良野市 上川町 東川町 美瑛町 上富良野町 南富良野町			
	国立公園事業執行者 (歩道事業)		環境省北海道地方環境事務所【再掲】 北海道上川総合振興局 環境生活課【再掲】 ■管理委託:(有)風の便り工房 ■巡視委託:NPO法人かむい(上川地区登山道維持管理連絡協議会経由) ■管理委託:大雪山自然学校(東川町、大雪山国立公園東川町自然保護協議会経由) 上川中部森林管理署【再掲】 上川町【再掲】 東川町【再掲】 上富良野町【再掲】要確認26.27執行 (株)りんゆう観光			
			国立公園事業執行者	(株)りんゆう観光【再掲】 ワカサリゾート株式会社		
			公園管理団体等	国立公園管理の中核を担う民間団体【未定】		
			維持管理・利用 指導に関する民間 参画	整備専門家	渡邊悌二(北海道大学大学院地球環境科学研究院) 佐藤文彦(有限会社風の便り工房) 岡崎哲三(合同会社北海道山岳整備)	大雪山における登山道管理 水準等検討会 技術指針作 業部会委員
				保全活動団体(行政 制度に基づくもの)	大雪山国立公園パークボランティア連絡会 大雪地区自然公園指導員連絡会	
				保全活動団体(民間)	大雪山・山守隊 大雪山自然学校【再掲】 NPO法人 ezorock	
		利用・環境 教育	ビジターセンター運 営協議会等	層雲峡地区自然ふれあい利用協議会(層雲峡ビジターセンター) 旭岳ビジターセンター		
	山岳会		旭川山岳会 上川山岳会 富良野山岳会 上富良野十勝岳山岳会 美瑛山岳会 日本山岳会北海道支部 勤労者山岳連盟(道央地区) 旭川勤労者山岳会			
			ガイド等事業者	北海道山岳ガイド協会表大雪地区連絡室 北海道山岳ガイド協会東大雪地区連絡室 山楽舎BEAR ガイドオフィス風 山岳ガイド池永氏 大雪山倶楽部 NPOかむい【再掲】 TREE LIFE NPOアースウィンド ガイドの山小屋 東川エコツーリズム推進協議会 有限会社アグリテック		
				保護・保全	自然保護団体	大雪と石狩の自然を守る会 北海道高山植物ネット 山のトイレを考える会
					調査研究	研究者

<オブザーバー>

今後、各分野の立場を代表しない、個別の事業者、団体、組織又は、該当分野以外で大雪山国立公園の登山道の維持管理に関心を有する者が参加する場合は、オブザーバーとして参加。

現時点でメンバーになっている個別の事業者、団体、組織は、できる限り、各立場を代表する団体に出席をゆだね、オブザーバーとなるように推奨し、登山道維持管理部会のスリム化を図り、議論が円滑に進むことを目指す。

東大雪登山道維持管理部会 メンバー案

		組織名	備考	
管理・運営	国立公園制度所管 土地所有者	環境省北海道地方環境事務所 十勝西部森林管理署東大雪支署	事務局	
	関係自治体	北海道十勝総合振興局 環境生活課		
		土幌町		
		上土幌町		
		鹿追町 新得町		
	国立公園事業執行者 (歩道事業)	環境省北海道地方環境事務所【再掲】		
		■巡視委託:新得山岳会		
		北海道十勝総合振興局 環境生活課【再掲】		
		■管理委託:新得山岳会【再掲】 十勝西部森林管理署東大雪支署【再掲】		
	公園管理団体等	国立公園管理の中核を担う民間団体【未定】		
維持管理・利用 指導に関する民間 参画	整備専門家	渡邊悌二(北海道大学大学院地球環境科学研究院)	大雪山における登山道管理水準等検討会 技術指針作業部会委員	
		佐藤文彦(有限会社風の便り工房)		
		岡崎哲三(合同会社北海道山岳整備)		
	保全活動団体(行政 制度に基づくもの)	大雪山国立公園パークボランティア連絡会 大雪地区自然公園指導員連絡会		
保全活動団体(民間)	大雪山・山守隊 しほろ自然環境に親しむ会			
利用・環境教育	ビジターセンター運営協議会等	ひがし大雪自然館運営協議会(事務局:上土幌町【再掲】)		
	山岳会	十勝山岳連盟 新得山岳会【再掲】		
		日本山岳会北海道支部		
	ガイド等事業者	北海道山岳ガイド協会東大雪地区連絡調整室 NPO法人ひがし大雪自然ガイドセンター		
		然別湖ネイチャーセンター ポレアルフォレスト 山楽舎BEAR		
		自然保護団体	山のトイレを考える会	
		調査研究 研究者	各個別研究者	

<オブザーバー>

今後、各分野の立場を代表しない、個別の事業者、団体、組織又は、該当分野以外で大雪山国立公園の登山道の維持管理に関心を有する者が参加する場合は、オブザーバーとして参加。

現時点でメンバーになっている個別の事業者、団体、組織は、できる限り、各立場を代表する団体に出席をゆだね、オブザーバーとなるように推奨し、登山道維持管理部会のスリム化を図り、議論が円滑に進むことを目指す。

大雪山国立公園フォーラム 新たな管理運営体制で世界に誇れる山岳国立公園を目指す  
～妙高戸隠連山・尾瀬の協働型管理運営体制に学ぶ～（案）

主催：大雪山国立公園連絡協議会、北海道地方環境事務所

日時：平成 31 年 1 月 28 日（月） 14:00～17:00

場所：旭川大雪アリーナ多目的ルーム（北海道旭川市内）

目的：大雪山国立公園が抱える諸課題を解決するため、新たな協働型管理運営体制を構築することについて、妙高戸隠連山国立公園や尾瀬国立公園の事例を学び機運を醸成するとともに、大雪山国立公園にふさわしい体制を考えるもの。

対象：大雪山国立公園における総合型協議会準備会参加者及びその他山岳関係者（一般公募も行う。）

<プログラム>

1. 開会
2. 趣旨説明「大雪山国立公園の協働型管理運営体制構築を目指して」  
環境省上川自然保護官事務所
3. 妙高戸隠連山国立公園の協働型管理運営体制の事例
4. 尾瀬国立公園の協働型管理運営体制の事例
5. パネルディスカッション「大雪山国立公園で目指す協働型管理運営体制について」
6. 閉会

新たな大雪山国立公園連絡協議会（総合型協議会）準備会の開催等  
今年度の予定

大雪山国立公園の関心事項の照会【実施済】

- 準備会の実施に先立ち、関係機関・団体に次の点を照会。
- ・国立公園に関して現状で困っていること
  - ・このような国立公園であってほしいと思うこと
  - ・国立公園のために自分たちができること、貢献できること
  - ・ビジョン【骨子・たたき台】について盛り込んでほしいこと

平成 30 年 11 月 27 日【今回】（場所：上川町保健福祉センター 2 階ホール）

大雪山国立公園連絡協議会（総合型協議会）準備会（第 1 回）

<議題>

1. 大雪山国立公園ビジョンの策定に向けた関心事項の洗い出しの結果について
2. 大雪山国立公園における協働型管理運営体制の構築に向けて
3. 大雪山国立公園ビジョン（骨子・案）について
4. 大雪山国立公園フォーラムの開催について

平成31年 1 月 28 日（月）（場所：旭川大雪アリーナ多目的ルーム）

大雪山国立公園フォーラム「大雪山国立公園の協働型管理運営に向けて」

- 主催：大雪山国立公園連絡協議会、北海道地方環境事務所
- 関係機関・団体の皆様の理解を深めるため、全国の国立公園における協働型管理運営体制に関する事例（尾瀬国立公園、妙高戸隠連山国立公園）を紹介し、大雪山における協働型管理運営について検討するもの。

平成31年 2 月 20 日（水）（場所：十勝総合振興局講堂）

大雪山国立公園連絡協議会（総合型協議会）準備会（第 2 回）

<議題案>

- ①大雪山国立公園フォーラムの開催結果報告
- ②大雪山国立公園ビジョン【素案】について
- ③大雪山国立公園の協働型管理運営体制構築に向けた論点

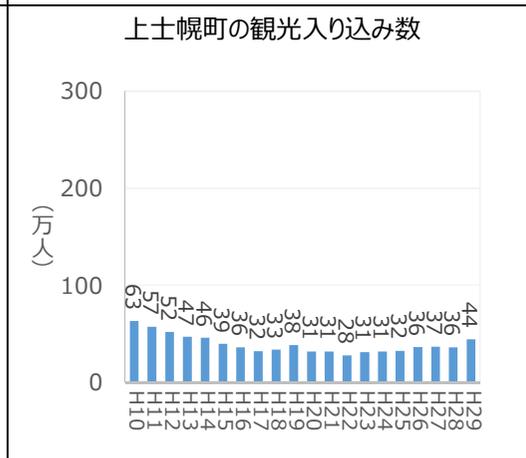
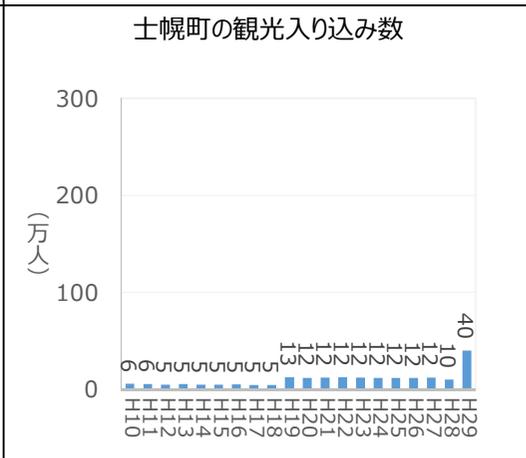
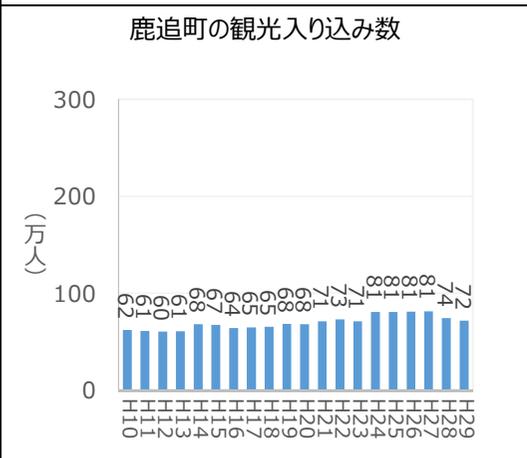
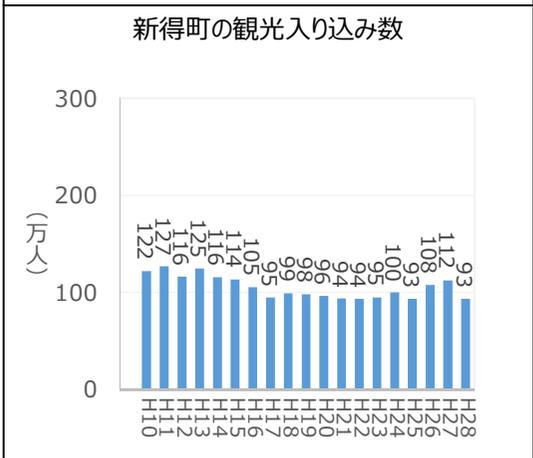
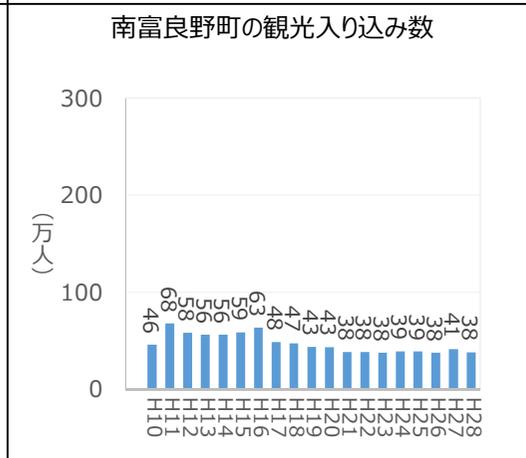
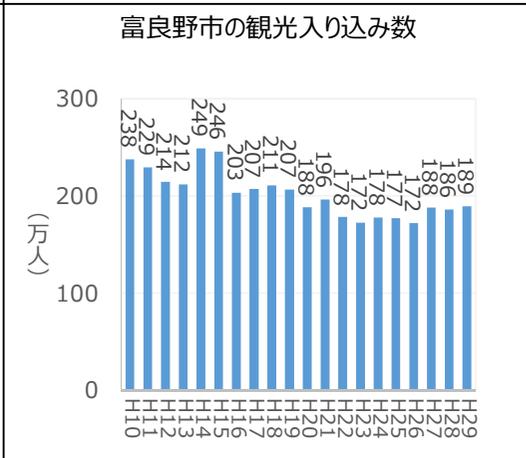
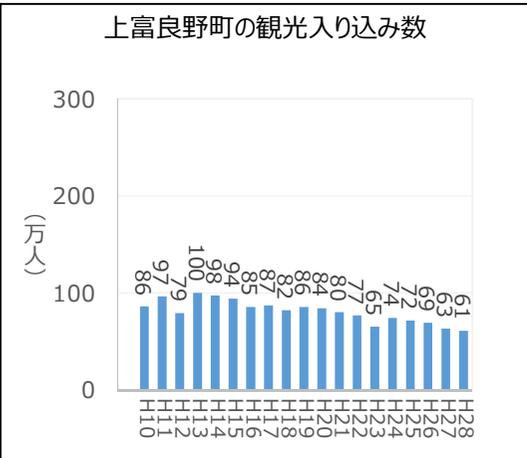
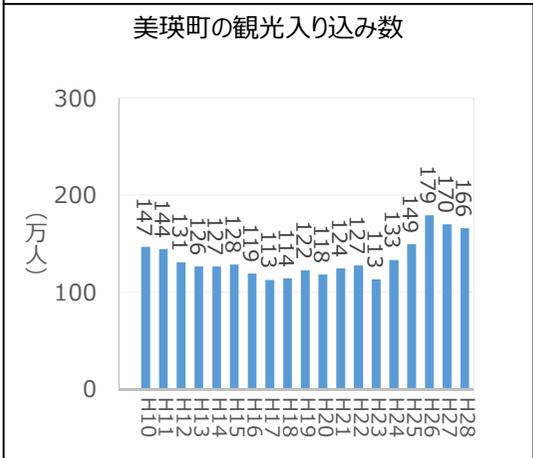
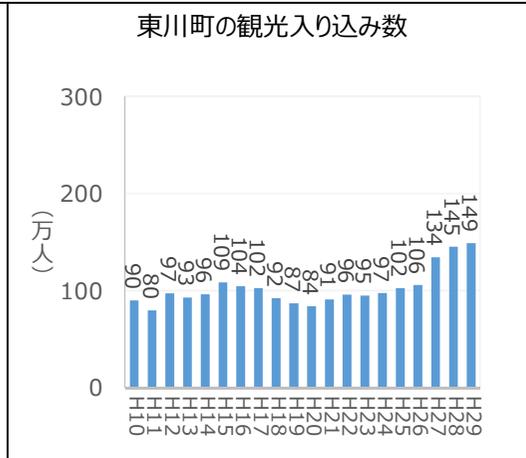
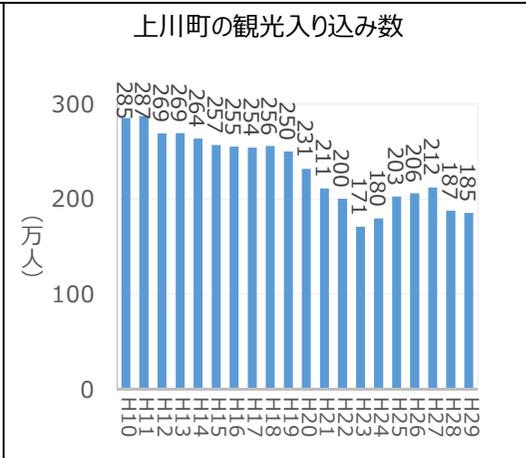
# 大雪山国立公園ビジョン作成に関する 参考資料集

(作成中)

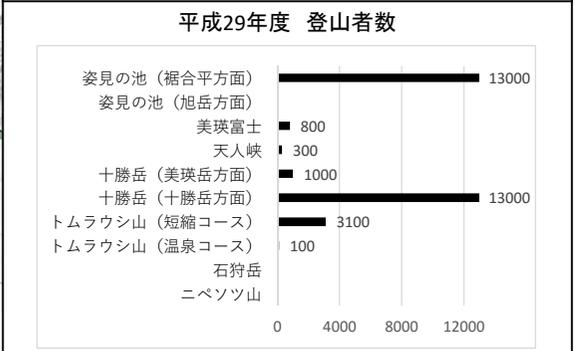
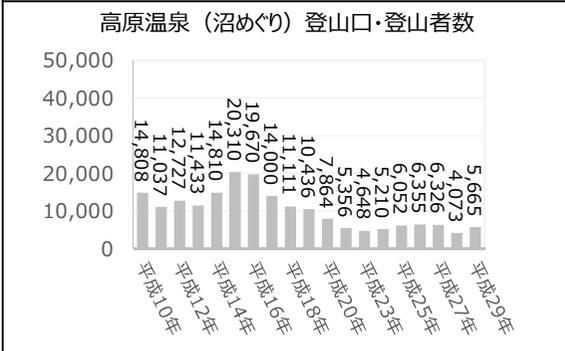
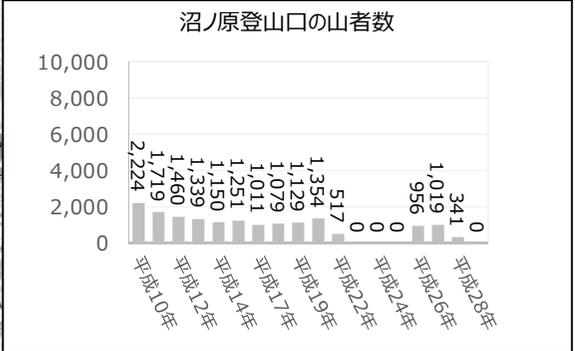
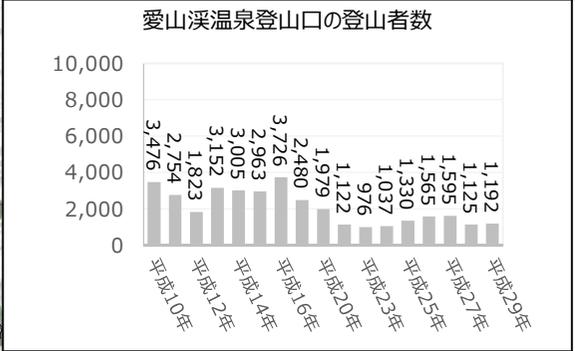
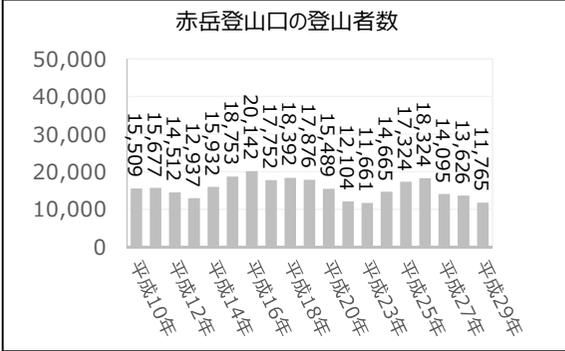
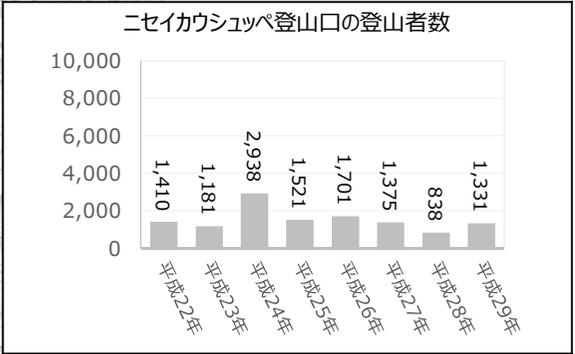
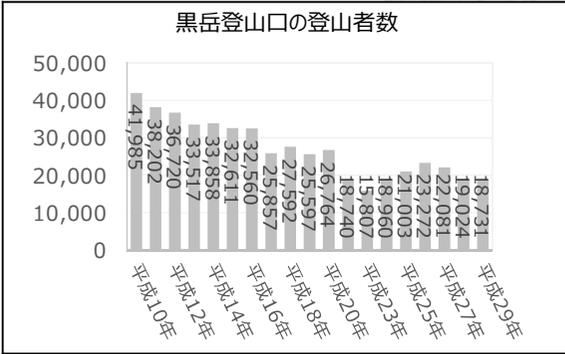
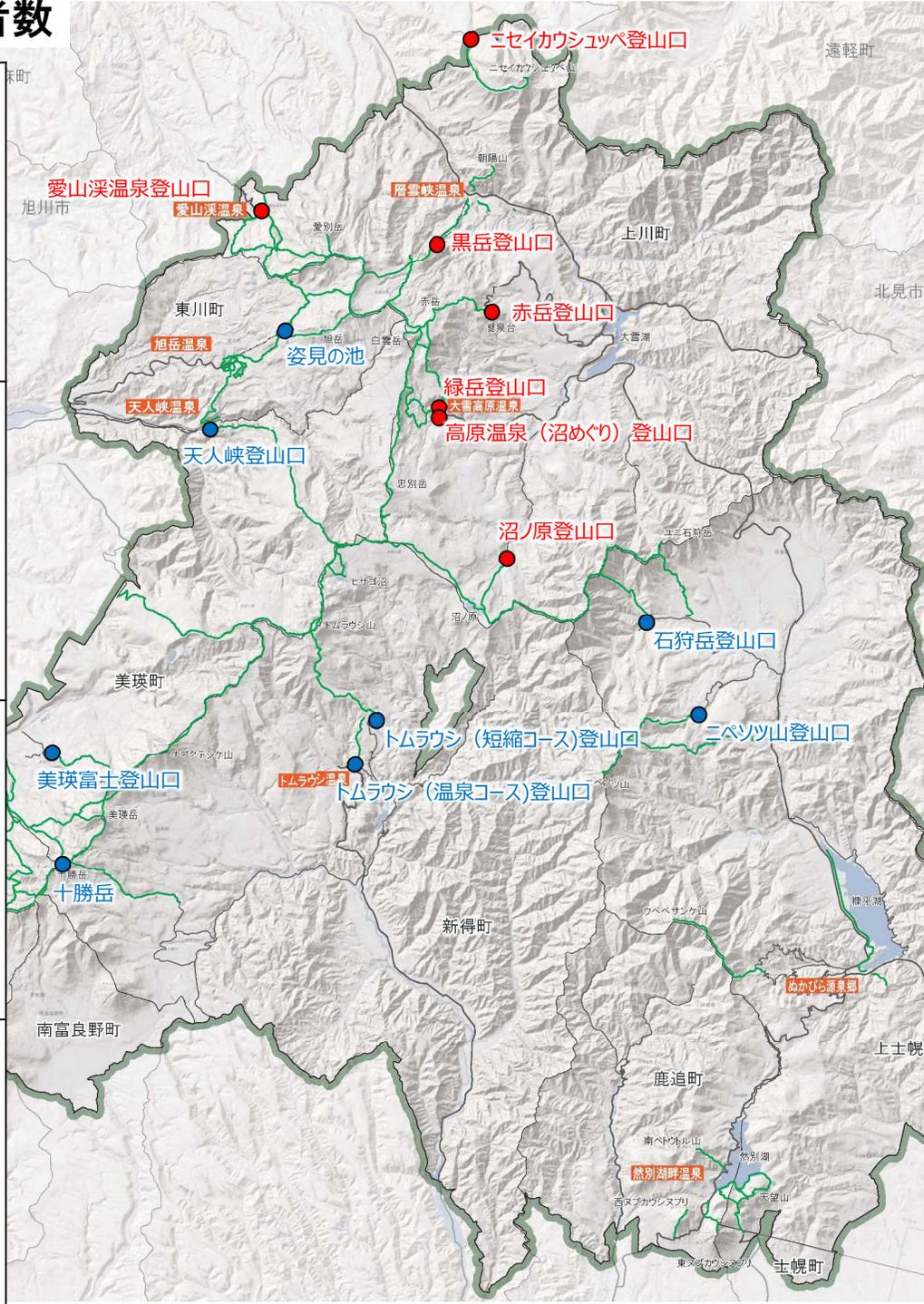
- 資料 1 大雪山国立公園利用者数主要登山口からの登山者数
- 資料 2 国立公園事業（歩道）の執行状況
- 資料 3 登山道の荒廃状況
- 資料 4 登山道の補修・整備状況
- 資料 5 避難小屋等施設の整備状況
- 資料 6 し尿問題とその対応
- 資料 7 公園利用において想定されるリスク
- 資料 8 利用拠点の利用者数
- 資料 9 大雪山国立公園関係市町の人口予測



# 大雪山国立公園利用者数



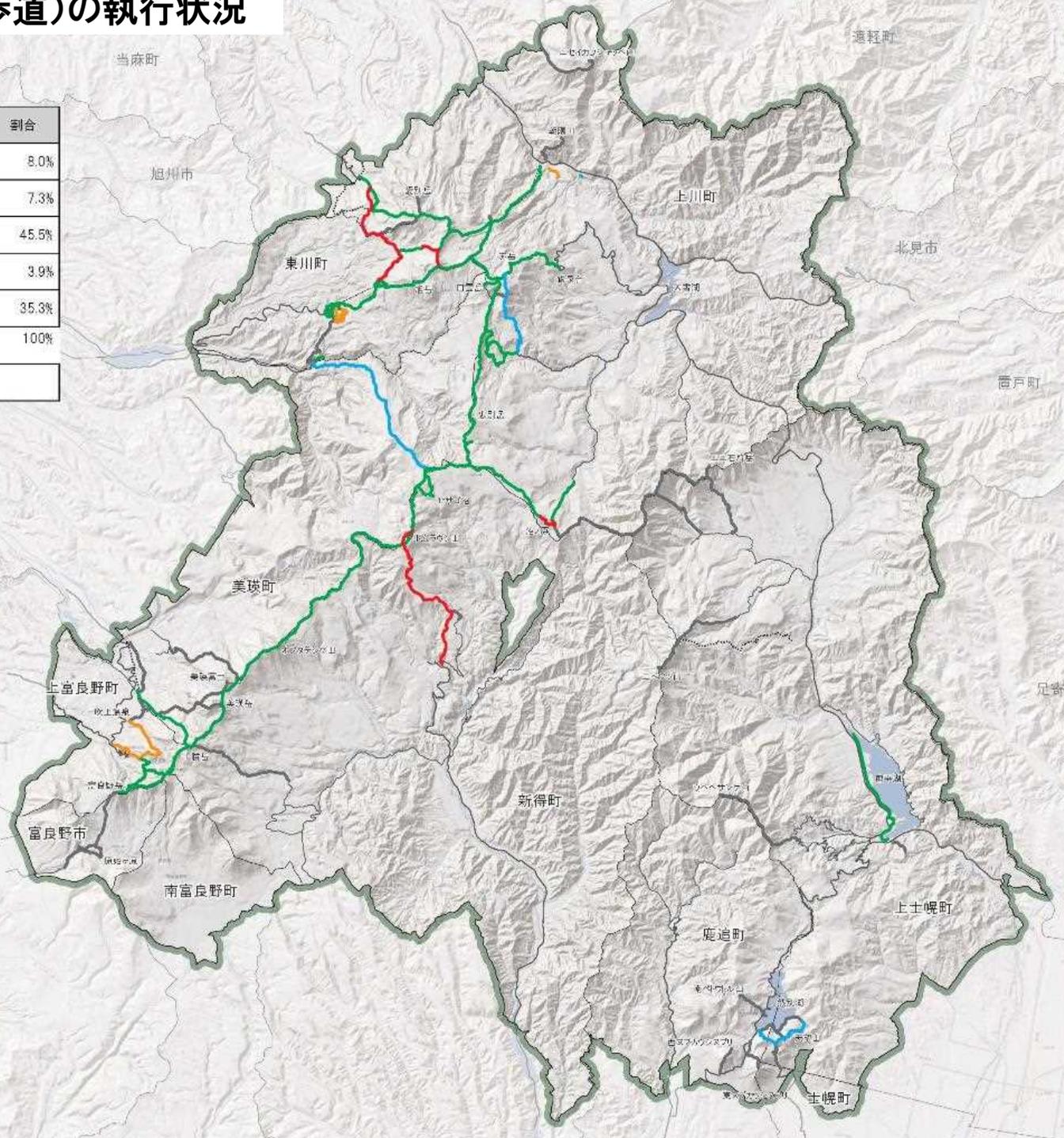
▶ 主要登山口からの登山者数



※上川町役場資料より (ただし、平成17年、18年度は、上川森林事務所資料より) ※林道封鎖の為カウントが0の部分あり

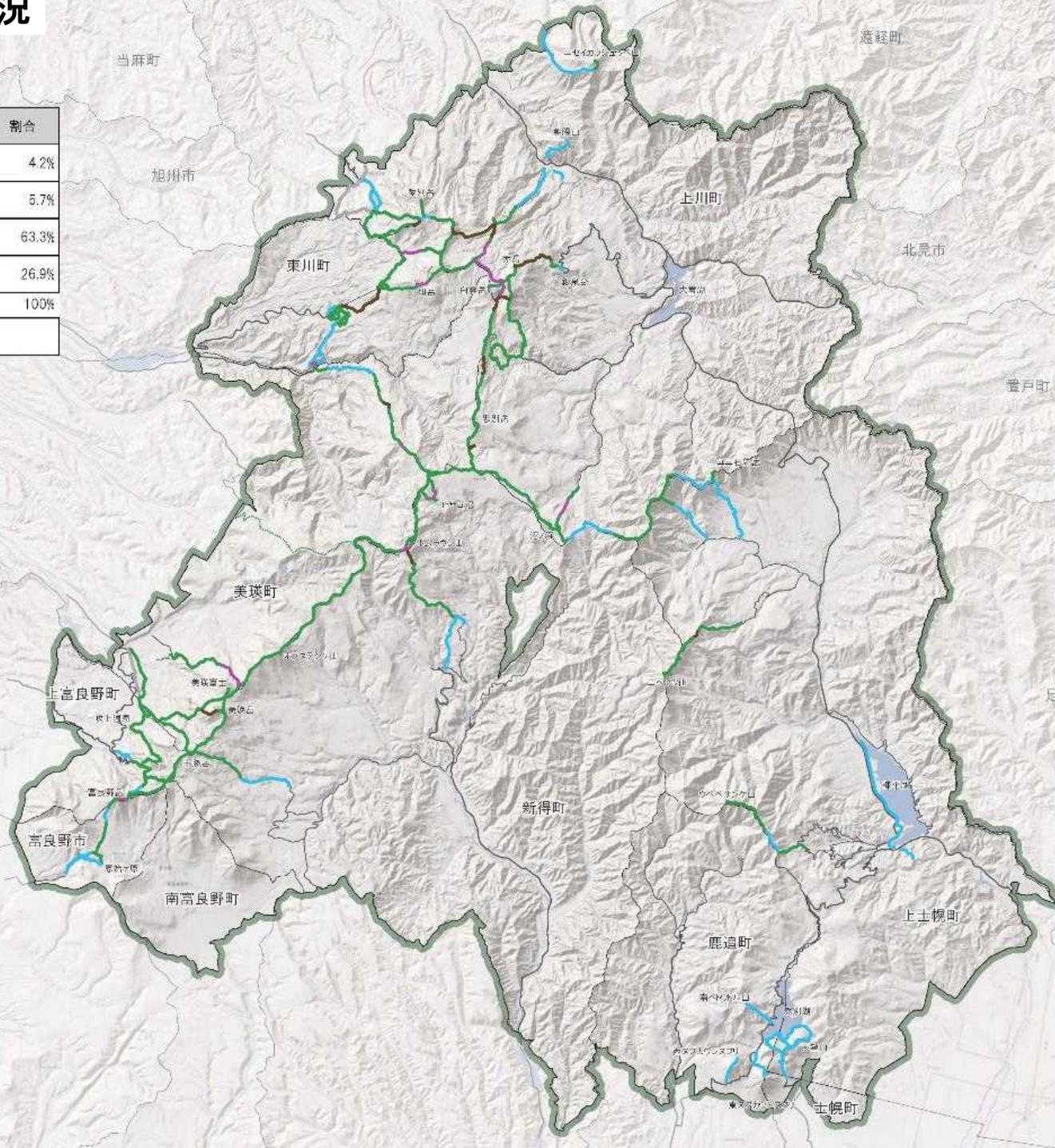
# ▶ 国立公園事業(歩道)の執行状況

凡例	事業執行者	延長	割合
	環境省	23.8km	8.0%
	林野庁	21.6km	7.3%
	北海道	134.5km	45.5%
	自治体	11.4km	3.9%
	未執行	104.6km	35.3%
合計		295.9km	100%
	大雪山の山頂と山麓に 利用集積があるが利用が なされる見込みのない区間	15.8km	



# 登山道の荒廃状況

凡例	登山道の 保全対策ランク	延長	割合
	A	12.7 km	4.2%
	B	17.3 km	5.7%
	C	193.0 km	63.3%
	D	82.0 km	26.9%
合計		305.1 km	100%
	非適用 <small>今後計画の見込みがない区間を指す</small>	18.8 km	



# 登山道の整備・補修状況

## 【愛山溪地区周辺】

- ・H30 ロープ張り、ササ刈り
- ・H29 たまには山へ恩返しin愛山溪
- ・H29 ササ刈り
- ・H28 登山道点検等
- ・H28 ロープ張り、ササ刈り

## 【雲の平・北海平地区周辺】

- ・H28～H30 旭岳自然保護対策事業
- ・H30 登山道整備
- ・H29 たまには山へ恩返しin黒岳
- ・H29 大雪山国立公園上川地区登山道補修業務
- ・H28 上川自然保護官事務所、上川中部森林管理署、上川総合振興局合同巡視
- ・H28 平成28年度大雪山国立公園上川地区登山道保守点検等業務
- ・H28 登山道補修後の点検（協働型作業）

## 【旭岳周辺】

- ・H28～H30 たまには山へ恩返しin旭岳
- ・H28～29 テンサー施工
- ・H30 登山道清掃、登山道整備
- ・H29 資材荷上げ体験
- ・H28 歩道の刈払い
- ・H28 ヤシ土嚢袋設置等
- ・H28 登山道修繕

## 【十勝岳・美瑛富士周辺】

- ・H28 登山道刈払い
- ・H28 倒木処理、段差処理
- ・H28 ササ刈り、登山道補修等
- ・H28 導流工、路面整備

## 【富良野岳周辺】

- ・H30 ボランティア登山
- ・H30 丸太橋修繕（2箇所）
- ・H29 登山道コース整備
- ・H29 ササ刈り、枝払い
- ・H29 林道復旧工事
- ・H28 原始ヶ原原植生復元

## 【トムラウシ山周辺】

- ・H29～30 大雪山国立公園トムラウシ山登山道補修工事
- ・H29～30 草刈り
- ・H30 たまには山へ恩返しinトムラウシ（大雪山国立公園登山道補修イベント開催業務）
- ・H30 泥凪箇所への補修
- ・H29 南沼野営指定地トイレ道植生復元作業
- ・H29 ササ刈り、枝払い
- ・H28 赤石灰撒き、草刈り
- ・H28 登山道の軽微な補修

## 【ニセイクウシュッペ山周辺】

- ・H30 ササ刈り
- ・H28 歩道の刈払い

## 【層雲峡地区周辺】

- ・H29 歩道の軽微な補修
- ・H28 GSSのための登山道補修技術の研修

## 【白雲避難小屋・高原温泉地区周辺】

- ・H29～30 歩道の軽微な補修
- ・H30 泥凪箇所への木道敷設
- ・H30 登山道整備
- ・H29 泥凪箇所の木道組み立て、石組み補修
- ・H28 山の日には山へ恩返し 大雪山高原温泉荷上げ登山

## 【石狩連峰周辺】

- ・H28～30 ササ刈り、倒木処理等
- ・H29 林道復旧工事

## 【沼の原地区周辺】

- ・H28～29 登山道点検等

## 【ニベソツ山周辺】

- ・H28～30 ササ刈り、倒木処理等
- ・H29 作業道復旧工事
- ・H28 ニベソツ山登山道整備

## 【ウベサンケ山周辺】

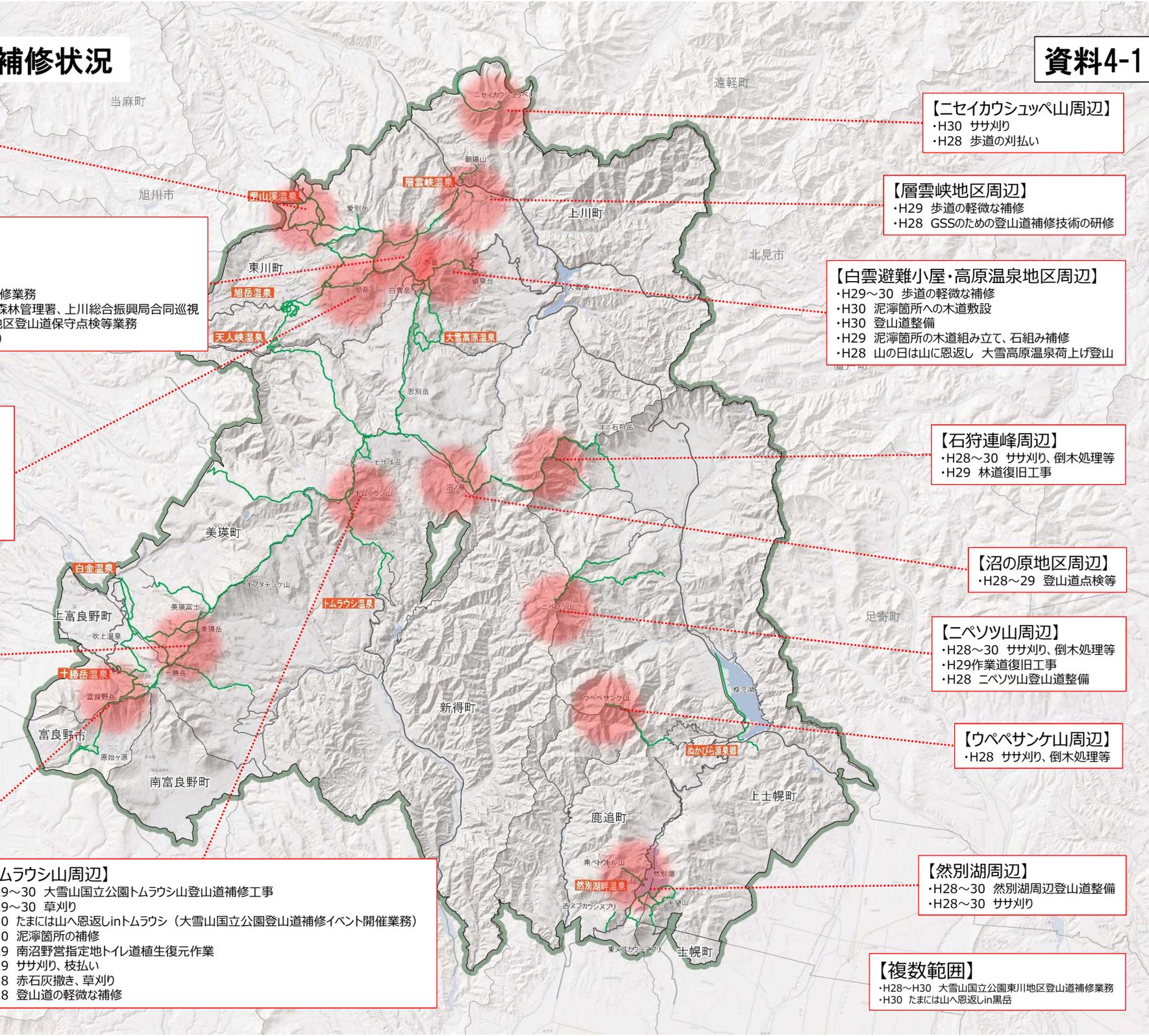
- ・H28 ササ刈り、倒木処理等

## 【然別湖周辺】

- ・H28～30 然別湖周辺登山道整備
- ・H28～30 ササ刈り

## 【複数範囲】

- ・H28～H30 大雪山国立公園東川地区登山道補修業務
- ・H30 たまには山へ恩返しin黒岳



# ▶ 登山道の整備・補修状況の詳細

# 資料4-2

平成30年度

登山道作業、活動内容	主催	場所	資料4-1での区分
たまには山へ恩返しin旭岳	上川総合振興局、一般社団法人、大雪山山守隊、大雪山国立公園連絡協議会	中岳裾合平線、東川町森林体験研修センター	旭岳周辺
たまには山へ恩返しin黒岳	上川総合振興局、一般社団法人、大雪山山守隊	黒岳、雲の平	複数範囲
平成30年度大雪山国立公園東川地区登山道補修業務	合同会社北海道山岳整備	沼ノ平姿見の池線道路(歩道)、層雲峡勇駒別線道路(歩道)、中岳裾合平線道路(歩道)	複数範囲
ボランティア登山	上富良野町 協力：上富良野十勝岳山岳会、上富良野高校、十勝岳ジオパークの会	富良野岳カミホロカメツク山線	富良野岳周辺
たまには山へ恩返しinトムラウシ(平成30年度大雪山国立公園登山道補修イベント開催業務)	北海道地方環境事務所 一般社団法人、大雪山山守隊(請負者でもある) 協力：新得山岳会、新得町	トムラウシ山	トムラウシ山周辺
平成30年度大雪山国立公園トムラウシ山登山道補修工事	北海道地方環境事務所(請負者：合同会社北海道山岳整備)	トムラウシ山	トムラウシ山周辺
然別湖周辺登山道整備	然別自然休養林保護管理協議会 参加：ポレアルフォレスト	然別湖外輪山(東雲湖、南ベトトル山、白雲山、東ヌプカウシヌプ)	然別湖周辺
ササ刈り	NPO法人かむい	ニセイカウシュツベ山、朝陽山	ニセイカウシュツベ山周辺
泥濘箇所への木道敷設	(有)風の便り工房	高原温泉～緑沼	白雲避難小屋、高原温泉地区周辺
歩道の軽微な補修	上川中部森林管理署	高原温泉～緑岳	白雲避難小屋、高原温泉地区周辺
登山道整備	NPO法人かむい	赤岳周辺	白雲避難小屋、高原温泉地区周辺
登山道整備	大雪山国立公園パークボランティア連絡会	旭岳9合目～中岳分岐	雲ノ平、北海平地区周辺
旭岳自然保護対策事業	東川町大雪山国立公園保護協会、NPO法人大雪山自然学校	旭岳周辺	雲ノ平、北海平地区周辺
ロープ張り、ササ刈り	大雪山国立公園パークボランティア連絡会	六の沼周辺、永山岳方面	愛山溪地区周辺
登山道清掃、登山道整備	東川町、東川町大雪山国立公園愛護少年団	旭岳登山道	旭岳周辺
丸太橋修繕(2箇所)	富良野市	原始ヶ原沢コース	富良野岳周辺
ササ刈り、倒木処理等	上土幌町、ひがし大雪自然ガイドセンター	幌加温泉登山口～前天狗南分岐	ニベソツ山周辺
ササ刈り、倒木処理等	上土幌町、ひがし大雪自然ガイドセンター	ユニ石狩岳三股登山口～シュナイダー登山口	石狩連峰周辺
ササ刈り	しほろ自然環境に親しむ会	白雲山土幌高原コース	然別湖周辺
泥濘箇所の補修	上土幌自然保護官事務所	短縮コース登山口～トムラウシ分岐～トムラウシ温泉登山口	トムラウシ山周辺
草刈り	新得町	短縮コース登山口～トムラウシ分岐～トムラウシ温泉登山口	トムラウシ山周辺

平成29年度

登山道作業、活動内容	主催	場所	資料4-1での区分
たまには山へ恩返しin旭岳	上川総合振興局、山楽舎BEAR、大雪山国立公園連絡協議会 協力：大雪山山守隊、旭岳ファンクラブ環境保全会	中岳裾合平線 東川町第二コミュニティーセンター	旭岳周辺
たまには山へ恩返しin黒岳	上川総合振興局	雲の平	雲ノ平、北海平地区周辺

たまには山へ恩返しin愛山溪	上川自然保護官事務所 協力：大雪山国立公園連絡協議会	愛山溪三十三曲がり	愛山溪地区周辺
平成29年度大雪山国立公園上川地区登山道補修業務	合同会社北海道山岳整備	沼ノ平姿見の池線道路(歩道)	雲ノ平、北海平地区周辺
平成29年度大雪山国立公園東川地区登山道補修業務	合同会社北海道山岳整備	沼ノ平姿見の池線道路(歩道)、層雲峡勇駒別線道路(歩道)、中岳裾合平線道路(歩道)	複数範囲
テナー施工	東川自然保護官事務所 協力：上川総合振興局環境生活課	中岳裾合平線道路(歩道)	旭岳周辺
平成29年度大雪山国立公園トムラウシ山登山道補修工事	北海道地方環境事務所(請負者：合同会社北海道山岳整備)	トムラウシ山	トムラウシ山周辺
南沼野営指定地トイレ道植生復元作業	十勝総合振興局	トムラウシ南沼野営指定地	トムラウシ山周辺
然別湖周辺登山道整備	然別自然休養林保護管理協議会	然別湖外輪山	然別湖周辺
登山道点検等	上川自然保護官事務所、北海道山岳整備	沼ノ原北東側急勾配区間	沼ノ原地区周辺
歩道の軽微な補修	上川中部森林管理署	黒岳	層雲峡地区周辺
歩道の軽微な補修	上川中部森林管理署	赤岳、緑岳	白雲避難小屋、高原温泉地区周辺
泥濘箇所の木道組み立て、石組み補修	上川総合振興局、上川町、(有)風の便り工房	高原温泉沼巡りコース	白雲避難小屋、高原温泉地区周辺
ササ刈り	大雪山国立公園パークボランティア連絡会	永山岳方面	愛山溪地区周辺
旭岳自然保護対策事業	東川町大雪山国立公園保護協会、NPO法人大雪山自然学校	旭岳周辺	雲ノ平、北海平地区周辺
資材荷上げ体験	上川総合振興局	裾合平	旭岳周辺
登山道コース整備	富良野山岳会	原始ヶ原	富良野岳周辺
ササ刈り、倒木処理等	上土幌町、ひがし大雪自然ガイドセンター	幌加温泉登山口～前天狗南分岐	ニベソツ山周辺
作業道復旧工事	十勝西部森林管理署東大雪支署	幌加温泉登山口	ニベソツ山周辺
ササ刈り、枝払い	上土幌自然保護官事務所	シュナイダー登山口～シュナイダーの肩	石狩連峰周辺
ササ刈り、倒木処理等	上土幌町、ひがし大雪自然ガイドセンター	ユニ石狩岳三股登山口～十石峠	石狩連峰周辺
林道復旧工事	十勝西部森林管理署東大雪支署	音更川本流林道	石狩連峰周辺
ササ刈り、倒木処理等	然別自然休養林保護管理協議会、ポレアルフォレスト	東雲湖、南ベトトル山、白雲山、東ヌプカウシヌプ等	然別湖周辺
ササ刈り	しほろ自然環境に親しむ会	白雲山土幌高原コース	然別湖周辺
草刈り	新得町	南沼～短縮コース登山口～トムラウシ温泉登山口	トムラウシ山周辺
ササ刈り、枝払い	上土幌自然保護官事務所	三川台～南沼	トムラウシ山周辺
ササ刈り、枝払い	上土幌自然保護官事務所	十勝岳新得コース	富良野岳周辺
林道復旧工事	十勝西部森林管理署東大雪支署	十勝岳新得登山口	富良野岳周辺

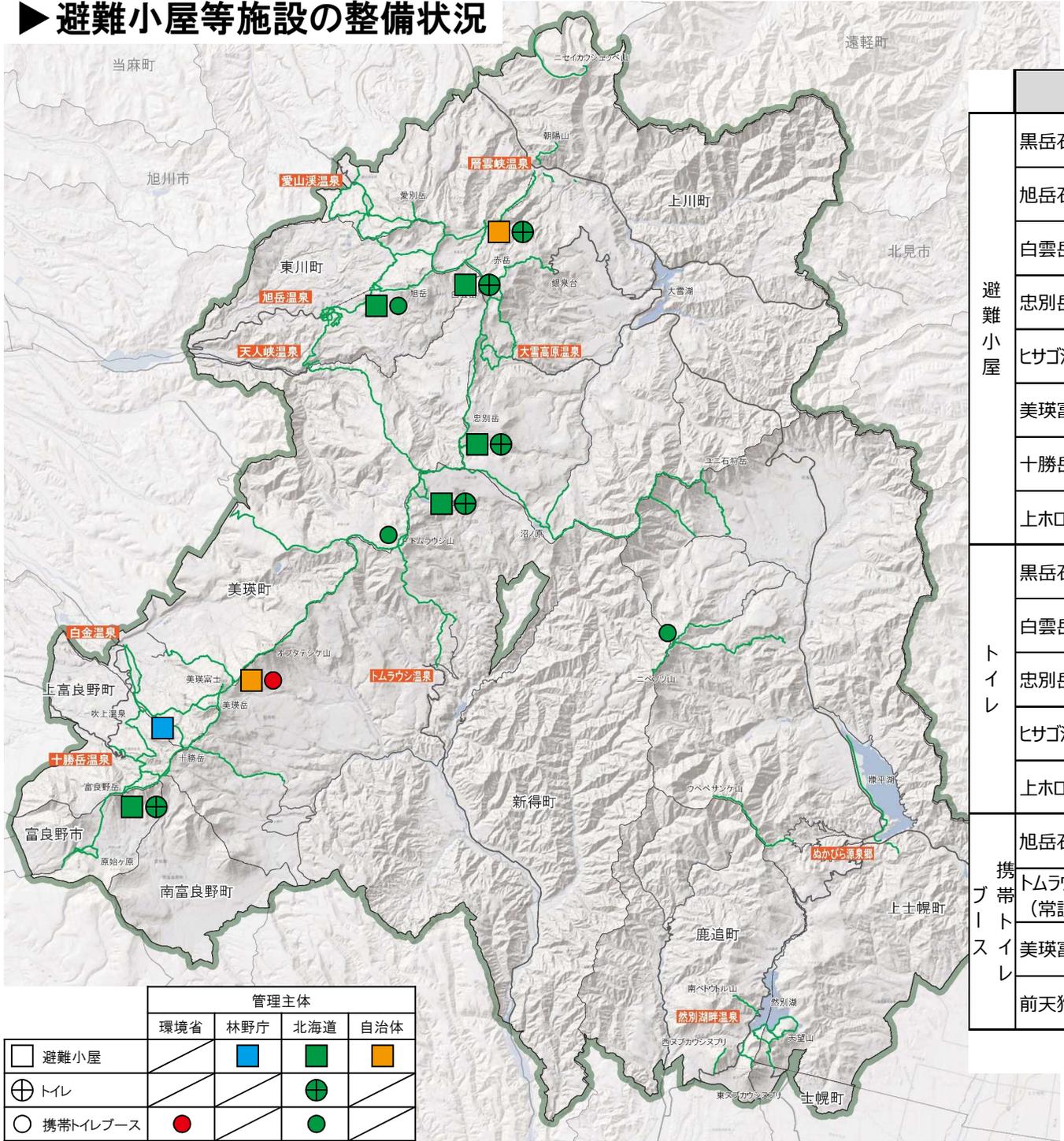
# ▶ 登山道の整備・補修状況の詳細

平成28年度

登山道作業、活動内容	主催	場所	資料4-1での区分
たまには山へ恩返しin旭岳	上川総合振興局、山樂舎BEAR、大雪山国立公園連絡協議会	旭岳姿見園地 東川町森林体験研修センター	旭岳周辺
山の日には山に恩返し 大雪高原温泉荷上げ登山	上川地区登山道維持管理連絡協議会、上川自然保護官事務所、上川総合振興局、上川中部森林管理署	大雪高原温泉沼巡りコース	白雲避難小屋、高原温泉地区周辺
GSSのための登山道補修技術の研修	上川自然保護官事務所	黒岳7合目	層雲峡地区周辺
GSSのための登山道補修技術の研修	上川自然保護官事務所	黒岳石室～赤石川間登山道整備	層雲峡地区周辺
上川自然保護官事務所、上川中部森林管理署、上川総合振興局合同巡視	上川自然保護官事務所、上川総合振興局、上川中部森林管理署	雲の平	雲ノ平、北海平地区周辺
平成28年度大雪山国立公園上川地区登山道保守点検等業務	合同会社北海道山岳整備	沼ノ平姿見の池線道路（歩道）	雲ノ平、北海平地区周辺
平成28年度大雪山国立公園東川管内登山道維持管理業務	合同会社北海道山岳整備	沼ノ平姿見の池線道路（歩道）、層雲峡勇駒別線道路（歩道）、中岳裾合平線道路（歩道）	複数範囲
テニサー施工	東川自然保護官事務所 協力：上川総合振興局環境生活課	中岳裾合平線道路（歩道）	旭岳周辺
原始ヶ原温泉植生復元	富良野市 協力：東川自然保護官事務所、富良野山岳会、大雪山国立公園パークボランティア連絡会 共催：上川南部森林管理署	原始ヶ原線	富良野岳周辺
然別湖周辺登山道整備	鹿追町（然別自然休養林保護管理協議会）	然別湖外輪山（西ヌブカウヌブ、東ヌブカウヌブ、白雲山土幌高原コース）	然別湖周辺
ニベソツ山登山道整備	ひがし大雪自然館運営協議会、上土幌自然保護官事務所	ニベソツ山	ニベソツ山周辺
ササ刈り、倒木処理等	上土幌町、ひがし大雪自然ガイドセンター	十六ノ沢コース登山口～ニベソツ山頂	ニベソツ山周辺
ササ刈り、倒木処理等	上土幌町、ひがし大雪自然ガイドセンター	シュナイダーの肩～シュナイダー登山口	石狩連峰周辺
ササ刈り、倒木処理等	上土幌町、ひがし大雪自然ガイドセンター	糠平コース新登山口～ウベベサンケ山西ピーク	ウベベサンケ山
ササ刈り、倒木処理等	上土幌町、ひがし大雪自然ガイドセンター	白雲山土幌高原登山口～白雲山登山口	然別湖周辺
倒木処理	上土幌自然保護官事務所	南ベトトル山登山道	然別湖周辺
ササ刈り	しほる自然環境に親む会	白雲山土幌高原コース	然別湖周辺
赤石灰撒き、草刈り	新得町	トムラウシ温泉登山口～短縮コース登山口～トムラウシ山	トムラウシ山周辺
登山道の軽微な補修	上土幌自然保護官事務所	トムラウシ温泉登山口～短縮コース登山口～トムラウシ山	トムラウシ山周辺
歩道の刈払い	上川中部森林管理署	ニセイカウシュベ山	ニセイカウシュベ山周辺
ササ刈り、ロープ張り	大雪山国立公園パークボランティア連絡会	永山岳方面、半月湖周辺	愛山溪地区周辺
登山道点検等	上川自然保護官事務所	三十三曲～当麻乗越	愛山溪地区周辺
登山道点検等	上川自然保護官事務所	沼ノ原	沼ノ原地区周辺
（詳細なし）	NPO法人かむい	銀泉台～赤岳	白雲避難小屋、高原温泉地区周辺
（詳細なし）	NPO法人かむい	黒岳	層雲峡地区周辺

登山道補修後の点検（協働型作業）	上川自然保護官事務所	雲ノ平、北海平、赤石川周辺	雲ノ平、北海平地区周辺
旭岳自然保護対策事業	東川町大雪山国立公園保護協議会、NPO法人大雪山自然学校	旭岳周辺	雲ノ平、北海平地区周辺
歩道の刈払い	上川中部森林管理署	勇駒別	旭岳周辺
ロープ張り、標柱ペイント、テニサー工、ヤシ土嚢袋設置等	大雪山国立公園パークボランティア連絡会	旭岳周辺	旭岳周辺
ロープ張り、ササ刈り	大雪山国立公園パークボランティア連絡会	愛山溪周辺	愛山溪地区周辺
登山道修繕	東川自然保護官事務所	沼ノ平～姿見の池線、中岳温泉～間宮分岐線	旭岳周辺
登山道刈払い	上川中部森林管理署	美瑛富士登山道	十勝岳、美瑛富士周辺
倒木処理、段差処理	美瑛山岳会	美瑛富士登山道	十勝岳、美瑛富士周辺
ササ刈り、登山道補修等	美瑛山岳会	美瑛岳登山道	十勝岳、美瑛富士周辺
導流工、路面整備	美瑛山岳会	十勝岳登山道	十勝岳、美瑛富士周辺

# ▶ 避難小屋等施設の整備状況

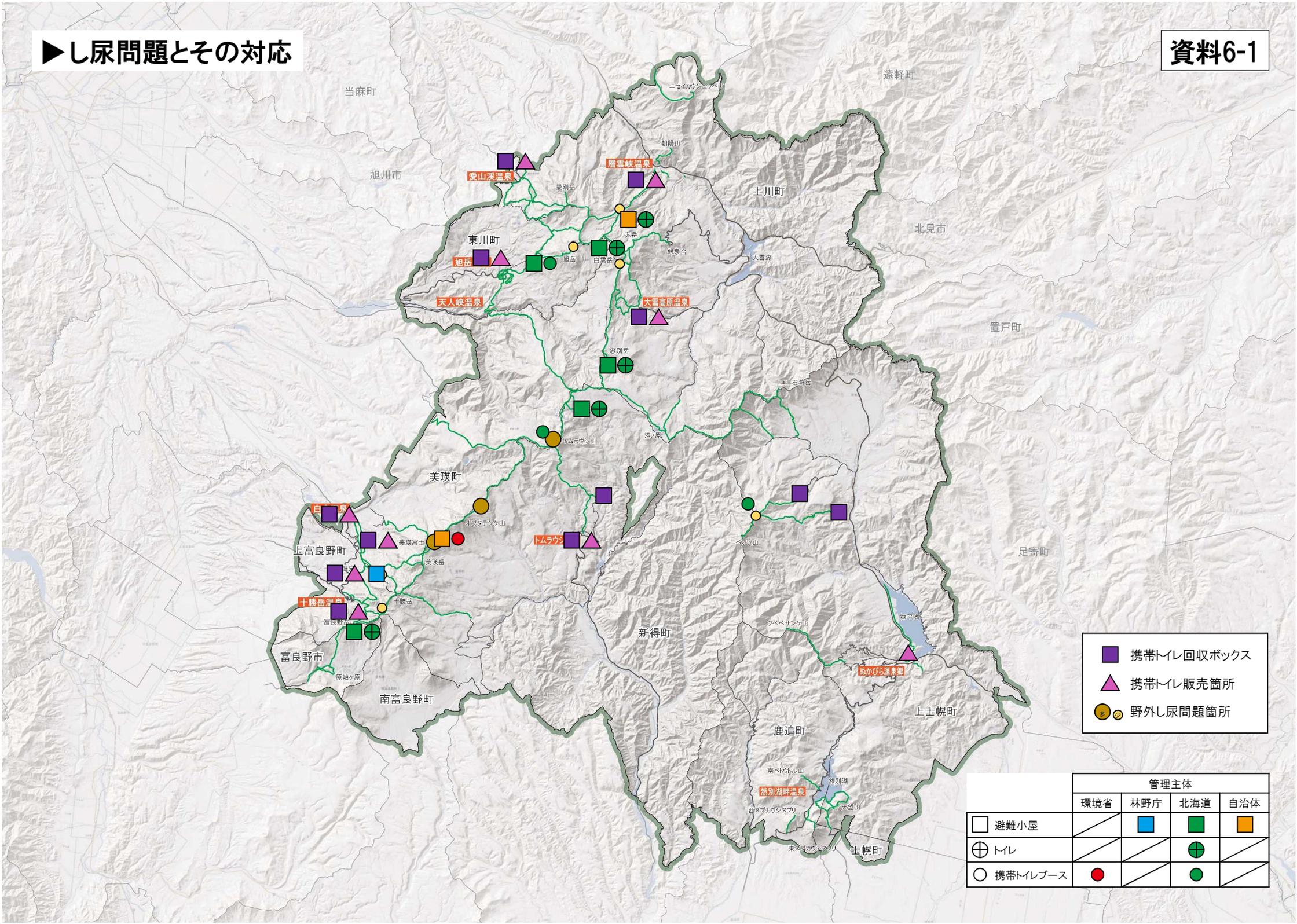


	管理主体			
	環境省	林野庁	北海道	自治体
□ 避難小屋		■	■	■
⊕ トイレ			⊕	
○ 携帯トイレブース	●		●	

	施設名称	管理主体	現施設の整備年度
避難小屋	黒岳石室	上川町	大正12年（1923年）頃
	旭岳石室	上川総合振興局	平成12年度（2000年度）*
	白雲岳避難小屋	上川総合振興局	昭和51年度（1976年度）*
	忠別岳南避難小屋	上川総合振興局	昭和46年度（1971年度）**
	ヒサゴ沼避難小屋	十勝総合振興局	昭和57年度（1982年度）*
	美瑛富士避難小屋	美瑛町	平成8年度（1996年度）*
	十勝岳避難小屋	上川中部森林管理署	平成20年度（2008年度）*
	上ホロカメツク避難小屋	上川総合振興局	昭和55年度（1980年度）*
トイレ	黒岳石室	上川総合振興局	平成15年度（2003年度）*
	白雲岳避難小屋	上川総合振興局	昭和60年度（1985年度）**
	忠別岳南避難小屋	上川総合振興局	昭和60年度（1985年度）**
	ヒサゴ沼避難小屋	十勝総合振興局	昭和57年度（1982年度）*
	上ホロカメツク避難小屋	上川総合振興局	昭和55年度（1980年度）*
携帯トイレ	旭岳石室（常設）	上川総合振興局	平成12年度（2000年度）*
	トムラウシ南沼野営指定地（常設）	十勝総合振興局	平成14年度（2002年度）*
	美瑛富士避難小屋（テント）	環境省	平成27年度（2015年度）*
	前天狗（常設）	十勝総合振興局	平成15年度（2003年度）*

\*完成年度  
\*\*自然公園法手続き完了年度

# ▶ し尿問題とその対応



- 携帯トイレ回収ボックス
- 携帯トイレ販売箇所
- 野外し尿問題箇所

	管理主体			
	環境省	林野庁	北海道	自治体
☐ 避難小屋				
⊕ トイレ				
○ 携帯トイレブース				

# ▶大雪山国立公園におけるトイレの現状

# 資料6-2

平成30年10月18日現在  
上川・東川・上土幌自然保護官事務所

場所	市町	避難小屋・山小屋	野営場	トイレ	野外トイレの状況	携帯トイレケース	回収ボックス	携帯トイレケース	携帯トイレ販売
黒岳	上川	有 (管理人有)	有 (野営指定地)	有	少	無	-	-	-
裏旭	東川	無	有 (野営指定地)	無	少	無	-	-	-
白雲岳	上川	有 (管理人有)	有 (野営指定地)	有	少	無	-	-	-
忠別岳	上川	有	有 (野営指定地)	有	無	無	-	-	-
ヒサゴ沼	新得	有	有 (野営指定地)	有	無	無	-	-	-
南沼	新得、美瑛	無	有 (野営指定地)	無	多	有	-	-	-
沼ノ原大沼	上川	無	有 (野営指定地)	無	未確認	無	-	-	-
ブヨ沼	上土幌、上川	無	有 (野営指定地)	無	無	無	-	-	-
小天狗のコル	上土幌	無	有 (野営指定地)	無	無	無	-	-	-
ニペンツ山前天狗	上土幌	無	有 (野営指定地)	無	少	有	-	-	-
双子池	美瑛、新得	無	有 (野営指定地)	無	多	無	-	-	-
美瑛富士	美瑛、新得	有	有 (野営指定地)	無	多	有	-	-	-
十勝岳避難小屋	美瑛	有	無	無	少	無	-	-	-
上ホロカメツク	上富良野、新得	有	有 (野営指定地)	有	少	無	-	-	-
層雲峡	上川	無	有	有	無	無	設置は環状倉、回収は上川町	有	○層雲峡ビジターセンター ○黒岳ロープウェイ売店 ○層雲峡各大手ホテル等
愛山溪温泉	上川	有	無	有	無	無	設置・回収は上川町	有	○愛山溪倶楽部
銀泉台	上川	無	無	有	無	無	設置は上川地区登山道維持管理連絡協議会、回収は上川町	無	○大雪山高原山荘
大雪山高原温泉	上川	有	無	有	無	無	設置は上川地区登山道維持管理連絡協議会、回収は上川町	有	○大雪山高原山荘
姿見	東川	有	無	有	無	有	設置は上川地区登山道維持管理連絡協議会、回収は上川町	無	○旭岳ビジターセンター ○大雪山旭岳ロープウェイ
旭岳温泉	東川	無	有	有	無	無	設置は上川地区登山道維持管理連絡協議会、回収は上川町	有	同上
天人峡	美瑛	無	無	有	無	無	設置は上川地区登山道維持管理連絡協議会、回収は上川町	無	同上
クチャンバツ	上川	無	無	有 (仮設)	無	無	設置は上川地区登山道維持管理連絡協議会、回収は上川町	無	同上
美瑛富士登山口	美瑛	無	無	無	無	無	設置は上川地区登山道維持管理連絡協議会、回収は上川町	無	同上
白金温泉望岳台歩道登山口 (白金温泉観光センター)	美瑛	無	有	有	無	無	設置は山のトイレを考える会、回収は美瑛町	有	○湯元白金温泉ホテル ○大雪山白金温泉観光ホテル ○ホテルパーグリス
望岳台	美瑛	無	無	有	無	無	設置・回収は美瑛町	無	○十勝岳望岳台防災シェルター
吹上温泉	上富良野	無	有	有	無	無	回収は上富良野町	有	○白銀荘
十勝岳温泉	上富良野	無	無	有	無	無	回収は上富良野町	有	○十勝岳温泉温泉園
原始ヶ原登山口	富良野	有	無	有	無	無	回収は上富良野町	無	無
シュナイダークース登山口	上土幌	無	無	有	無	無	回収は上富良野町	無	無
ユニ石狩岳登山口	上土幌	無	無	無	無	無	回収は上富良野町	無	無
トムラウシ温泉コース登山口	新得	無	無	有	無	無	設置は北海道、回収は新得町	有	○トムラウシ温泉東大雪荘
トムラウシ短縮コース登山口	新得	無	無	有	無	無	設置は北海道、回収は新得町	有	○トムラウシ温泉東大雪荘
十勝岳新得コース登山口	新得	無	無	無	無	無	設置は北海道、回収は上土幌町	無	無
ニペンツ山十六の沢コース登山口	上土幌	無	無	有	無	無	設置は北海道、回収は上土幌町	有	無
ニペンツ山幌加温泉コース登山口	上土幌	無	無	有	無	無	設置は北海道、回収は上土幌町	有	無
クベサンケ山登山口	上土幌	無	無	無	無	無	設置は北海道、回収は上土幌町	無	○ひがし大雪自然館
天宝山登山口	上土幌	無	無	無	無	無	設置は北海道、回収は上土幌町	有	○ひがし大雪自然館
南バウトル山登山口	鹿追	無	無	有	無	無	設置は北海道、回収は上土幌町	無	無
白雲山然別湖刺登山口	鹿追	無	無	有	無	無	設置は北海道、回収は上土幌町	無	無
白雲山土幌刺登山口	土幌	無	無	有	無	無	設置は北海道、回収は上土幌町	無	無
東ヌブカウシヌグリ登山口	鹿追	無	無	無	無	無	設置は北海道、回収は上土幌町	無	無
西ヌブカウシヌグリ登山口	鹿追	無	無	有	無	無	設置は北海道、回収は上土幌町	無	無

# ▶ 公園利用において想定されるリスク

## 【想定されるリスク】

- ・ 滑落
- ・ 道迷い
- ・ 転倒
- ・ 疲労
- ・ 熱中症
- ・ 低体温症
- ・ 雪崩
- ・ 強風
- ・ 濃霧
- ・ ハチ
- ・ クマ

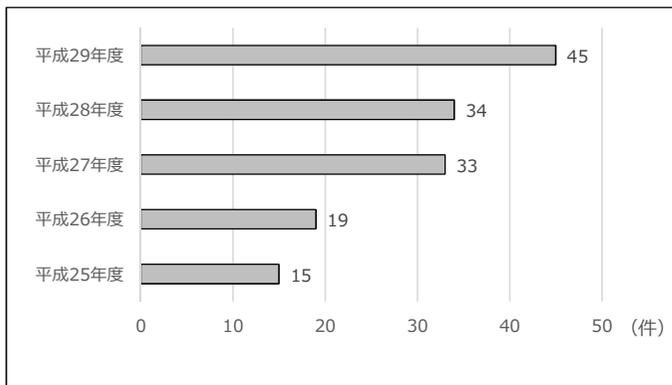


図 平成25～29年度大雪山国立公園での事故件数

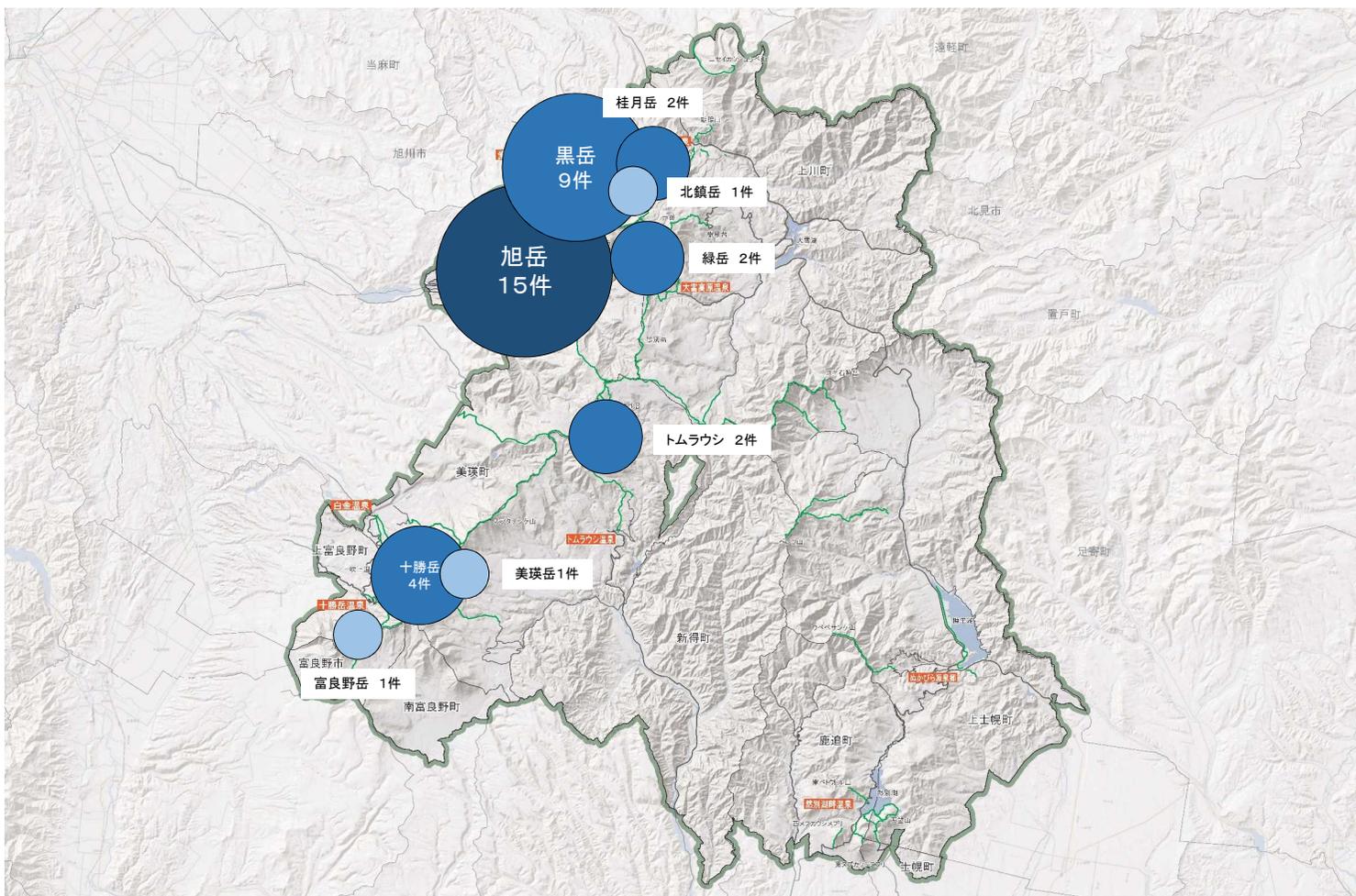


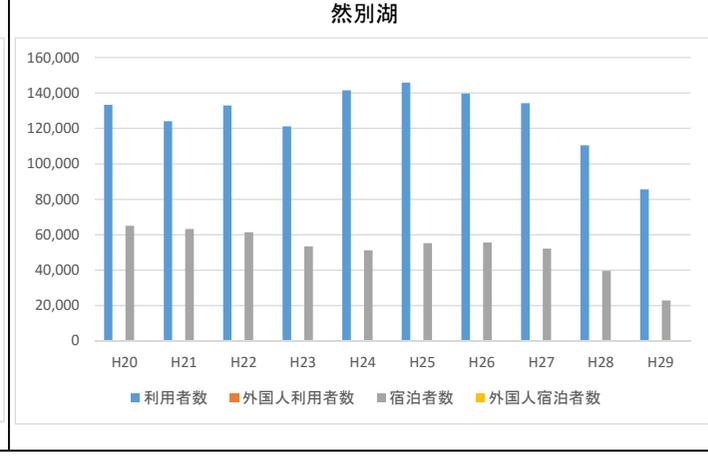
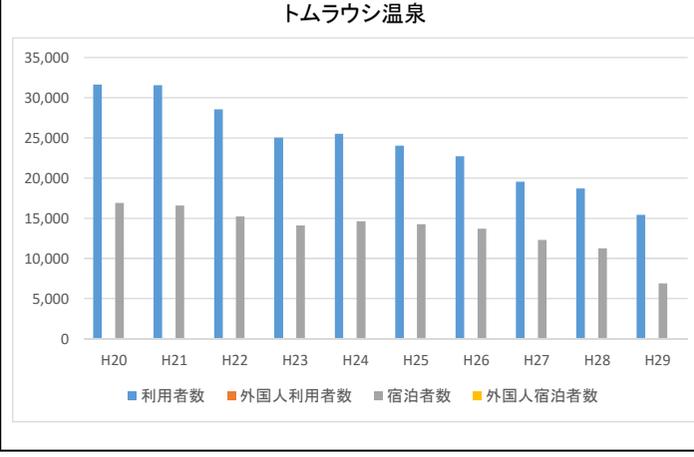
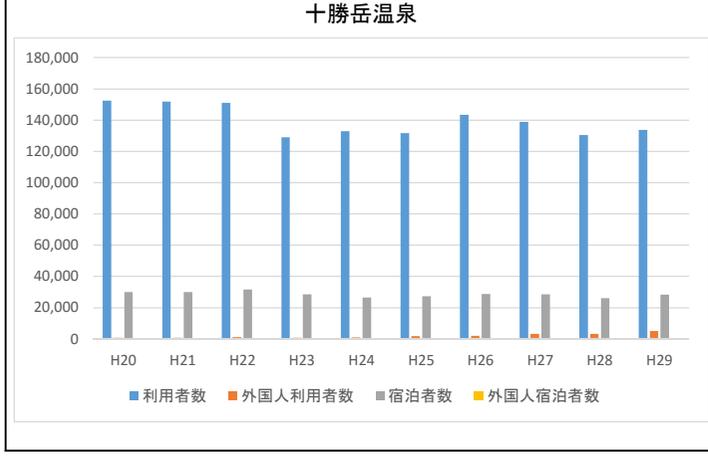
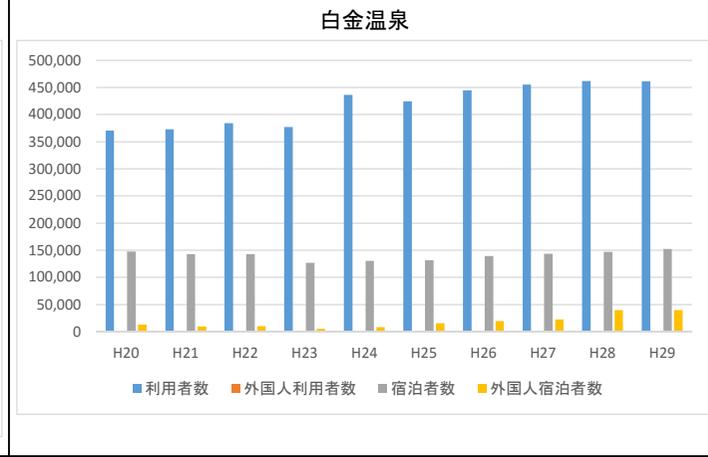
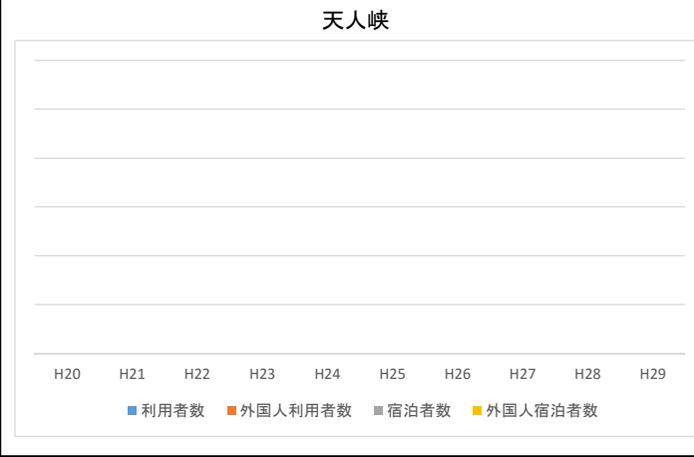
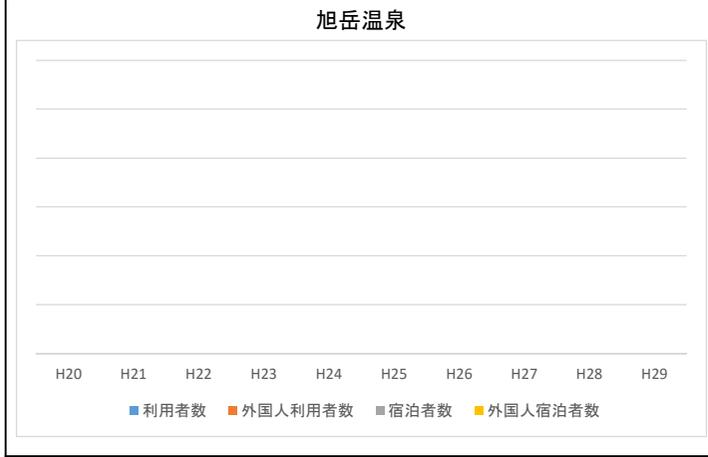
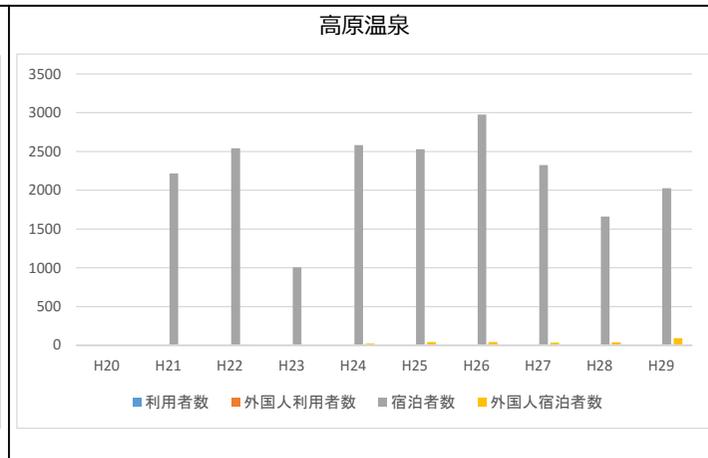
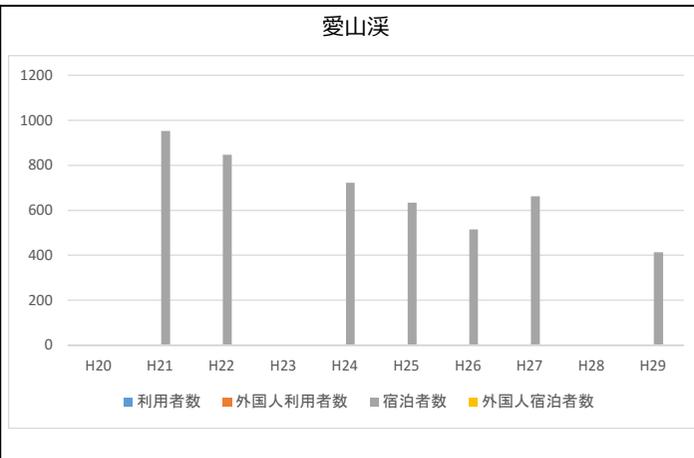
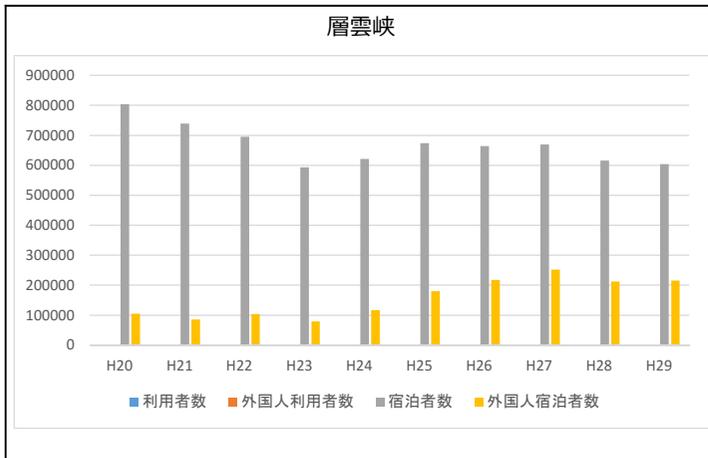
図 平成29年度大雪山国立公園での遭難事故件数

表 平成29年度遭難事故の詳細

発生日	山岳名	山系	遭難者			
			居住地	性別	年齢	態様
4月8日(土)	黒岳	大雪山系	中国	男	30代	負傷
4月14日(金)	旭岳	大雪山系	島根県	男	30代	負傷
5月4日(木)	暑寒別岳	増毛山地	北海道	男	60代	無事
6月2日(金)	旭岳	大雪山系	北海道	女	10代	負傷
6月5日(月)	黒岳	大雪山系	フィンランド	男	20代	無事
6月5日(月)	黒岳	大雪山系	フィンランド	女	20代	無事
6月11日(日)	十勝岳	十勝岳連峰	東京都	男	50代	死亡
6月15日(木)	旭岳	大雪山系	山梨県	男	60代	死亡
6月17日(土)	黒岳	大雪山系	北海道	女	60代	負傷
6月18日(日)	十勝岳	十勝岳連峰	北海道	男	60代	無事
6月23日(金)	北鎮岳	大雪山系	大阪府	男	50代	無事
6月23日(金)	旭岳	大雪山系	兵庫県	男	40代	無事
6月24日(土)	トムラウシ	十勝岳連峰	北海道	男	70代	負傷
7月3日(月)	南暑寒岳	増毛山地	茨城県	男	50代	負傷
7月4日(火)	利尻山	利尻山	茨城県	男	40代	無事
7月7日(金)	利尻山	利尻山	東京都	女	60代	負傷
7月9日(金)	十勝岳	十勝岳連峰	徳島県	女	60代	負傷
7月10日(月)	利尻山	利尻山	兵庫県	男	70代	無事
7月13日(木)	緑岳	大雪山系	神奈川県	女	70代	負傷
7月14日(金)	旭岳	大雪山系	北海道	女	70代	負傷
7月15日(土)	トムラウシ	十勝岳連峰	千葉県	男	60代	負傷
7月16日(日)	緑岳	大雪山系	兵庫県	女	60代	負傷
7月21日(金)	旭岳	大雪山系	山梨県	女	60代	負傷
7月24日(月)	富良野岳	夕張山地	埼玉県	男	70代	負傷
7月24日(月)	利尻山	利尻山	広島県	男	60代	負傷
8月13日(日)	桂月岳	大雪山系	北海道	男	20代	負傷
8月13日(日)	桂月岳	大雪山系	東京都	男	20代	無事
8月20日(日)	旭岳	大雪山系	神奈川県	男	70代	負傷
8月20日(日)	暑寒別岳	増毛山地	北海道	男	60代	負傷
8月20日(日)	暑寒別岳	増毛山地	北海道	女	30代	負傷
8月31日(木)	利尻山	利尻山	カナダ	男	30代	負傷
9月10日(日)	美瑛岳	十勝岳連峰	北海道	女	70代	負傷
9月17日(日)	旭岳	大雪山系	北海道	男	60代	負傷
9月23日(土)	旭岳	大雪山系	北海道	女	50代	負傷
10月17日(火)	旭岳	大雪山系	神奈川県	男	70代	負傷
10月17日(火)	旭岳	大雪山系	神奈川県	女	60代	負傷
10月17日(火)	旭岳	大雪山系	マレーシア	男	20代	負傷
10月17日(火)	旭岳	大雪山系	シンガポール	女	20代	負傷
11月7日(火)	十勝岳	十勝岳連峰	北海道	男	40代	無事
12月6日(水)	黒岳	大雪山系	北海道	男	20代	負傷
12月5日(火)	黒岳	大雪山系	タイ	男	30代	負傷
12月5日(火)	黒岳	大雪山系	タイ	男	20代	負傷
12月23日(土)	北の峰	夕張山地	大阪府	男	40代	無事
12月23日(土)	北の峰	夕張山地	大阪府	女	40代	無事
12月23日(土)	北の峰	夕張山地	大阪府	男	10代	無事
12月23日(土)	北の峰	夕張山地	大阪府	女	10代	無事
12月30日(日)	北の峰	夕張山地	福岡県	女	20代	無事
12月30日(日)	北の峰	夕張山地	福岡県	女	20代	無事
12月30日(日)	北の峰	夕張山地	福岡県	女	20代	無事
12月30日(日)	北の峰	夕張山地	福岡県	女	20代	無事
12月30日(日)	北の峰	夕張山地	福岡県	男	20代	無事
12月30日(日)	北の峰	夕張山地	福岡県	女	20代	無事
12月30日(日)	北の峰	夕張山地	福岡県	女	20代	無事
1月6日(土)	旭岳	大雪山系	スウェーデン	女	50代	負傷
2月8日(木)	北の峰	夕張山地	フランス	男	50代	無事
2月8日(木)	北の峰	夕張山地	フランス	男	50代	無事
2月8日(木)	北の峰	夕張山地	フランス	女	50代	無事
2月8日(木)	北の峰	夕張山地	フランス	男	50代	無事
2月8日(木)	北の峰	夕張山地	フランス	男	50代	無事
2月8日(木)	北の峰	夕張山地	フランス	男	10代	無事
2月14日(水)	北の峰	夕張山地	オーストラリア	男	40代	負傷
2月24日(土)	北の峰	夕張山地	スウェーデン	女	50代	負傷
3月3日(土)	北の峰	夕張山地	オーストラリア	男	50代	無事
3月18日(日)	半面岳	その他	北海道	男	50代	死亡
3月19日(月)	旭岳	大雪山系	中国	男	30代	無事

※ 出典 平成25～29年度道北地方山岳遭難防止対策協議会総会資料

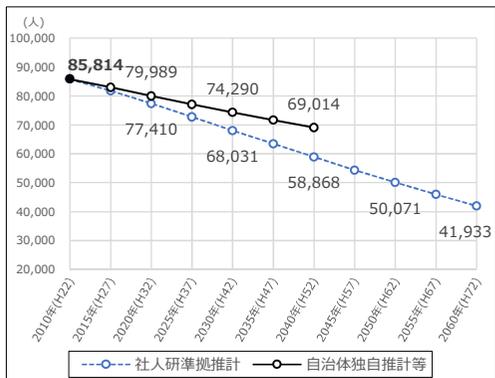
# ▶ 利用拠点の利用者数



※各観光協会データ参考。都合がつかずデータを記載できていない拠点、一部データがない拠点等有

# 大雪山国立公園関係市町の人口予測

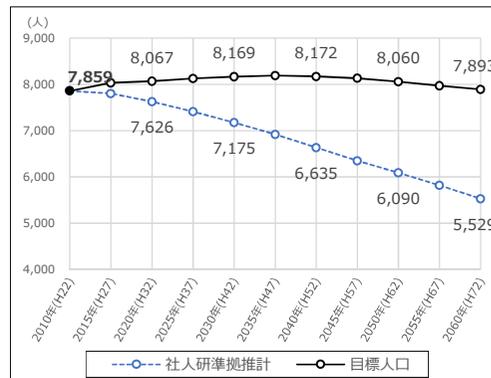
全体（1市9町の合計値）



上川町



東川町



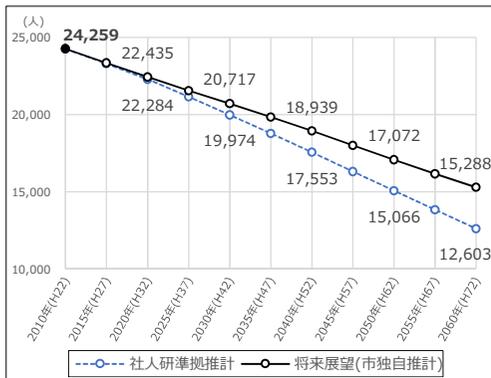
美瑛町



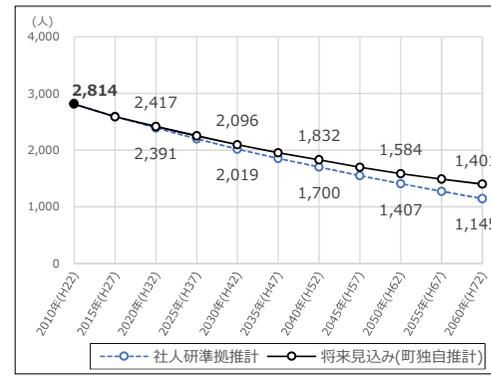
上富良野町



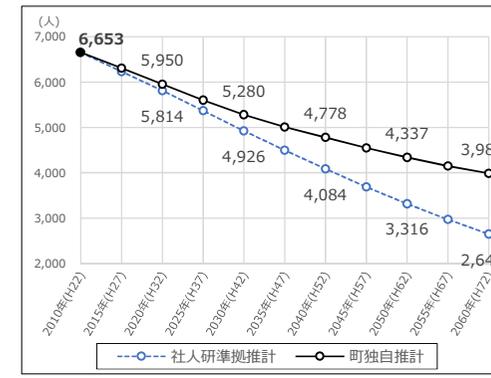
富良野市



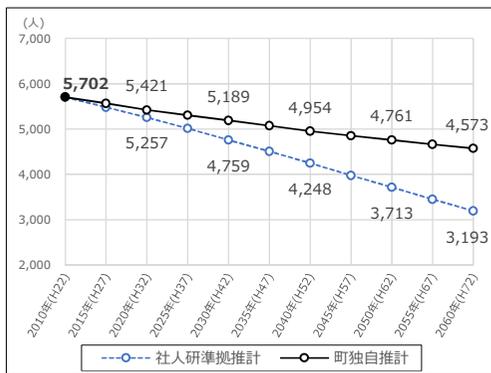
南富良野町



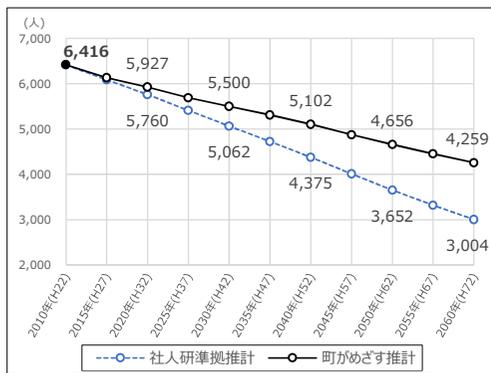
新得町



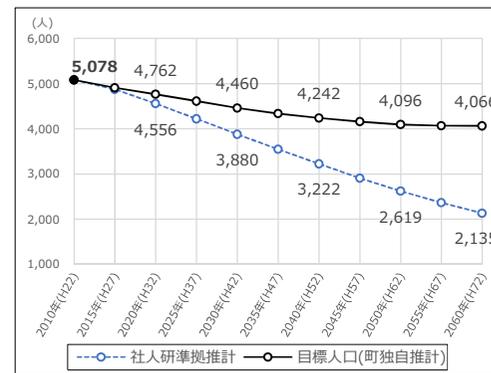
鹿追町



士幌町



上士幌町



● 各市町の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定のための「人口ビジョン」より抜粋

※社人研準拠推計：国立社会保障・人口問題研究所の将来推計人口（平成25年（2013年）3月推計）

※町独自推計・目標人口等：出生や移動の仮定を設けて独自に推計し人口ビジョンに示した値（2040年もしくは2060年まで示されている）